

米に関するマンスリーレポート (令和5年2月号)



2月22日はおでんの日

「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック！

https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaisetu.html

目次（令和5年2月号）

特集

- 1 令和5年度経営所得安定対策等の概要について

特集-1

農林水産省(農産)HP

https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/antei/keiei_antei.html

- 2 水田農業の未来を語るTeamsライブ相談会の開催について

特集-4

1 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）の在庫量と年間玄米仕入数量4,000トン以上の販売段階（米卸等の販売業者の在庫量）を対象に調査し、その合計（出荷段階＋販売段階）の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

- 1 民間在庫の推移

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1) 全国段階の民間在庫の推移(うるち米) (速報)

在庫-1

Excel

- (2) 産地別民間在庫の状況

在庫-4

Excel

- (3) 令和3・4年産の産地別民間在庫の推移(うるち米) (速報)

在庫-5

Excel

2 米の価格情報

相対（あいたい）取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等との間で、年間を通じて「相対取引」が行われています。このため、農林水産省では、年間の玄米仕入量5,000トン以上の全国出荷団体等を対象に、指標となる各産地の上位2～3銘柄（令和4年産米：118産地品種銘柄）について、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

- 1 相対取引価格・数量

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1) 年産別の相対取引価格

価格-1

- (2) 相対取引契約数量の推移

価格-2

- (3) 相対取引価格・数量(令和4年産米、産地品種銘柄別、令和4年12月分) (速報)

価格-3

Excel

- (4) 相対取引価格(月別・年産平均価格)(令和3・4年産米、産地品種銘柄別) (速報)

価格-5

Excel

- 2 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和5年1月分)

価格-7

米穀安定供給確保支援機構HP

<https://www.komenet.jp/>

3 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の収穫が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間の玄米の仕入量が5,000トン以上の全国出荷団体等からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、契約数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを収穫前に契約し、あらかじめ販路を確保しているものといえ、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

- 1 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入札の結果(令和5年産)

契約-1

農林水産省(農産)HP

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/svorvu/kaiire/index.html>

- 2 令和5年産備蓄米の政府買入予定数量、政府買入れのスケジュール

契約-2

- 3 事前契約の取組状況

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1) 近年の事前契約数量の推移(平成26年産～令和4年産)

契約-3

- (2) 令和3・4年産米の産地別事前契約の取組状況(令和4年12月末現在) (速報)

契約-4

Excel

- 4 令和4年産米の産地別契約・販売状況

契約-5

Excel

(累計、うるち米、令和4年12月末現在) (速報)

4 消費の動向

- | | |
|--|------|
| 1 米の消費動向(米穀機構による調査) | 消費-1 |
| 米穀安定供給確保支援機構HP https://www.komenet.jp/ | |
| 2 購入数量・支出金額の推移(家計調査) | 消費-4 |
| 総務省統計局HP https://www.stat.go.jp/data/index.html | |
| 3 消費者物価指数の推移 | 消費-6 |
| 4 小売物価統計の推移 | 消費-7 |
| 5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向 | 消費-8 |
| 6 小売価格の推移(POSデータ) | 消費-9 |

5 輸出入の動向

- | | |
|---|--------|
| 1 コメ・コメ加工品の輸出実績 | |
| (1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移 | 輸出入-1 |
| (2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-2 |
| (3) コメの輸出数量の2022年の主な増加要因 | 輸出入-3 |
| (4) 米菓の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-4 |
| (5) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-5 |
| (6) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-6 |
| (7) 米粉の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-7 |
| (8) 米粉麺等の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-8 |
| 2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について | 輸出入-9 |
| 3 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別) | 輸出入-10 |
| 農林水産省(農産)HP https://www.maff.go.jp/i/seisan/boueki/nyusatu/index.html | |
| 4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果(令和4年度) | 輸出入-11 |
| 5 SBS輸入米の見積合せ結果(令和4年度) | 輸出入-12 |
| 6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果(令和4年度) | 輸出入-13 |

6 主食用米以外の情報

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況 | |
| (1) 加工用米の生産量 | 主食外-1 |
| (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移 | 主食外-1 |
| (3) 令和4年産 都道府県別の生産状況 | 主食外-2 |
| 2 米加工品の状況 | |
| (1) 主な米加工品の生産状況 | 主食外-3 |
| (2) 令和2米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計) | 主食外-4 |
| (3) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移 | 主食外-5 |
| 3 酒造好適米の需給状況 | |
| (1) 日本酒の出荷状況 | 主食外-6 |
| (2) 日本酒原料米の使用状況 | 主食外-6 |
| (3) 酒造好適米の生産量 | 主食外-7 |
| (4) 酒造好適米の需要量 | 主食外-7 |

「米に関するマンスリーレポート」では、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。
また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載するとともに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご活用ください。

令和5年度経営所得安定対策等の概要について

「令和5年度 経営所得安定対策等の概要」パンフレットを農林水産省ホームページ「農産」の「経営所得安定対策」に掲載しましたのでご覧ください。
【 https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/antei/keiei_antei.html 】

令和5年度

経営所得 安定対策等 の概要

— 農業者の皆様へ —

農林水産省

お気軽に、無料電話相談

フリーダイヤル



サア

ミナハイロー

0120-38-3786

受付時間：平日9:00～17:00 自動的にお住まいの地方農政局等に繋がります。

ご注意：携帯電話、PHS、公衆電話及びIP電話など一部の電話ではご利用いただくことができません。また、非通知設定のお電話からはお繋ぎできませんので、お手数ですが番号の前に「186」を押してお掛けください。

左記以外にも、最寄りの地方農政局等、地域農業再生協議会（市町村、JA等）までお気軽にご連絡ください。

畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）

【水田・畑地共通】

【認定農業者、集落営農、認定新規就農者が対象（いずれも規模要件はありません。）】（所要額：1,984億円）
 ※ 交付対象者の要件は、パンフレット（6～7ページ）を参照してください。

数量払

生産量と品質に応じて交付

【令和5年産～7年産の平均交付単価】 ※ 交付単価は品質区分に応じて設定

対象作物		平均交付単価	対象作物		平均交付単価	対象作物		平均交付単価
小麦 (円/60kg)	課税事業者向け	5,930	はだか麦 (円/60kg)	課税事業者向け	8,630	でん粉原料用 ばれいしよ (円/t)	課税事業者向け	14,280
	免税事業者向け	6,340		免税事業者向け	9,160		免税事業者向け	15,180
二条大麦 (円/50kg)	課税事業者向け	5,810	大豆 (円/60kg)	課税事業者向け	9,430	そば (円/45kg)	課税事業者向け	16,720
	免税事業者向け	6,160		免税事業者向け	9,840		免税事業者向け	17,550
六条大麦 (円/50kg)	課税事業者向け	4,850	てん菜 (円/t)	課税事業者向け	5,070	なたね (円/60kg)	課税事業者向け	7,710
	免税事業者向け	5,150		免税事業者向け	5,290		免税事業者向け	8,130

注1: てん菜の基準糖度は、16.6度

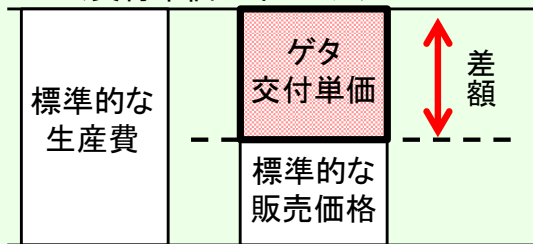
注2: でん粉原料用ばれいしよの基準でん粉含有率は、19.6%

面積払

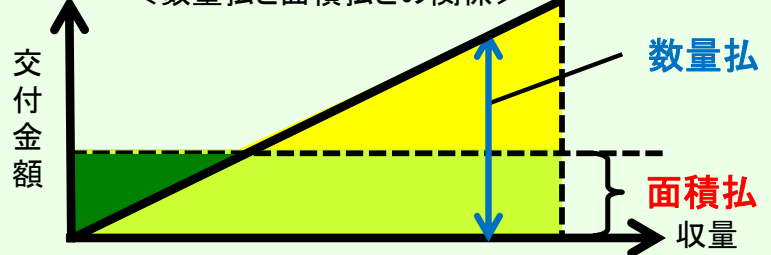
当年産の作付面積に応じて、数量払の先払いとして交付

2.0万円/10a(そばは、1.3万円/10a)

＜交付単価のイメージ＞



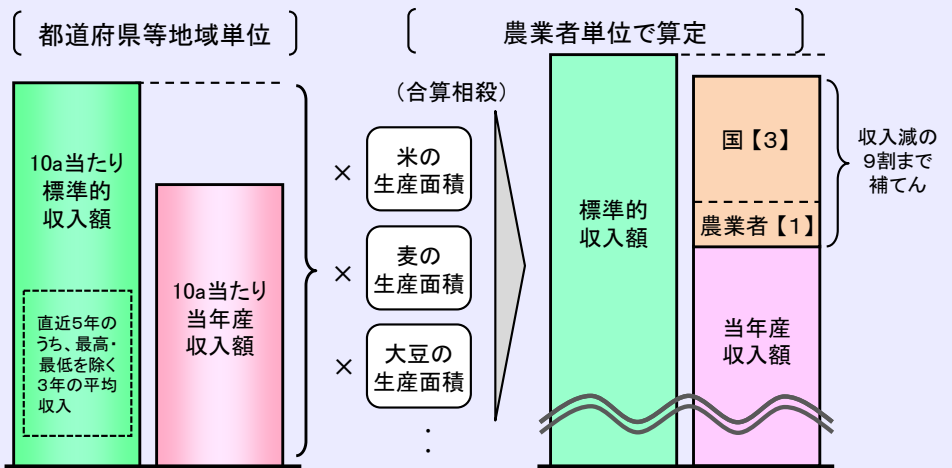
＜数量払と面積払との関係＞



米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）

【認定農業者、集落営農、認定新規就農者が対象（いずれも規模要件はありません。）】（所要額：528億円）
 ※ 交付対象者の要件は、パンフレット（6～7ページ）を参照してください。

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしよの当年産収入額の合計が標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を補てんします。
 (農業者と国が1対3の割合で拠出)
 積立金は掛け捨てではありません。



水田活用の直接支払交付金及び関連対策

水田活用の直接支払交付金

(令和5年度予算概算決定額:2,918億円)

戦略作物助成

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	3.5万円/10a※ ¹
WCS用稲	8.0万円/10a
加工用米	2.0万円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、5.5万円～10.5万円/10a※ ²

※1 多年生牧草について、当年産において播種を行わず収穫のみを行う年は1万円/10aで支援

※2 飼料用米の一般品種について、令和5年度については従来と同額を支援。令和6年度から標準単価を段階的に引き下げ、令和8年度において標準単価6.5万円/10a(5.5～7.5万円/10a)とする。(パンフレット21ページ参照)

産地交付金

地域の作物振興の設計図となる「水田収益力強化ビジョン」に基づく、地域の特色を活かした魅力的な産地づくりに向けた取組を支援します。

都道府県連携型助成

都道府県が転換拡大に取り組む生産者を独自に支援する場合に、国が追加的に支援します。

畑地化促進助成

(令和5年度予算概算決定額:22億円)

(令和4年度第2次補正予算「畑地化促進事業」と併せて実施)

畑地化促進事業

(令和4年度第2次補正予算額:250億円)

水田の畑地化や畑地化後の畑作物の定着までの一定期間の支援のほか、農地利用の団地化等に向けた関係者間の調整や種子の確保、土地改良区の地区除外決済金等を支援します。

畑作物産地形成促進事業、コメ新市場開拓等促進事業(旧水田リノベーション事業)

畑作物産地形成促進事業:(令和4年度第2次補正予算額:300億円)

コメ新市場開拓等促進事業:(令和5年度予算概算決定額:110億円)

実需者との結び付きの下で、対象作物の低コスト生産等に取り組む生産者を支援します。

経営所得安定対策等推進事業等

(令和5年度予算概算決定額:72億円)

eMAFF(農林水産省共通申請サービス)のシステム運用など経営所得安定対策等の交付金の手続等の事務に必要な経費を措置するとともに、対策の推進、水田収益力強化ビジョンの作成を行う都道府県、作付面積の現地確認等を行う市町村等に対し必要な経費を助成します。

都道府県への助成に当たっては、対策加入者数・取組面積などにも配慮し、また、都道府県は上記事項に基づき、市町村等に適切に配分します。

水田農業の未来を語る Teamsライブ相談会の開催について

開催日時

令和5年
2月22日（水）
14:00～15:00 ※延長あり

出演

農林水産省農産局企画課
水田農業対策室長
木村 崇之 ほか

事前
登録制

農林水産省では、令和5年産における着実な作付転換の実施に向け、需要に応じた生産の更なる浸透を目指しています。

この度初の試みとして、リアルタイムで生産者の皆様と語り合う機会として「水田農業の未来を語るTeams相談会」を開催します！

プログラム

説明パート（20分）

農林水産省公式YouTubeチャンネルのmaff channelにて公開中の「水田農業の未来を考える動画コンテンツ」の以下の動画のおさらいをします。是非事前にご視聴ください！



- (1-1) 令和5年産に向けた水田農業の取組方針
 - (1-2) 【令和4年度補正編】令和5年産に向けた水田関連予算について
 - (1-3) 【令和5年度当初編】令和5年産に向けた水田関連予算について
- <動画はこちら>



<https://www.youtube.com/playlist?list=PLMvvhD9xvwfISmCIHpzqYA8sDr6w3SfcI>

質疑応答パート（40分）

参加登録時またはリアルタイムでいただいたご質問に回答します！

※ 事前のご質問は、参加登録フォームにて受け付けます。是非事前に動画をご視聴ください。

※ 時間の都合上、全ての質問を取り上げられない場合がございます。あらかじめご了承ください。

開催方法

Microsoft Teams 会議によるweb開催

※ Teams会議での開催であり、質疑応答等で使用するために、ご自身のお名前が参加者に表示されます。本相談会の趣旨を鑑み、本名での参加登録をお願いしていますので、ご理解いただける方のみご登録をお願いします。

※ 本相談会の参加費は無料ですが、参加に係るインターネット通信料等は、参加者のご負担となります。

対象者

農業生産者200名（先着順） ※ 本相談会の趣旨を鑑み、農業生産者限定とさせていただきます。

参加申込

下のURLまたは右の2次元バーコードより**事前に参加登録**をお願いします。

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/nousan/s_taisaku/230206.html

※ お申込みによって得られた個人情報は、厳重に管理し、本相談会の運営のみに利用します。



申込締切

令和5年2月15日（水）17時 ※ 上限の200名に達し次第締め切らせていただきます。

参加方法

ご登録いただいたメールアドレスに、**開催前日までにTeams会議リンクと詳細な参加方法**をご案内します。

水田農業の未来を考える 動画コンテンツの配信について

昨年は
計2.2万回
再生！

令和5年産の作付計画や中長期的な産地づくりの方針などを検討する際に必要となる、水田農業の取組方針や、飼料用米の支援のあり方、米の輸出、麦、大豆などの各品目の需給動向などの情報を解説動画として配信します。

地域における産地づくりの話し合いの際などに是非ご活用ください。

YouTube (MAFFチャンネル) に公開中！ぜひご視聴ください！

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLMvvhD9xvwfISmCIHpzqYA8sDr6w3Sfcl>



1-1. 令和5年産に向けた水田農業の取組方針

1-2. 畑地化支援について

1-3. 令和5年度水田関連予算

【企画課水田農業対策室長】 **木村 崇之**



2. 米の輸出をめぐる状況について

【企画課
戦略的輸出事業者対策班】

課長補佐

富吉 要一郎

with **木村室長**



6. 野菜の需給動向等について

近日公開予定

3. 米粉をめぐる状況について

【穀物課
新用途米穀推進班】

課長補佐

小俣 範雄

with **木村室長**



7. 果樹の需給動向について

【園芸作物課 果樹振興班】

課長補佐

浅野 真宏

with **木村室長**



4. 需要に応じた麦生産

【貿易業務課 消費流通第2班】

課長補佐 **藤田 倫康**

【穀物課 麦生産班】

課長補佐 **福田 満**

with **木村室長**



8. 土づくり(地力増進作物)・有機農業

【農業環境対策課

総括及び総務班】

課長補佐

永田 一穂

with **木村室長**



5. 大豆の需要について

【穀物課 豆類班】

課長補佐

佐々木 敏晃

with **木村室長**



9. 水田における飼料作物(青刈りとうもろこし等) の生産拡大について

【畜産局飼料課
飼料生産振興班】

課長補佐

齋藤 将司 with **木村室長**



1 米の民間在庫情報

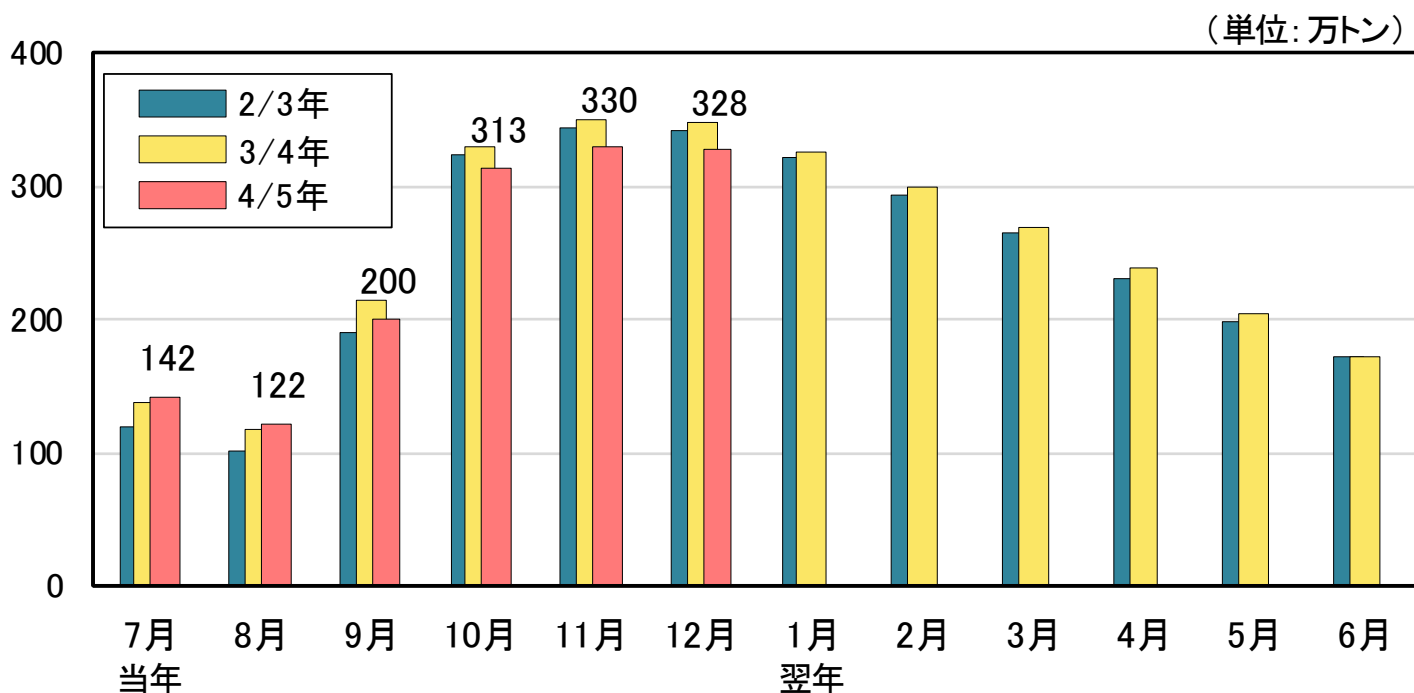
1 民間在庫の推移

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米（稲）・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和4年12月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差▲21万トンの328万トンとなっている。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差▲19万トンの277万トン、販売段階で▲1万トンの51万トンとなっている。

※ 産地別の在庫量は、「在庫-5」以降を参照。



【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

【出荷＋販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
28/29年	114	93	177	314	338	329	306	282	248	212	177	141
対前年差	▲16	▲19	▲7	▲7	▲3	▲8	▲8	▲6	▲6	▲5	▲7	▲7
28年産米	1	14	122	267	299	299	284	264	233	201	167	135
1年古米(27年産)	104	72	48	38	30	22	16	12	9	7	5	4
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29年産米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2年産米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4年	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3年産米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
1年古米(2年産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4/5年	142	122	200	313	330	328						
対前年差	+3	+4	▲14	▲17	▲21	▲21						
4年産米	1	12	112	237	264	273						
1年古米(3年産)	124	94	71	58	49	39						

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 期間については、4/5年であれば、令和4年7月～5年6月である。
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

【出荷段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
28/29年	89	70	145	261	284	276	260	236	201	170	142	112
対前年差	▲16	▲20	▲12	▲17	▲11	▲16	▲13	▲12	▲9	▲7	▲7	▲5
28年産米	1	11	108	239	268	265	252	230	197	167	139	111
1年古米(27年産)	84	56	35	19	14	9	6	5	3	2	2	1
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29年産米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1年古米(28年産)	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元年産米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
2/3年	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
対前年差	+10	+15	+23	+27	+27	+22	+26	+27	+33	+29	+24	+23
2年産米	0	9	108	236	263	268	258	237	211	182	158	129
1年古米(元年産)	82	60	42	28	20	14	10	7	5	4	3	3
3/4年	106	90	178	277	298	296	279	256	226	196	169	139
対前年差	+22	+20	+27	+12	+13	+12	+10	+11	+9	+10	+7	+7
3年産米	0	8	115	227	255	261	249	231	206	179	154	126
1年古米(2年産)	103	80	61	47	40	33	28	24	19	16	14	13
4/5年	116	97	166	262	278	277						
対前年差	+10	+8	▲12	▲15	▲20	▲19						
4年産米	0	9	98	209	232	240						
1年古米(3年産)	103	78	58	44	36	29						

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
28/29年	25	24	32	53	53	53	46	45	47	42	35	29
対前年差	+1	+1	+5	+10	+8	+8	+5	+7	+3	+2	±0	▲2
28年産米	0	3	14	28	31	35	31	33	37	34	28	25
1年古米(27年産)	19	16	13	20	17	13	9	7	6	4	3	3
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	±0	+1	+1	+3	±0	+1	+2	+2	+2
29年産米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1年古米(28年産)	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元年産米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1	+1	+1	▲2	▲2	▲3	▲4
2年産米	0	3	15	30	34	36	33	32	34	33	27	33
1年古米(元年産)	30	24	19	23	20	16	13	10	9	7	6	4
3/4年	32	28	36	53	53	53	46	43	44	42	35	32
対前年差	▲3	▲2	▲3	▲5	▲7	▲5	▲6	▲4	▲3	▲2	▲2	▲8
3年産米	0	3	14	26	30	32	29	28	30	30	25	24
1年古米(2年産)	25	20	16	20	16	14	11	9	9	7	5	4
4/5年	26	25	33	50	52	51						
対前年差	▲6	▲4	▲3	▲3	▲1	▲1						
4年産米	0	3	15	28	32	34						
1年古米(3年産)	20	17	13	15	13	10						

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

(2) 産地別民間在庫の状況

単位：千玄米トン

	3年	3年	4年	対前年	対前年	4年	対前月差	対前年	対前年
	11月	12月	11月	同月差	同月比	12月		同月差	同月比
	①	②	③	④=③-①	⑤=③/①	⑥	⑦=⑥-③	⑧=⑥-②	⑨=⑥/②
	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)
北海道	408.6	404.3	331.4	▲ 77.2	▲ 18.9%	341.9	10.5	▲ 62.5	▲ 15.4%
青森	173.4	168.9	149.2	▲ 24.1	▲ 13.9%	147.1	▲ 2.2	▲ 21.9	▲ 12.9%
岩手	148.6	169.8	135.5	▲ 13.1	▲ 8.8%	160.4	24.8	▲ 9.5	▲ 5.6%
宮城	213.7	206.9	182.3	▲ 31.5	▲ 14.7%	178.5	▲ 3.8	▲ 28.4	▲ 13.7%
秋田	300.8	296.5	267.3	▲ 33.5	▲ 11.1%	255.8	▲ 11.5	▲ 40.8	▲ 13.8%
山形	217.6	217.2	190.5	▲ 27.1	▲ 12.5%	198.5	8.0	▲ 18.8	▲ 8.6%
福島	193.9	191.4	176.7	▲ 17.2	▲ 8.9%	168.9	▲ 7.8	▲ 22.5	▲ 11.7%
茨城	151.2	143.8	148.0	▲ 3.1	▲ 2.1%	138.9	▲ 9.1	▲ 4.9	▲ 3.4%
栃木	190.9	195.9	171.6	▲ 19.3	▲ 10.1%	167.0	▲ 4.5	▲ 28.8	▲ 14.7%
群馬	18.7	27.9	19.7	+ 1.0	+ 5.3%	29.2	9.6	+ 1.3	+ 4.7%
埼玉	41.5	40.6	42.7	+ 1.2	+ 2.8%	42.0	▲ 0.6	+ 1.4	+ 3.4%
千葉	95.7	89.2	78.7	▲ 17.0	▲ 17.7%	70.4	▲ 8.3	▲ 18.8	▲ 21.1%
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	-	0.0	0.0	+ 0.0	-
神奈川	2.1	2.0	2.6	+ 0.4	+ 19.9%	2.5	0.0	+ 0.5	+ 27.1%
山梨	3.8	4.8	4.0	+ 0.2	+ 5.6%	5.0	1.1	+ 0.2	+ 4.5%
長野	76.4	72.5	78.1	+ 1.7	+ 2.2%	75.6	▲ 2.6	+ 3.0	+ 4.2%
静岡	19.6	18.0	21.6	+ 2.0	+ 10.2%	20.0	▲ 1.7	+ 1.9	+ 10.8%
新潟	294.2	266.7	293.7	▲ 0.5	▲ 0.2%	266.2	▲ 27.5	▲ 0.5	▲ 0.2%
富山	100.7	97.4	95.5	▲ 5.2	▲ 5.1%	93.4	▲ 2.1	▲ 4.0	▲ 4.1%
石川	72.6	67.3	73.8	+ 1.2	+ 1.6%	67.6	▲ 6.2	+ 0.3	+ 0.5%
福井	65.1	59.3	62.7	▲ 2.4	▲ 3.7%	55.1	▲ 7.5	▲ 4.2	▲ 7.0%
岐阜	22.9	29.5	24.9	+ 2.1	+ 9.1%	33.9	9.0	+ 4.4	+ 14.9%
愛知	35.9	39.4	36.2	+ 0.3	+ 0.8%	39.1	2.9	▲ 0.3	▲ 0.7%
三重	41.6	38.6	41.7	+ 0.1	+ 0.4%	38.8	▲ 3.0	+ 0.1	+ 0.4%
滋賀	69.3	60.9	64.5	▲ 4.7	▲ 6.8%	59.3	▲ 5.2	▲ 1.6	▲ 2.6%
京都	13.2	12.4	13.0	▲ 0.2	▲ 1.6%	12.3	▲ 0.7	▲ 0.1	▲ 1.1%
大阪	1.1	2.0	1.3	+ 0.2	+ 17.1%	2.6	1.3	+ 0.5	+ 25.2%
兵庫	38.5	41.2	50.3	+ 11.7	+ 30.4%	49.5	▲ 0.7	+ 8.3	+ 20.2%
奈良	10.1	9.8	12.8	+ 2.7	+ 26.6%	12.4	▲ 0.4	+ 2.6	+ 26.2%
和歌山	1.0	1.0	2.3	+ 1.3	+ 132.8%	2.4	0.1	+ 1.3	+ 128.5%
鳥取	29.7	29.6	26.2	▲ 3.5	▲ 11.9%	29.8	3.6	+ 0.2	+ 0.8%
島根	26.7	30.6	28.6	+ 1.9	+ 7.3%	31.3	2.7	+ 0.7	+ 2.4%
岡山	42.6	42.1	40.6	▲ 1.9	▲ 4.6%	43.4	2.8	+ 1.3	+ 3.1%
広島	42.3	39.0	46.6	+ 4.2	+ 10.0%	43.3	▲ 3.3	+ 4.3	+ 11.0%
山口	31.3	33.3	40.8	+ 9.5	+ 30.5%	41.5	0.7	+ 8.2	+ 24.7%
徳島	13.3	11.7	12.4	▲ 1.0	▲ 7.2%	10.9	▲ 1.5	▲ 0.8	▲ 6.6%
香川	20.3	25.7	17.4	▲ 2.9	▲ 14.5%	18.9	1.6	▲ 6.8	▲ 26.3%
愛媛	13.5	12.4	17.0	+ 3.5	+ 25.8%	16.1	▲ 0.9	+ 3.7	+ 29.7%
高知	10.2	9.4	11.3	+ 1.1	+ 11.1%	10.4	▲ 0.9	+ 1.0	+ 10.8%
福岡	53.2	68.7	66.2	+ 13.0	+ 24.5%	74.1	8.0	+ 5.4	+ 7.9%
佐賀	26.3	27.7	30.2	+ 3.8	+ 14.5%	30.0	▲ 0.1	+ 2.4	+ 8.5%
長崎	8.4	9.8	9.8	+ 1.3	+ 15.8%	10.3	0.5	+ 0.5	+ 5.2%
熊本	43.5	49.4	45.1	+ 1.7	+ 3.8%	52.2	7.1	+ 2.8	+ 5.7%
大分	19.1	20.6	20.1	+ 1.0	+ 5.1%	22.0	1.9	+ 1.4	+ 7.0%
宮崎	13.9	13.9	13.9	+ 0.0	+ 0.3%	15.7	1.8	+ 1.8	+ 13.2%
鹿児島	23.7	22.5	26.8	+ 3.1	+ 12.9%	25.6	▲ 1.2	+ 3.0	+ 13.4%
沖縄	0.3	0.3	0.3	+ 0.0	▲ 6.3%	0.2	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 26.0%
全国	351万ト	349万ト	330万ト	▲ 21万ト	▲ 6.0%	328万ト	▲ 2万ト	▲ 21万ト	▲ 5.9%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

(3) 令和3・4年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

（北海道から秋田）

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
北海道	出荷+販売段階	158.7	125.1	198.5	314.0	331.4	341.9	
	4年産米			104.0	232.8	263.6	285.5	
	1年古米(3年産)	139.1	107.3	78.9	69.2	57.4	47.8	
	出荷段階	134.6	105.1	173.4	265.5	282.3	283.2	
	4年産米			92.1	199.2	225.5	237.0	
	1年古米(3年産)	118.2	89.9	67.9	56.2	47.9	39.0	
	販売段階	24.1	20.0	25.1	48.5	49.1	58.6	
	4年産米			11.9	33.7	38.1	48.5	
	1年古米(3年産)	20.9	17.4	11.1	13.1	9.5	8.8	
	青森	出荷+販売段階	63.7	48.9	57.8	132.3	149.2	147.1
		4年産米			21.6	102.7	122.9	127.0
		1年古米(3年産)	50.1	36.2	24.5	18.9	14.9	11.0
出荷段階		53.0	39.4	50.4	118.2	131.6	129.3	
4年産米				21.2	95.4	113.4	115.5	
1年古米(3年産)		40.5	27.8	18.6	13.5	10.7	7.5	
販売段階		10.8	9.5	7.3	14.1	17.7	17.8	
4年産米				0.4	7.3	9.6	11.5	
1年古米(3年産)		9.6	8.4	5.9	5.4	4.2	3.6	
岩手		出荷+販売段階	80.5	66.5	58.4	129.0	135.5	160.4
		4年産米			7.4	83.1	98.0	127.9
		1年古米(3年産)	76.4	63.1	48.3	43.7	36.0	31.4
	出荷段階	72.9	59.1	52.1	115.0	121.1	145.6	
	4年産米			6.6	76.2	89.3	119.1	
	1年古米(3年産)	69.6	56.4	43.3	37.1	30.7	25.9	
	販売段階	7.7	7.3	6.3	13.9	14.4	14.7	
	4年産米			0.7	6.9	8.7	8.9	
	1年古米(3年産)	6.8	6.7	5.0	6.6	5.3	5.5	
	宮城	出荷+販売段階	112.7	92.5	109.0	184.9	182.3	178.5
		4年産米		0.0	32.1	118.9	125.5	132.2
		1年古米(3年産)	97.8	79.0	64.5	54.6	46.8	37.7
出荷段階		98.8	80.4	96.1	164.5	162.3	158.7	
4年産米				28.9	107.8	113.8	119.2	
1年古米(3年産)		85.7	68.7	56.5	46.9	40.1	32.2	
販売段階		14.0	12.1	12.9	20.4	19.9	19.8	
4年産米			0.0	3.2	11.1	11.7	13.0	
1年古米(3年産)		12.1	10.3	8.1	7.6	6.8	5.5	
秋田		出荷+販売段階	108.2	79.7	118.8	257.8	267.3	255.8
		4年産米			64.6	209.8	223.8	219.1
		1年古米(3年産)	94.0	66.8	42.7	37.0	33.1	27.2
	出荷段階	93.1	65.8	107.3	237.7	245.9	234.5	
	4年産米			61.9	198.7	209.8	203.8	
	1年古米(3年産)	81.8	55.2	35.4	29.4	27.0	22.6	
	販売段階	15.1	13.9	11.6	20.1	21.4	21.2	
	4年産米			2.7	11.1	14.0	15.3	
	1年古米(3年産)	12.1	11.6	7.3	7.7	6.0	4.6	

（山形から埼玉）

（単位：千玄米トン）

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
山形	出荷+販売段階	92.2	70.8	82.3	175.8	190.5	198.5	
	4年産米		0.0	29.9	135.0	157.9	173.3	
	1年古米(3年産)	88.3	67.4	49.3	38.3	30.5	23.7	
	出荷段階	81.2	60.8	72.5	160.4	174.6	181.2	
	4年産米			28.8	126.6	148.2	161.7	
	1年古米(3年産)	79.2	59.0	42.1	32.3	25.1	18.5	
	販売段階	11.0	10.0	9.7	15.4	15.9	17.2	
	4年産米		0.0	1.2	8.4	9.7	11.6	
	1年古米(3年産)	9.2	8.4	7.3	6.0	5.5	5.1	
	福島	出荷+販売段階	81.0	63.6	63.7	169.8	176.7	168.9
		4年産米		0.0	13.7	130.5	140.9	146.3
		1年古米(3年産)	75.0	58.9	46.1	36.0	33.1	20.4
出荷段階		61.8	48.7	51.8	140.4	137.6	134.8	
4年産米				13.0	115.9	119.1	122.4	
1年古米(3年産)		57.5	45.4	36.1	22.2	16.7	10.8	
販売段階		19.2	14.9	11.8	29.4	39.1	34.1	
4年産米			0.0	0.7	14.6	21.9	23.8	
1年古米(3年産)		17.5	13.5	10.0	13.8	16.4	9.5	
茨城		出荷+販売段階	48.2	54.9	134.2	149.5	148.0	138.9
		4年産米		18.7	104.5	124.6	126.0	118.9
		1年古米(3年産)	39.2	27.8	22.1	17.7	15.2	13.3
	出荷段階	34.9	38.8	102.2	115.0	115.0	107.0	
	4年産米		12.0	79.6	95.4	97.0	90.3	
	1年古米(3年産)	27.2	19.7	15.9	13.2	11.9	10.7	
	販売段階	13.3	16.1	32.0	34.5	33.1	31.9	
	4年産米		6.7	24.9	29.2	29.0	28.6	
	1年古米(3年産)	11.9	8.1	6.1	4.5	3.3	2.6	
	栃木	出荷+販売段階	100.2	82.8	129.7	161.2	171.6	167.0
		4年産米		0.0	60.7	101.5	122.2	127.2
		1年古米(3年産)	80.1	64.3	51.8	43.6	34.6	26.1
出荷段階		83.6	69.2	112.0	136.9	146.9	144.4	
4年産米			0.0	53.8	87.9	106.4	110.9	
1年古米(3年産)		65.9	52.4	42.0	33.6	26.5	20.5	
販売段階		16.6	13.6	17.7	24.2	24.7	22.6	
4年産米			0.0	7.0	13.6	15.8	16.3	
1年古米(3年産)		14.2	11.9	9.9	10.0	8.1	5.5	
群馬		出荷+販売段階	10.9	10.7	10.0	9.2	19.7	29.2
		4年産米			0.0	1.2	12.9	24.1
		1年古米(3年産)	8.2	8.1	7.7	5.7	4.5	3.0
	出荷段階	8.9	8.5	7.6	7.0	16.9	26.3	
	4年産米				1.0	12.0	22.6	
	1年古米(3年産)	7.0	6.6	5.9	4.4	3.3	2.0	
	販売段階	1.9	2.2	2.4	2.1	2.7	2.9	
	4年産米			0.0	0.2	1.0	1.4	
	1年古米(3年産)	1.3	1.6	1.8	1.4	1.2	0.9	
	埼玉	出荷+販売段階	16.5	14.2	21.7	34.1	42.7	42.0
		4年産米		0.5	10.3	22.9	32.7	33.2
		1年古米(3年産)	13.6	10.9	8.9	9.0	7.9	6.9
出荷段階		14.2	12.0	18.0	27.3	35.1	34.0	
4年産米			0.1	8.4	18.4	26.8	26.5	
1年古米(3年産)		11.4	9.2	7.3	6.8	6.2	5.6	
販売段階		2.3	2.2	3.7	6.8	7.6	8.0	
4年産米			0.4	1.9	4.5	5.9	6.7	
1年古米(3年産)		2.2	1.7	1.6	2.2	1.6	1.2	

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉	出荷+販売段階	21.4	48.6	88.6	85.0	78.7	70.4
	4年産米	0.0	33.4	75.9	74.3	68.8	61.9
	1年古米(3年産)	9.1	4.0	2.2	1.6	1.3	0.8
	出荷段階	13.2	39.4	73.8	71.1	66.9	59.8
	4年産米		30.3	65.4	63.7	59.7	53.2
	1年古米(3年産)	5.3	1.4	0.7	0.4	0.3	0.1
	販売段階	8.2	9.2	14.8	13.9	11.8	10.5
	4年産米	0.0	3.1	10.6	10.6	9.2	8.7
	1年古米(3年産)	3.8	2.6	1.5	1.3	1.0	0.7
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4年産米				0.0	0.0	0.0
	1年古米(3年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	出荷段階						
	4年産米						
	1年古米(3年産)						
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4年産米				0.0	0.0	0.0
	1年古米(3年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
神奈川	出荷+販売段階	0.7	0.5	0.6	2.6	2.6	2.5
	4年産米			0.3	2.5	2.5	2.5
	1年古米(3年産)	0.7	0.5	0.3	0.1	0.0	0.0
	出荷段階	0.6	0.5	0.5	2.5	2.4	2.4
	4年産米			0.3	2.4	2.4	2.4
	1年古米(3年産)	0.6	0.4	0.2	0.1	0.0	0.0
	販売段階	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
	4年産米			0.0	0.1	0.1	0.1
	1年古米(3年産)	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
山梨	出荷+販売段階	1.7	1.3	1.9	3.8	4.0	5.0
	4年産米			1.0	3.2	3.6	4.8
	1年古米(3年産)	1.7	1.3	0.9	0.6	0.4	0.2
	出荷段階	1.4	1.0	1.7	3.5	3.6	4.6
	4年産米			1.0	3.1	3.3	4.4
	1年古米(3年産)	1.4	1.0	0.6	0.4	0.3	0.1
	販売段階	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5
	4年産米			0.0	0.1	0.3	0.4
	1年古米(3年産)	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1
長野	出荷+販売段階	32.6	26.2	35.1	66.8	78.1	75.6
	4年産米			14.5	46.7	62.0	64.6
	1年古米(3年産)	32.0	25.7	20.3	19.7	15.8	10.8
	出荷段階	29.2	23.0	31.8	58.9	70.5	68.6
	4年産米			13.5	43.8	58.0	60.2
	1年古米(3年産)	29.0	22.9	18.2	15.0	12.4	8.4
	販売段階	3.4	3.2	3.3	7.9	7.6	6.9
	4年産米			1.0	2.9	4.0	4.4
	1年古米(3年産)	3.0	2.9	2.1	4.7	3.4	2.4
静岡	出荷+販売段階	4.0	6.0	15.5	21.5	21.6	20.0
	4年産米		3.5	13.9	20.4	21.0	19.5
	1年古米(3年産)	4.0	2.5	1.7	1.1	0.6	0.4
	出荷段階	1.0	2.3	8.3	13.5	14.0	13.2
	4年産米		1.7	8.0	13.3	13.9	13.2
	1年古米(3年産)	1.0	0.5	0.3	0.2	0.1	0.0
	販売段階	3.0	3.8	7.2	8.0	7.6	6.7
	4年産米		1.8	5.9	7.1	7.1	6.3
	1年古米(3年産)	3.0	2.0	1.4	0.9	0.6	0.4

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
新潟	出荷+販売段階	81.7	55.1	210.0	300.5	293.7	266.2
	4年産米		0.8	176.6	273.8	272.2	249.7
	1年古米(3年産)	74.0	47.5	28.1	22.8	19.2	15.5
	出荷段階	62.7	40.0	189.6	271.6	265.6	238.9
	4年産米		0.7	164.3	252.4	250.3	227.6
	1年古米(3年産)	57.3	34.5	21.5	16.6	14.0	11.1
	販売段階	19.0	15.0	20.5	28.9	28.1	27.3
	4年産米		0.1	12.3	21.4	21.9	22.1
	1年古米(3年産)	16.6	13.0	6.6	6.2	5.2	4.3
富山	出荷+販売段階	33.1	27.0	72.2	95.6	95.5	93.4
	4年産米		1.1	51.3	80.3	81.6	81.8
	1年古米(3年産)	31.5	24.7	20.2	14.8	13.4	11.2
	出荷段階	25.8	20.9	64.1	84.8	85.3	84.6
	4年産米		0.6	47.4	74.7	76.1	76.4
	1年古米(3年産)	25.6	20.2	16.6	10.0	9.0	8.2
	販売段階	7.4	6.1	8.1	10.8	10.2	8.7
	4年産米		0.4	3.9	5.6	5.4	5.4
	1年古米(3年産)	5.8	4.5	3.6	4.8	4.4	3.0
石川	出荷+販売段階	27.2	25.6	67.6	80.2	73.8	67.6
	4年産米		3.5	48.7	63.8	59.4	55.5
	1年古米(3年産)	24.5	19.6	16.7	14.4	12.5	10.5
	出荷段階	22.2	21.0	50.8	60.5	55.7	50.8
	4年産米		1.9	33.9	46.2	43.0	40.0
	1年古米(3年産)	20.1	17.0	15.0	12.6	11.2	9.6
	販売段階	5.0	4.7	16.9	19.7	18.1	16.8
	4年産米		1.6	14.8	17.6	16.5	15.5
	1年古米(3年産)	4.5	2.6	1.7	1.8	1.3	1.0
福井	出荷+販売段階	22.0	24.0	51.6	66.9	62.7	55.1
	4年産米		6.7	37.0	57.1	53.8	47.8
	1年古米(3年産)	18.0	13.6	11.1	6.6	6.0	4.8
	出荷段階	17.4	16.5	37.4	50.9	48.1	41.8
	4年産米		2.7	25.5	44.4	42.0	36.2
	1年古米(3年産)	15.0	11.5	9.5	4.3	3.9	3.5
	販売段階	4.6	7.5	14.2	16.0	14.6	13.3
	4年産米		3.9	11.5	12.7	11.8	11.6
	1年古米(3年産)	2.9	2.1	1.6	2.3	2.1	1.3
岐阜	出荷+販売段階	15.1	13.5	13.1	18.2	24.9	33.9
	4年産米		1.1	3.1	9.8	17.8	28.0
	1年古米(3年産)	13.2	10.8	8.5	7.1	6.0	4.8
	出荷段階	10.5	8.8	8.7	11.8	18.4	27.8
	4年産米		0.7	2.3	7.5	14.6	24.6
	1年古米(3年産)	9.9	7.5	5.8	3.8	3.4	2.9
	販売段階	4.6	4.7	4.4	6.5	6.5	6.1
	4年産米		0.4	0.8	2.4	3.2	3.5
	1年古米(3年産)	3.3	3.3	2.7	3.3	2.6	2.0
愛知	出荷+販売段階	14.0	12.8	17.7	26.7	36.2	39.1
	4年産米		1.9	10.2	21.3	31.8	35.6
	1年古米(3年産)	13.4	10.3	7.0	4.8	4.0	3.1
	出荷段階	11.5	9.8	13.6	19.6	28.7	32.3
	4年産米		1.2	8.4	18.0	27.2	31.0
	1年古米(3年産)	11.2	8.3	5.0	1.4	1.3	1.1
	販売段階	2.5	3.0	4.1	7.0	7.5	6.8
	4年産米		0.8	1.9	3.4	4.6	4.6
	1年古米(3年産)	2.2	2.0	2.0	3.4	2.6	2.0

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(三重から奈良)

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
三重	出荷+販売段階	11.0	16.9	38.4	44.5	41.7	38.8	
	4年産米		9.8	33.0	39.9	37.8	35.3	
	1年古米(3年産)	8.9	5.2	3.9	3.4	2.9	2.5	
	出荷段階	8.3	13.6	33.7	38.4	35.9	33.0	
	4年産米		8.5	29.7	35.7	33.5	30.8	
	1年古米(3年産)	6.9	3.9	2.9	2.5	2.2	2.0	
	販売段階	2.7	3.3	4.7	6.1	5.8	5.7	
	4年産米		1.3	3.3	4.2	4.3	4.5	
	1年古米(3年産)	1.9	1.4	1.0	0.9	0.7	0.5	
	滋賀	出荷+販売段階	26.4	21.9	64.7	73.1	64.5	59.3
		4年産米		3.9	47.8	59.8	53.5	50.0
		1年古米(3年産)	24.9	16.7	15.9	12.6	10.5	8.8
出荷段階		22.0	18.3	57.5	65.8	57.4	52.3	
4年産米			3.8	46.2	56.6	49.8	46.0	
1年古米(3年産)		21.2	13.8	10.7	8.7	7.2	6.1	
販売段階		4.3	3.6	7.2	7.3	7.1	7.0	
4年産米			0.1	1.7	3.2	3.6	4.1	
1年古米(3年産)		3.7	3.0	5.2	3.9	3.2	2.7	
京都		出荷+販売段階	3.5	2.2	9.4	12.8	13.0	12.3
		4年産米			8.0	11.9	12.5	11.9
		1年古米(3年産)	3.3	2.1	1.3	0.8	0.5	0.3
	出荷段階	2.8	1.7	8.7	11.7	11.9	11.2	
	4年産米			7.7	11.3	11.7	11.0	
	1年古米(3年産)	2.8	1.7	1.0	0.4	0.2	0.1	
	販売段階	0.6	0.5	0.7	1.1	1.1	1.1	
	4年産米			0.3	0.6	0.8	0.9	
	1年古米(3年産)	0.5	0.4	0.3	0.4	0.3	0.1	
	大阪	出荷+販売段階	0.6	0.5	0.6	0.8	1.3	2.6
		4年産米			0.3	0.5	1.1	2.4
		1年古米(3年産)	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.1
出荷段階		0.5	0.4	0.6	0.6	1.1	2.1	
4年産米				0.3	0.5	1.1	2.1	
1年古米(3年産)		0.5	0.4	0.3	0.1	0.0	0.0	
販売段階		0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.4	
4年産米					0.0	0.0	0.3	
1年古米(3年産)		0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.1	
兵庫		出荷+販売段階	19.8	15.4	31.8	41.7	50.3	49.5
		4年産米		0.0	20.2	34.6	46.2	46.9
		1年古米(3年産)	18.5	14.2	10.4	6.0	3.0	1.8
	出荷段階	17.1	13.3	29.0	36.2	44.6	44.3	
	4年産米			19.1	31.2	42.2	42.9	
	1年古米(3年産)	16.0	12.3	8.9	4.0	1.5	0.6	
	販売段階	2.7	2.1	2.8	5.5	5.6	5.2	
	4年産米		0.0	1.2	3.4	4.0	4.0	
	1年古米(3年産)	2.4	1.9	1.5	2.0	1.5	1.2	
	奈良	出荷+販売段階	4.4	3.6	3.6	9.0	12.8	12.4
		4年産米			1.0	7.1	11.0	10.7
		1年古米(3年産)	4.2	3.3	2.4	1.7	1.6	1.5
出荷段階		3.5	2.8	3.0	7.5	10.8	10.7	
4年産米				0.9	6.2	9.6	9.5	
1年古米(3年産)		3.5	2.8	2.0	1.3	1.2	1.2	
販売段階		1.0	0.7	0.7	1.5	2.0	1.7	
4年産米				0.1	0.9	1.4	1.2	
1年古米(3年産)		0.8	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	

(和歌山から山口)

(単位:千玄米トン)

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
和歌山	出荷+販売段階	0.8	0.7	1.2	0.7	2.3	2.4	
	4年産米		0.0	0.6	0.2	1.8	1.9	
	1年古米(3年産)	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	
	出荷段階			0.5				
	4年産米			0.5				
	1年古米(3年産)							
	販売段階	0.8	0.7	0.7	0.7	2.3	2.4	
	4年産米		0.0	0.1	0.2	1.8	1.9	
	1年古米(3年産)	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	
	鳥取	出荷+販売段階	14.0	11.0	15.9	26.7	26.2	29.8
		4年産米		0.0	7.8	20.1	21.4	25.9
		1年古米(3年産)	12.9	10.3	7.6	6.2	4.6	3.8
出荷段階		12.4	9.8	14.4	24.6	24.1	27.5	
4年産米			0.0	7.3	19.0	20.0	24.3	
1年古米(3年産)		12.0	9.5	6.9	5.4	4.0	3.1	
販売段階		1.6	1.3	1.6	2.1	2.1	2.3	
4年産米				0.5	1.1	1.4	1.6	
1年古米(3年産)		0.9	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6	
島根		出荷+販売段階	11.8	9.4	20.4	29.0	28.6	31.3
		4年産米		0.4	13.9	24.3	24.6	28.2
		1年古米(3年産)	11.0	8.4	6.2	4.4	3.8	2.9
	出荷段階	9.4	7.4	18.0	24.8	24.6	27.7	
	4年産米		0.4	12.8	21.9	22.1	25.7	
	1年古米(3年産)	9.2	6.9	5.1	2.8	2.4	1.9	
	販売段階	2.4	1.9	2.5	4.2	4.0	3.6	
	4年産米		0.0	1.1	2.4	2.5	2.4	
	1年古米(3年産)	1.8	1.5	1.1	1.6	1.4	1.0	
	岡山	出荷+販売段階	20.7	14.0	17.7	29.2	40.6	43.4
		4年産米		0.0	8.1	22.5	36.6	40.0
		1年古米(3年産)	20.1	13.7	9.3	6.4	3.8	3.3
出荷段階		16.7	11.3	13.7	23.7	35.5	37.3	
4年産米			0.0	6.7	19.6	32.7	34.6	
1年古米(3年産)		16.4	11.3	7.0	4.0	2.8	2.7	
販売段階		4.0	2.7	4.0	5.5	5.1	6.1	
4年産米			0.0	1.4	2.9	3.9	5.4	
1年古米(3年産)		3.7	2.5	2.3	2.3	1.1	0.6	
広島		出荷+販売段階	17.6	14.3	30.8	46.8	46.6	43.3
		4年産米		0.2	19.2	37.0	38.1	35.9
		1年古米(3年産)	15.6	12.5	10.2	8.6	7.7	6.7
	出荷段階	11.6	9.2	25.6	37.4	37.3	34.5	
	4年産米		0.2	18.2	34.8	35.2	33.0	
	1年古米(3年産)	11.4	8.9	7.4	2.5	2.1	1.5	
	販売段階	6.0	5.1	5.1	9.4	9.2	8.8	
	4年産米		0.0	1.0	2.2	2.9	2.9	
	1年古米(3年産)	4.2	3.6	2.9	6.1	5.6	5.2	
	山口	出荷+販売段階	16.6	14.8	24.9	37.3	40.8	41.5
		4年産米		0.5	13.2	26.2	30.9	32.8
		1年古米(3年産)	16.5	14.1	11.7	11.1	9.8	8.7
出荷段階		15.3	13.7	23.4	33.9	37.0	37.4	
4年産米			0.4	12.5	24.8	29.1	30.2	
1年古米(3年産)		15.3	13.2	10.9	9.2	7.9	7.2	
販売段階		1.3	1.1	1.6	3.4	3.8	4.1	
4年産米			0.1	0.7	1.4	1.8	2.5	
1年古米(3年産)		1.2	0.9	0.8	1.9	1.9	1.5	

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(徳島から佐賀)

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
徳島	出荷+販売段階	2.8	10.1	15.2	13.9	12.4	10.9	
	4年産米		8.0	13.5	12.6	11.3	10.1	
	1年古米(3年産)	2.1	1.5	1.2	0.9	0.7	0.6	
	出荷段階	1.3	8.0	12.4	10.9	9.9	8.7	
	4年産米		7.0	11.7	10.7	9.8	8.6	
	1年古米(3年産)	1.2	0.8	0.5	0.1	0.0	0.0	
	販売段階	1.5	2.2	2.9	3.0	2.5	2.2	
	4年産米		1.0	1.8	1.8	1.5	1.5	
	1年古米(3年産)	0.9	0.6	0.7	0.9	0.7	0.6	
	香川	出荷+販売段階	8.6	6.9	8.6	12.6	17.4	18.9
		4年産米		0.3	3.6	9.2	14.8	17.4
		1年古米(3年産)	8.3	6.3	4.6	3.3	2.4	1.4
出荷段階		7.4	5.5	6.9	10.3	15.0	16.9	
4年産米				2.9	8.3	13.8	16.5	
1年古米(3年産)		7.2	5.4	3.8	2.1	1.2	0.4	
販売段階		1.2	1.4	1.7	2.3	2.3	2.1	
4年産米			0.3	0.7	1.0	1.0	0.9	
1年古米(3年産)		1.0	0.9	0.8	1.2	1.2	1.0	
愛媛		出荷+販売段階	5.0	6.4	9.2	13.9	17.0	16.1
		4年産米		2.2	5.6	10.7	14.2	13.6
		1年古米(3年産)	4.9	4.1	3.5	3.1	2.7	2.5
	出荷段階	4.6	5.9	8.7	13.4	16.4	15.7	
	4年産米		2.2	5.4	10.5	13.9	13.3	
	1年古米(3年産)	4.6	3.7	3.2	2.9	2.5	2.3	
	販売段階	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
	4年産米		0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	
	1年古米(3年産)	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	
	高知	出荷+販売段階	3.6	10.7	10.0	11.7	11.3	10.4
		4年産米	0.4	8.1	7.8	9.7	9.4	8.8
		1年古米(3年産)	2.7	2.1	1.7	1.6	1.4	1.2
出荷段階		0.6	5.0	4.8	6.2	5.1	4.6	
4年産米		0.2	4.7	4.6	6.0	4.9	4.6	
1年古米(3年産)		0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.0	
販売段階		3.0	5.7	5.2	5.5	6.2	5.8	
4年産米		0.2	3.4	3.2	3.7	4.5	4.3	
1年古米(3年産)		2.2	1.8	1.5	1.4	1.3	1.2	
福岡		出荷+販売段階	28.7	22.4	34.1	52.9	66.2	74.1
		4年産米		1.4	18.7	41.5	56.7	66.9
		1年古米(3年産)	28.3	20.8	15.2	11.2	9.3	7.1
	出荷段階	25.9	18.7	25.7	41.3	55.7	65.0	
	4年産米		0.7	12.7	33.2	48.8	59.5	
	1年古米(3年産)	25.9	18.0	12.9	8.0	6.9	5.5	
	販売段階	2.7	3.8	8.4	11.6	10.5	9.1	
	4年産米		0.7	6.0	8.3	8.0	7.4	
	1年古米(3年産)	2.4	2.8	2.2	3.1	2.4	1.7	
	佐賀	出荷+販売段階	18.1	15.3	16.4	29.0	30.2	30.0
		4年産米		0.1	4.0	19.8	23.1	25.0
		1年古米(3年産)	18.1	15.2	12.4	9.2	7.1	5.0
出荷段階		17.2	14.4	15.5	24.1	25.7	26.5	
4年産米			0.1	3.8	18.7	21.8	23.5	
1年古米(3年産)		17.2	14.3	11.6	5.4	3.9	3.0	
販売段階		0.9	0.9	0.9	4.9	4.5	3.5	
4年産米			0.1	0.2	1.1	1.3	1.5	
1年古米(3年産)		0.9	0.8	0.8	3.8	3.1	2.0	

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
長崎	出荷+販売段階	5.5	5.1	5.1	7.9	9.8	10.3	
	4年産米		0.6	1.4	4.8	6.7	7.7	
	1年古米(3年産)	5.5	4.5	3.7	3.1	3.0	2.5	
	出荷段階	5.2	4.8	4.7	6.9	8.6	9.2	
	4年産米		0.6	1.2	4.3	6.3	7.3	
	1年古米(3年産)	5.2	4.3	3.4	2.6	2.3	1.9	
	販売段階	0.3	0.3	0.4	1.0	1.2	1.1	
	4年産米		0.0	0.2	0.4	0.4	0.4	
	1年古米(3年産)	0.3	0.2	0.2	0.5	0.7	0.6	
	熊本	出荷+販売段階	20.9	17.9	17.5	34.6	45.1	52.2
		4年産米		2.1	5.8	25.3	37.8	45.7
		1年古米(3年産)	19.5	14.8	10.8	8.4	6.6	5.8
出荷段階		16.6	13.5	12.8	24.8	35.1	43.0	
4年産米			1.1	3.6	17.3	29.4	38.3	
1年古米(3年産)		16.2	12.1	9.0	7.3	5.6	4.8	
販売段階		4.3	4.4	4.7	9.8	10.1	9.2	
4年産米			1.0	2.3	8.0	8.4	7.4	
1年古米(3年産)		3.3	2.7	1.7	1.1	1.0	1.1	
大分		出荷+販売段階	9.8	8.4	8.5	14.5	20.1	22.0
		4年産米		0.4	2.2	10.0	16.5	19.0
		1年古米(3年産)	9.7	8.0	6.3	4.5	3.6	3.0
	出荷段階	6.9	5.9	6.1	9.9	14.4	16.2	
	4年産米		0.3	1.7	7.1	12.0	14.2	
	1年古米(3年産)	6.9	5.6	4.4	2.8	2.4	2.0	
	販売段階	2.8	2.5	2.4	4.6	5.7	5.8	
	4年産米		0.1	0.6	2.9	4.5	4.9	
	1年古米(3年産)	2.8	2.4	1.9	1.7	1.2	0.9	
	宮崎	出荷+販売段階	10.7	12.5	8.9	13.6	13.9	15.7
		4年産米	4.1	6.7	4.0	10.2	10.9	13.0
		1年古米(3年産)	6.5	5.8	4.8	3.4	3.0	2.7
出荷段階		6.8	7.0	3.8	7.0	7.8	10.0	
4年産米		2.5	3.3	0.8	6.5	7.6	9.9	
1年古米(3年産)		4.3	3.7	3.0	0.4	0.2	0.1	
販売段階		3.9	5.5	5.1	6.6	6.1	5.7	
4年産米		1.5	3.4	3.2	3.6	3.2	3.0	
1年古米(3年産)		2.3	2.1	1.8	3.0	2.8	2.6	
鹿児島		出荷+販売段階	12.8	14.1	13.0	21.7	26.8	25.6
		4年産米	0.7	3.0	3.4	13.1	18.6	17.9
		1年古米(3年産)	9.6	8.8	7.4	6.6	6.3	6.0
	出荷段階	9.0	9.4	6.6	14.2	18.2	17.7	
	4年産米	0.2	1.7	1.1	9.6	13.9	13.6	
	1年古米(3年産)	7.6	6.6	4.5	3.7	3.6	3.4	
	販売段階	3.8	4.8	6.4	7.5	8.6	7.9	
	4年産米	0.4	1.3	2.3	3.5	4.8	4.3	
	1年古米(3年産)	2.0	2.2	2.9	2.9	2.7	2.6	
	沖縄	出荷+販売段階	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2
		4年産米	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2
		1年古米(3年産)	0.0	0.0	0.0			
出荷段階		0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	
4年産米		0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	
1年古米(3年産)		0.0	0.0	0.0				
販売段階		0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	
4年産米		0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	
1年古米(3年産)		0.0						

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

2 米の価格情報

1 相対取引価格・数量

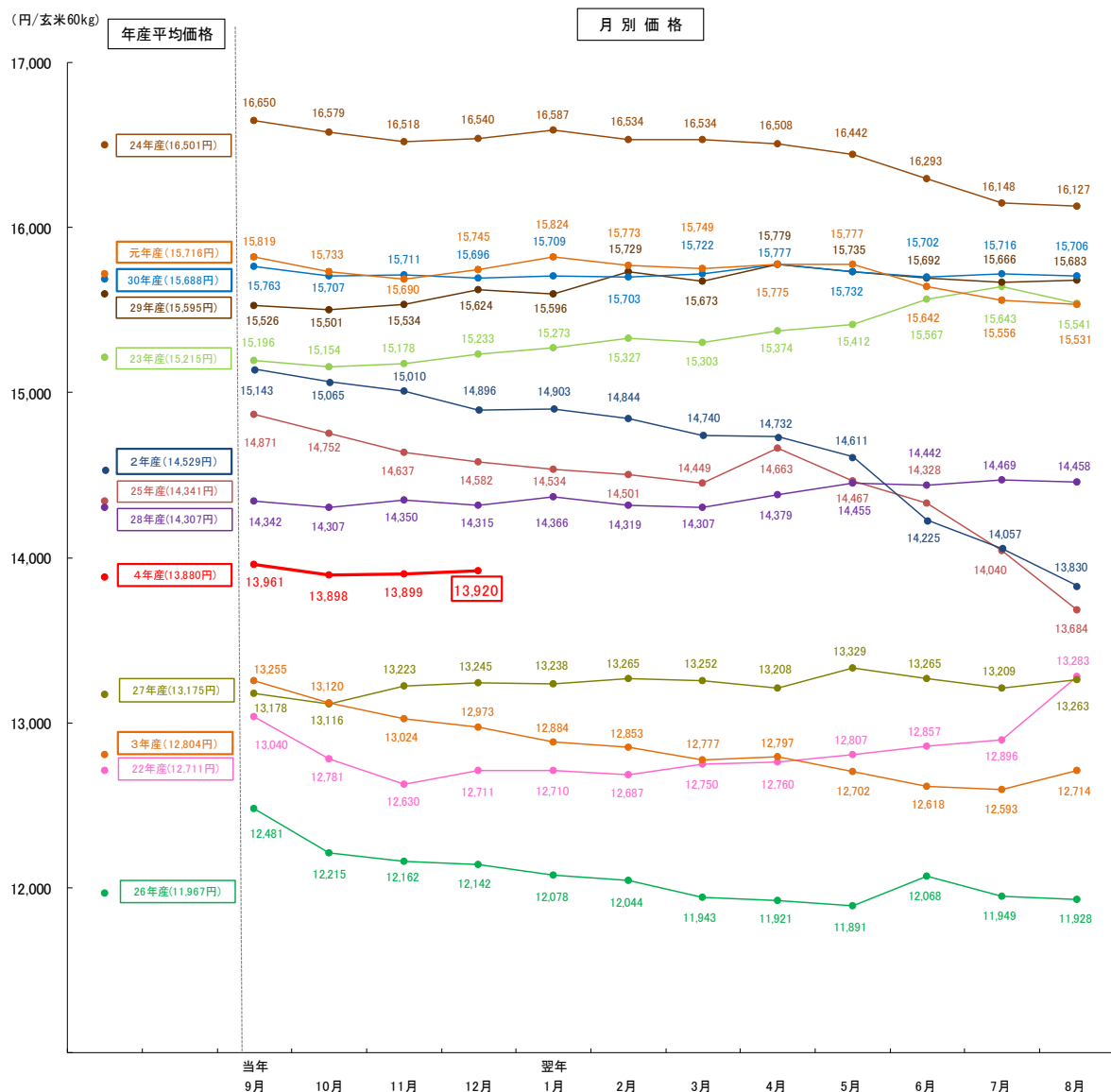
相対取引価格の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

(1) 年産別の相対取引価格

- 令和4年産米の令和4年12月の相対取引価格は、全銘柄平均で対前月差+21円の13,920円/60kgとなり、出回りからの年産平均価格は対前年産+1,076円の13,880円/60kgとなったところ。

産地銘柄ごとの価格は、「価格-3」以降を参照。

相対取引価格の推移（税込）（全銘柄平均価格）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

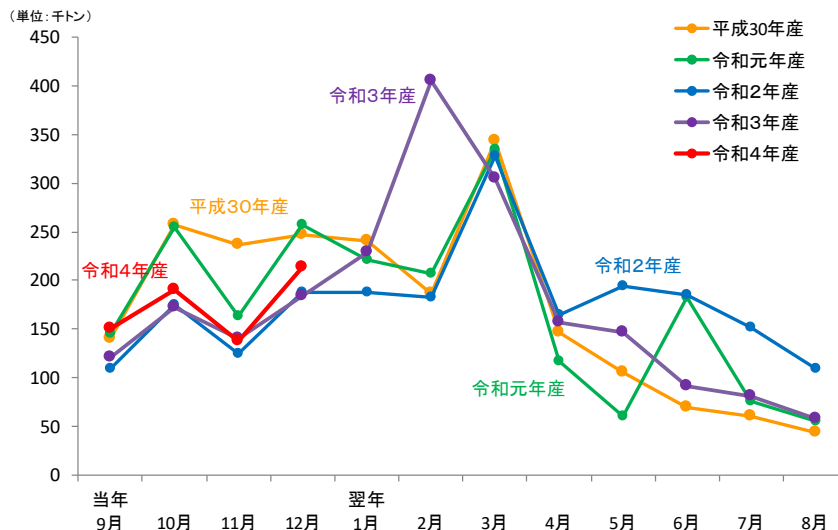
2 価格には、運賃、包装代、消費税が含まれている。なお、消費税は、平成26年3月以前は5%、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

3 グラフの左側は年産別の通年平均価格（当該年産の出回りから翌年10月まで（4年産は出回りから12月までの速報値））、右側は月別の価格である。

(2) 相対取引契約数量の推移

- 令和4年産米の令和4年12月の相対取引契約数量は、21.4万トンとなり、出回りからの契約数量は対前年同期差+7.3万トンの71.6万トンとなったところ。

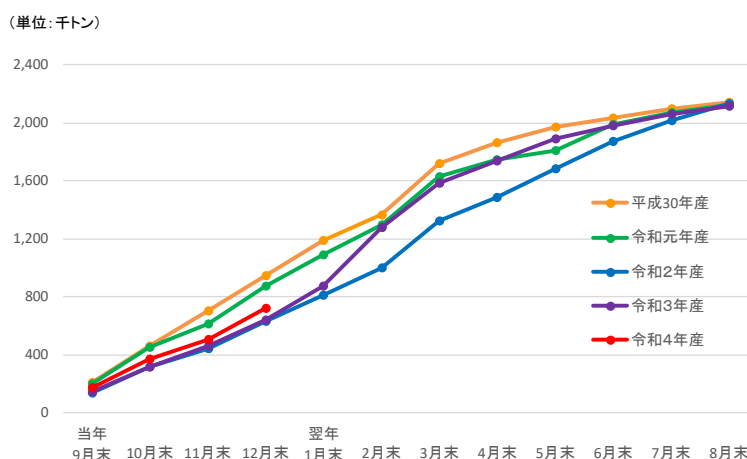
① 相対取引契約の月別数量



(単位: 千トン)

年産	当年 9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	年産計
平成30年産	140	258	236	247	240	187	343	147	105	70	61	44	2,193
令和元年産	145	254	164	257	221	207	334	117	61	183	76	55	2,191
令和2年産	110	175	125	188	187	183	328	164	194	185	152	109	2,267
令和3年産	121	172	140	185	228	405	305	157	147	91	81	58	2,207
令和4年産	151	190	137	214									

② 相対取引契約の累積数量



(単位: 千トン)

年産	当年 9月末	10月末	11月末	12月末	翌年 1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	年産計
平成30年産	204	461	698	945	1,184	1,372	1,715	1,862	1,967	2,036	2,097	2,141	2,193
令和元年産	195	450	614	870	1,091	1,298	1,631	1,748	1,809	1,991	2,068	2,123	2,191
令和2年産	138	314	438	627	814	997	1,325	1,489	1,683	1,867	2,019	2,128	2,267
令和3年産	147	319	458	643	871	1,276	1,582	1,739	1,885	1,977	2,058	2,116	2,207
令和4年産	175	365	502	716									

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 相対取引数量は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の数量の合計であり、契約後の契約変更等を含む（4年産は速報値）。

3 相対取引数量の年産計欄は、出回りから生産年の翌年10月までの数量であるため、各月の合計と一致しない。

(3) 相対取引価格・数量 (令和4年産米、産地品種銘柄別、令和4年12月分) (速報)

相対取引価格・数量 (北海道から三重まで)

(単位:円/玄米60kg税込、玄米ト)

Table with columns for Prefecture, Brand, Price (4-year and 3-year), Quantity, and Comparison (Month-over, Year-over). Rows list various rice brands across Hokkaido to Shiga.

注: 本表の注意点は次頁の脚注を参照

相対取引価格・数量（滋賀から鹿児島まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	4年産米 令和4年12月		月別価格						年産平均価格			取引数量					
		価格 ①	数量 ②	4年産米 (4年11月)		3年産米 (3年12月)		4年産米 出回り～ 4年12月		3年産米 出回り～ 4年10月		4年産米 (4年11月)	対前月比 ②/⑦	対前年 同月比 ②/⑧	3年産米 (3年12月)	4年産米 出回り～ 4年12月	3年産米 出回り～ 3年12月	対前年 同期比 ⑨/⑩
				③	①/③	①/④	④	⑤	⑥	⑤/⑥	⑦							
滋賀	コシヒカリ	13,858	2,247	13,823	100%	100%	13,823	13,954	13,647	102%	1,856	121%	105%	2,132	7,604	8,347	91%	
滋賀	キヌヒカリ	12,166	1,776	12,296	99%	108%	11,278	12,430	11,856	105%	2,174	82%	54%	3,259	5,134	5,891	87%	
滋賀	みずかがみ	13,627	729	13,313	102%	99%	13,791	13,582	13,280	102%	1,787	41%	155%	471	6,726	4,743	142%	
京都	コシヒカリ	14,464	477	14,032	103%	100%	14,504	14,531	13,543	107%	558	85%	100%	475	3,469	2,652	131%	
京都	キヌヒカリ	13,547	202	-	-	-	-	13,247	12,410	107%	-	-	-	-	693	459	151%	
京都	ヒノヒカリ	15,439	235	15,081	102%	98%	15,806	15,289	15,237	100%	115	204%	48%	487	366	493	74%	
兵庫	コシヒカリ	14,563	1,658	14,682	99%	104%	13,939	15,230	13,869	110%	948	175%	158%	1,049	6,123	4,209	145%	
兵庫	コシヒカリ	12,843	222	12,567	102%	105%	12,221	12,562	11,939	105%	305	73%	73%	306	759	800	95%	
兵庫	キヌヒカリ	12,519	522	12,493	103%	101%	12,339	12,382	11,885	104%	212	246%	166%	315	1,265	1,122	113%	
奈良	ヒノヒカリ	12,853	395	12,898	100%	102%	12,640	12,855	12,535	103%	452	87%	144%	274	946	638	148%	
鳥取	きぬむすめ	12,844	316	-	-	99%	12,961	13,131	11,873	111%	-	-	103%	306	823	974	84%	
鳥取	コシヒカリ	13,423	248	13,045	103%	104%	12,891	13,573	12,896	105%	115	216%	113%	220	989	1,122	88%	
鳥取	ひとめぼれ	12,629	450	-	-	103%	12,235	12,813	12,118	106%	-	-	271%	166	1,475	1,267	116%	
鳥根	きぬむすめ	13,082	1,085	12,997	101%	106%	12,310	13,143	12,365	106%	1,111	98%	221%	491	6,806	4,660	146%	
鳥根	コシヒカリ	14,106	1,311	13,706	103%	105%	13,439	14,051	13,557	104%	1,338	98%	143%	916	7,736	3,967	195%	
鳥根	つや姫	13,715	491	13,873	99%	105%	13,010	13,890	13,092	106%	827	59%	193%	255	3,143	1,867	168%	
岡山	アケボノ	11,383	252	11,111	102%	108%	10,495	11,129	10,883	102%	509	50%	71%	357	1,053	1,224	86%	
岡山	きぬむすめ	12,535	204	12,165	103%	104%	12,004	12,167	11,541	105%	559	36%	80%	254	1,746	2,324	75%	
岡山	コシヒカリ	13,072	167	13,223	99%	105%	12,470	13,179	12,545	105%	715	23%	81%	205	2,241	2,681	84%	
広島	コシヒカリ	13,299	1,125	13,861	96%	98%	13,542	13,633	13,493	101%	761	148%	108%	1,037	3,675	4,306	85%	
広島	あきさかり	12,208	1,250	12,835	95%	96%	12,677	12,495	12,618	99%	196	638%	140%	891	1,955	2,195	89%	
広島	あきまん	12,458	340	12,910	96%	97%	12,862	12,689	12,883	98%	181	188%	122%	278	692	568	122%	
山口	コシヒカリ	14,387	170	14,113	102%	105%	13,644	14,085	13,338	104%	706	24%	22%	761	2,678	2,350	114%	
山口	ひとめぼれ	-	-	13,320	-	-	12,662	13,271	12,250	108%	237	-	-	461	806	1,177	69%	
山口	ヒノヒカリ	-	-	13,176	-	-	12,580	13,198	11,980	110%	313	-	-	496	710	781	91%	
徳島	コシヒカリ	-	-	13,126	-	-	-	12,980	12,251	106%	480	-	-	-	2,280	1,608	142%	
徳島	あきさかり	-	-	11,506	-	-	10,800	11,469	11,021	104%	600	-	-	480	1,080	1,020	106%	
香川	コシヒカリ	14,213	2,000	-	-	-	-	14,213	13,386	106%	-	-	-	-	2,543	5,400	47%	
香川	ヒノヒカリ	13,457	800	-	-	-	-	13,457	12,544	107%	-	-	-	-	1,300	4,800	27%	
香川	おいでまい	14,213	800	-	-	107%	13,268	14,213	13,269	107%	-	-	246%	325	1,300	1,900	68%	
愛媛	コシヒカリ	13,422	220	13,435	100%	95%	14,120	13,540	13,977	97%	198	111%	87%	252	1,476	1,287	115%	
愛媛	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	12,837	12,790	100%	-	-	-	-	190	245	78%	
愛媛	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	12,690	12,993	98%	-	-	-	-	342	309	111%	
高知	コシヒカリ	13,494	152	13,494	100%	104%	12,954	13,494	13,562	99%	930	16%	5%	2,914	3,581	6,713	53%	
高知	ヒノヒカリ	12,522	156	12,522	100%	-	-	12,820	13,062	98%	156	100%	-	-	637	489	130%	
福岡	夢つくし	14,736	1,109	14,712	100%	96%	15,278	14,913	14,724	101%	675	164%	176%	630	4,610	4,341	106%	
福岡	ヒノヒカリ	13,543	1,099	12,516	108%	98%	13,789	13,159	13,017	101%	2,031	54%	202%	544	4,322	2,765	156%	
福岡	元気つくし	14,853	2,315	14,593	102%	100%	14,920	14,793	14,521	102%	743	312%	189%	1,222	4,346	3,300	132%	
佐賀	さがびより	14,220	481	14,187	100%	101%	14,075	14,205	13,975	102%	561	86%	89%	543	1,183	1,428	83%	
佐賀	夢しずく	13,283	289	13,500	98%	100%	13,222	13,443	13,206	102%	126	229%	98%	296	627	1,005	62%	
佐賀	ヒノヒカリ	12,338	309	-	-	106%	11,612	12,448	11,696	106%	-	-	79%	393	418	683	61%	
長崎	にこまる	13,288	117	-	-	94%	14,083	12,911	14,027	92%	-	-	59%	198	527	388	136%	
長崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	13,766	12,554	13,707	92%	-	-	-	126	309	275	112%	
長崎	なつほのか	-	-	-	-	-	-	12,652	-	-	-	-	-	-	228	-	-	
熊本	ヒノヒカリ	13,037	259	12,773	102%	97%	13,398	12,887	13,235	97%	266	97%	87%	297	623	908	69%	
熊本	森のくまさん	-	-	-	-	-	-	-	13,199	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本	コシヒカリ	13,896	274	14,111	98%	90%	15,421	13,952	15,088	92%	129	212%	204%	134	795	1,168	68%	
大分	ヒノヒカリ	13,948	1,108	13,665	102%	101%	13,839	13,817	13,107	105%	420	264%	165%	673	1,946	2,080	94%	
大分	ひとめぼれ	12,835	978	-	-	90%	14,256	13,006	13,804	94%	-	-	858%	114	1,164	1,277	91%	
大分	つや姫	14,230	397	13,975	102%	-	-	14,190	13,751	103%	237	168%	-	-	1,446	972	149%	
宮崎	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	13,815	14,135	98%	-	-	-	-	5,485	5,107	107%	
宮崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	15,471	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	13,779	13,974	99%	-	-	-	190	460	41%	
鹿児島	あきほなみ	-	-	-	-	-	-	-	-	14,822	-	-	-	-	-	143	-	
鹿児島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	13,973	14,193	14,702	97%	-	-	-	170	1,142	2,486	46%	
全銘柄平均価格、合計数量		13,920	213,897	13,899	100%	107%	12,973	13,880	12,804	108%	137,320	156%	123%	174,210	716,122	643,020	111%	

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。
- 3 価格に含む消費税は、軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
- 4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。
- 5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の取引状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。
- 6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定している（4年産は速報値）。
- 7 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。
- 8 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。また、各年産の年産平均価格について、令和4年産は、当該月までの相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。令和3年産は、当該年産において報告対象としていない産地品種銘柄であり、価格の公表を行わないものである。
- 9 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

2 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和5年1月分）

調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。

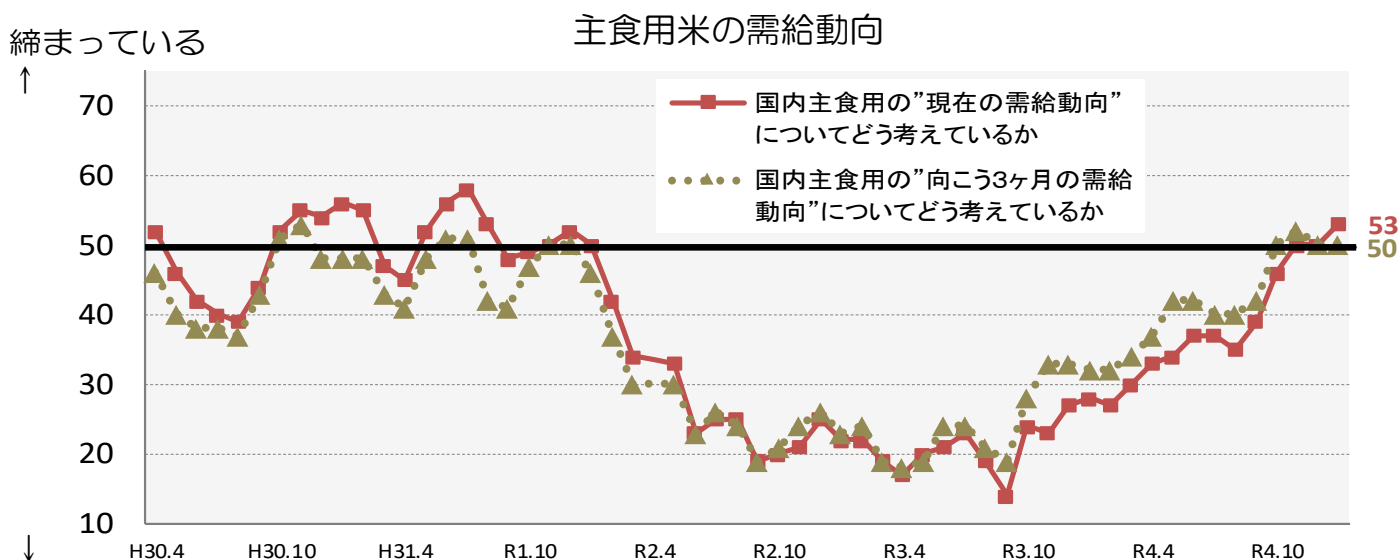
【 <https://www.komenet.jp/> 】

- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和5年1月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は前回調査と比べて±3ポイントの「やや増加」、見通し（向こう3ヶ月）判断は±0ポイントの「横ばい」。
- 米価水準の現状判断は前回調査と比べて+2ポイントの「やや増加」、見通し（向こう3ヶ月）判断は±0ポイントの「横ばい」。

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断（全体）

① 主食用米の需給動向

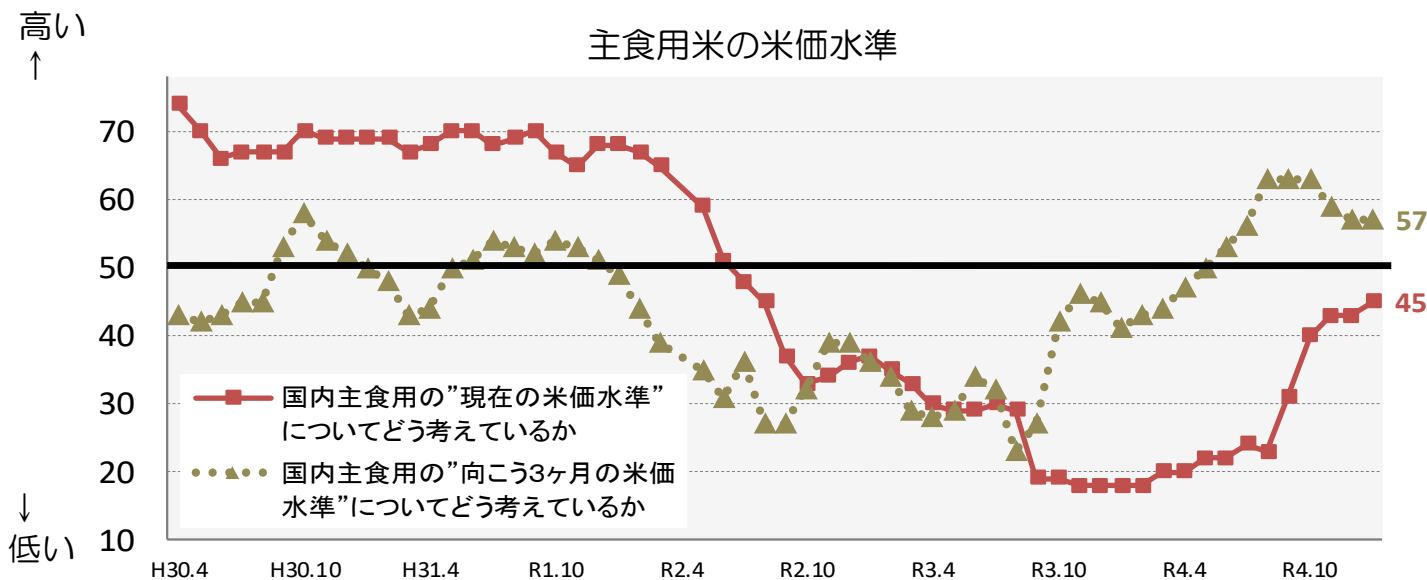
(ア) 現状判断 D I	前回からの増減	+3	(今月の数値	53)
(イ) 見通し判断 D I（向こう3ヶ月）	前回からの増減	±0	(今月の数値	50)



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断 D I	前回からの増減	+2	(今月の数値	45)
(イ) 見通し判断 D I（向こう3ヶ月）	前回からの増減	±0	(今月の数値	57)



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

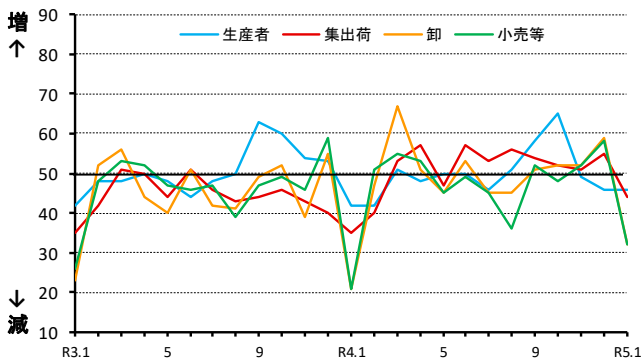
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	±0	(今月の数値	46)
集出荷：前回からの増減	▲11	(今月の数値	44)
卸：前回からの増減	▲27	(今月の数値	32)
小売等：前回からの増減	▲26	(今月の数値	32)

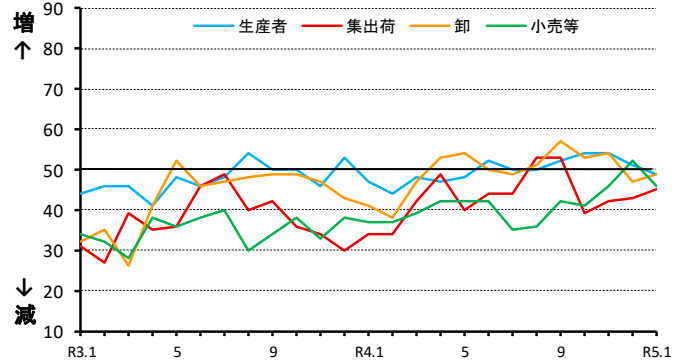
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲2	(今月の数値	49)
集出荷：前回からの増減	+2	(今月の数値	45)
卸：前回からの増減	+2	(今月の数値	49)
小売等：前回からの増減	▲6	(今月の数値	46)

①-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、
"先月と比較"するといかがですか。



①-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、
"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

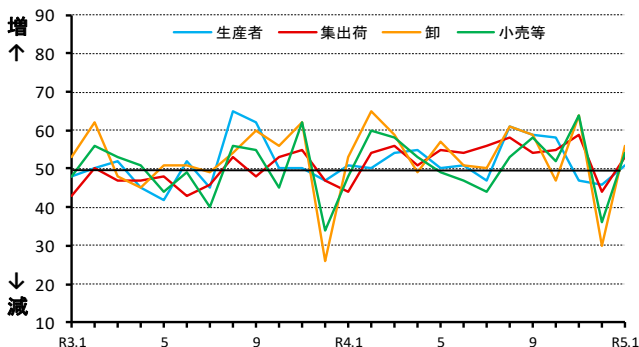
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	+5	(今月の数値	51)
集出荷：前回からの増減	+9	(今月の数値	53)
卸：前回からの増減	+26	(今月の数値	56)
小売等：前回からの増減	+18	(今月の数値	54)

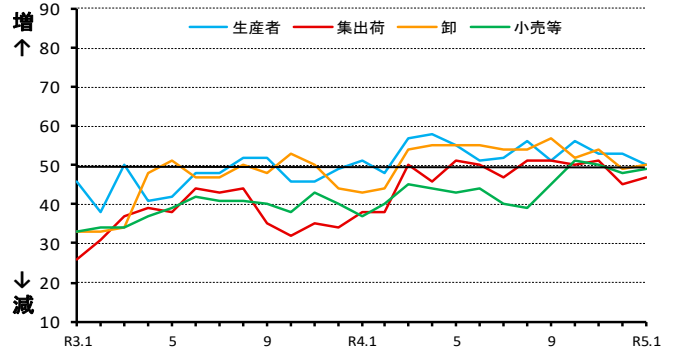
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲3	(今月の数値	50)
集出荷：前回からの増減	+2	(今月の数値	47)
卸：前回からの増減	+1	(今月の数値	50)
小売等：前回からの増減	+1	(今月の数値	49)

①-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、
"今月と比較"してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、
"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

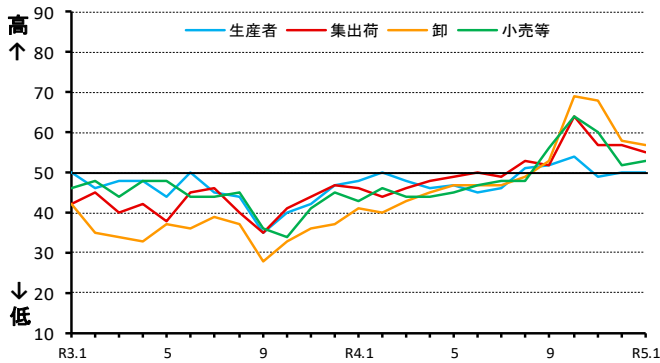
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	± 0	(今月の数値	5 0)
集出荷：前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	5 5)
卸：前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	5 7)
小売等：前回からの増減	+ 1	(今月の数値	5 3)

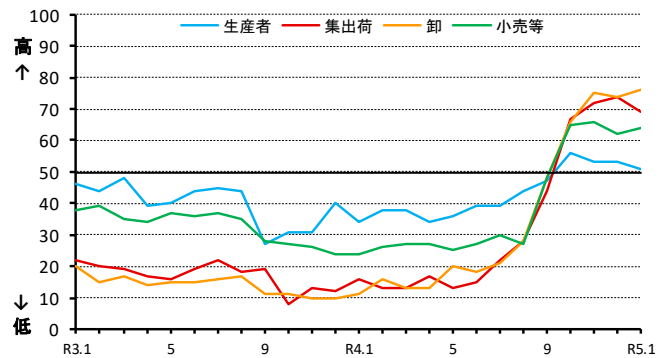
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	5 1)
集出荷：前回からの増減	▲ 5	(今月の数値	6 9)
卸：前回からの増減	+ 2	(今月の数値	7 6)
小売等：前回からの増減	+ 2	(今月の数値	6 4)

②-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”価格”について、”先月と比較”するといかがですか。



②-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”価格”について、”前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通し D I

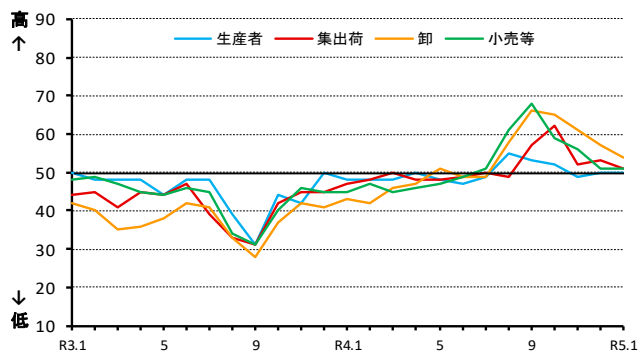
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	± 0	(今月の数値	5 0)
集出荷：前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	5 1)
卸：前回からの増減	▲ 3	(今月の数値	5 4)
小売等：前回からの増減	± 0	(今月の数値	5 1)

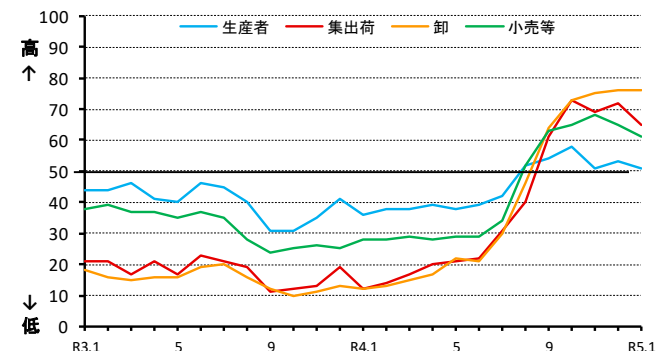
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	5 1)
集出荷：前回からの増減	▲ 7	(今月の数値	6 5)
卸：前回からの増減	± 0	(今月の数値	7 6)
小売等：前回からの増減	▲ 4	(今月の数値	6 1)

②-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”価格”について、”今月と比較”してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”価格”について、”前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

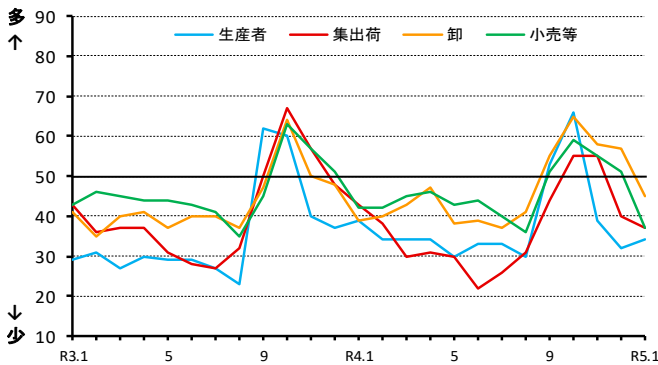
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	+ 2	(今月の数値	3 4)
集出荷：前回からの増減	▲ 3	(今月の数値	3 7)
卸：前回からの増減	▲ 12	(今月の数値	4 5)
小売等：前回からの増減	▲ 14	(今月の数値	3 7)

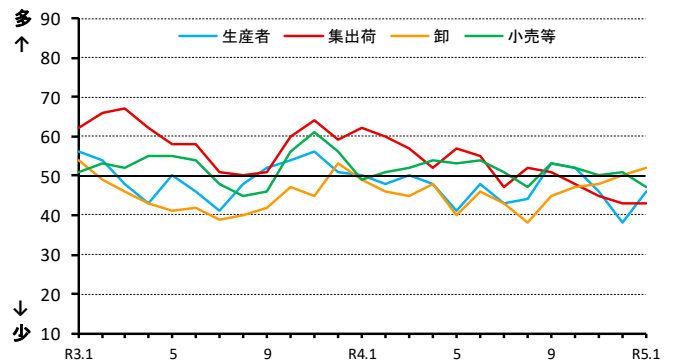
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+ 8	(今月の数値	4 6)
集出荷：前回からの増減	± 0	(今月の数値	4 3)
卸：前回からの増減	+ 2	(今月の数値	5 2)
小売等：前回からの増減	▲ 4	(今月の数値	4 7)

③-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"について、"先月と比較"するといかがですか。



③-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"は、"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

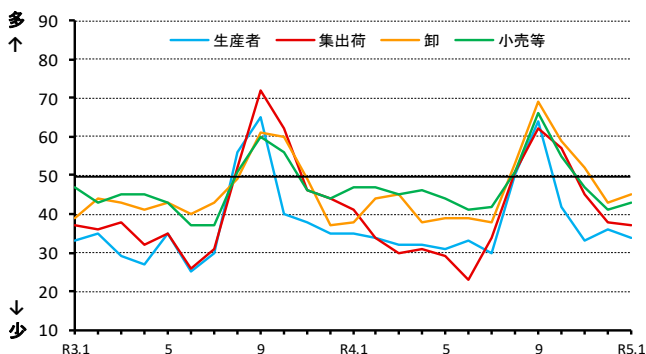
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	3 4)
集出荷：前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	3 7)
卸：前回からの増減	+ 2	(今月の数値	4 5)
小売等：前回からの増減	+ 2	(今月の数値	4 3)

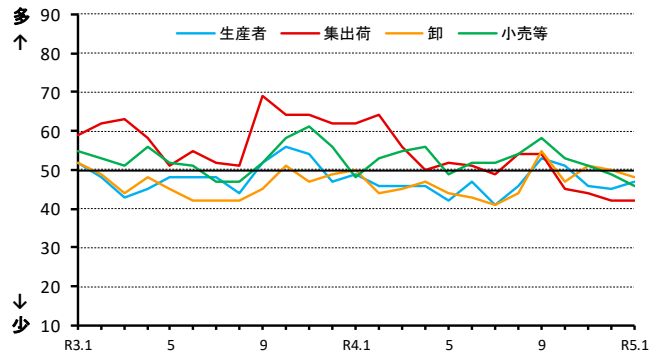
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+ 2	(今月の数値	4 7)
集出荷：前回からの増減	± 0	(今月の数値	4 2)
卸：前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	4 8)
小売等：前回からの増減	▲ 3	(今月の数値	4 6)

③-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



取引関係者が1の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R3.1	2%	30%	4%	41%	18%	3%	2%
R3.2	1%	33%	5%	40%	19%	3%	0%
R3.3	2%	37%	0%	41%	16%	5%	0%
R3.4	1%	41%	2%	38%	14%	4%	0%
R3.5	2%	39%	1%	42%	11%	6%	0%
R3.6	1%	37%	6%	40%	10%	6%	0%
R3.7	4%	40%	6%	35%	8%	7%	1%
R3.8	3%	40%	3%	37%	7%	7%	2%
R3.9	5%	41%	3%	38%	7%	5%	1%
R3.10	5%	37%	7%	37%	7%	7%	0%
R3.11	5%	30%	5%	42%	9%	8%	0%
R3.12	2%	36%	2%	37%	15%	7%	0%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R4.1	1%	31%	4%	38%	17%	8%	2%
R4.2	1%	33%	3%	34%	24%	3%	2%
R4.3	1%	35%	3%	35%	21%	5%	1%
R4.4	1%	33%	2%	37%	17%	7%	2%
R4.5	2%	29%	4%	39%	15%	9%	1%
R4.6	1%	34%	9%	36%	12%	6%	2%
R4.7	3%	32%	9%	36%	11%	6%	4%
R4.8	7%	24%	8%	39%	10%	6%	7%
R4.9	8%	23%	8%	42%	10%	6%	3%
R4.10	17%	19%	6%	39%	10%	6%	3%
R4.11	12%	18%	4%	42%	14%	8%	1%
R4.12	12%	23%	3%	44%	11%	6%	1%
R5.1	5%	28%	4%	42%	14%	6%	1%

《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の180客体

※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、本年1月にアンケート対象事業者の拡充及び一部入替を行いました。

○有効回答数：143客体

- 生産者・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
- 集出荷業者／団体・・・・・・・・・・27
- 卸売業者（主に主食用米）・・・・29
- 小売業者／中食・外食業者・・・・43
- その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

※「その他」は以下の業者です。
 ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
 ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

○結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

（DIの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなるかと考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

3 米の契約・販売情報

1 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果（令和5年産）

令和5年産

（単位：トン）

買入対象米穀 の産地	都道府県別 優先枠	買入入札の結果	
		第1回 令和5年1月24日実施	落札合計数量
北海道	2,162	0	0
青森	27,259	27,259	27,259
岩手	3,488	350	350
宮城	11,600	0	0
秋田	21,572	21,572	21,572
山形	21,291	19,999	19,999
福島	27,050	2,320	2,320
茨城	1,103	500	500
栃木	7,602	6,123	6,123
群馬	555	0	0
埼玉	463	0	0
千葉	3,985	0	0
東京			
神奈川			
新潟	25,149	886	886
富山	12,197	0	0
石川	7,849	847	847
福井	4,076	2,700	2,700
山梨			
長野	1,446	0	0
岐阜	435	0	0
静岡	20	0	0
愛知	846	0	0
三重	270	0	0
滋賀	1,342	400	400
京都			
大阪			
兵庫			
奈良			
和歌山			
鳥取	400	0	0
島根	130	0	0
岡山	977	711	711
広島	20	0	0
山口			
徳島	1,182	450	450
香川			
愛媛			
高知	10	0	0
福岡	264	0	0
佐賀	220	0	0
長崎	10	0	0
熊本	247	0	0
大分	94	0	0
宮崎			
鹿児島			
沖縄			
都道府県別枠計	185,314	84,117	84,117
指定なし	22,686	9,012	9,012
合 計	208,000	93,129	93,129
	うちCPTPP分		8,000

	買入予定数量 ①	合計落札数量 ②	落札比率 ②/①	落札残 ①-②
備蓄米入札 落札結果	208,000	93,129	44.8%	114,871

令和5年産国内産米穀の政府買入れは、農林水産省ホームページの次のURLからご覧いただけます。
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/index.html>

2 令和5年産備蓄米の政府買入予定数量、政府買入れのスケジュール

令和5年産備蓄米の政府買入予定数量

備蓄米の政府買入予定数量	20万8千トン
うちCPTPP分	8千トン
(単位：トン)	
都道府県別優先枠（第2回）	101,197
北海道	2,162
岩手	3,138
宮城	11,600
山形	1,292
福島	24,730
茨城	603
栃木	1,479
群馬	555
埼玉	463
千葉	3,985
新潟	24,263
富山	12,197
石川	7,002
福井	1,376
長野	1,446
岐阜	435
静岡	20
愛知	846
三重	270
滋賀	942
鳥取	400
島根	130
岡山	266
広島	20
徳島	732
高知	10
福岡	264
佐賀	220
長崎	10
熊本	247
大分	94
一般枠（指定なし）	13,674

令和5年産備蓄米の政府買入れの当面のスケジュール（予定）

入札日	契約締結時期	引渡開始時期
1月24日 （第1回）	令和5年4月末まで	令和5年9月1日
2月14日 （第2回）		

※1 入札公告現在の予定である。

※2 原則として第3回までの入札においては、都道府県別優先枠及び一般枠を設けることとする。
ただし、当該回の入札で都道府県別優先枠が全て落札された場合はこの限りでない。

令和5年産国内産米穀の政府買入れは、農林水産省ホームページの次のURLからご覧いただけます。
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/index.html>

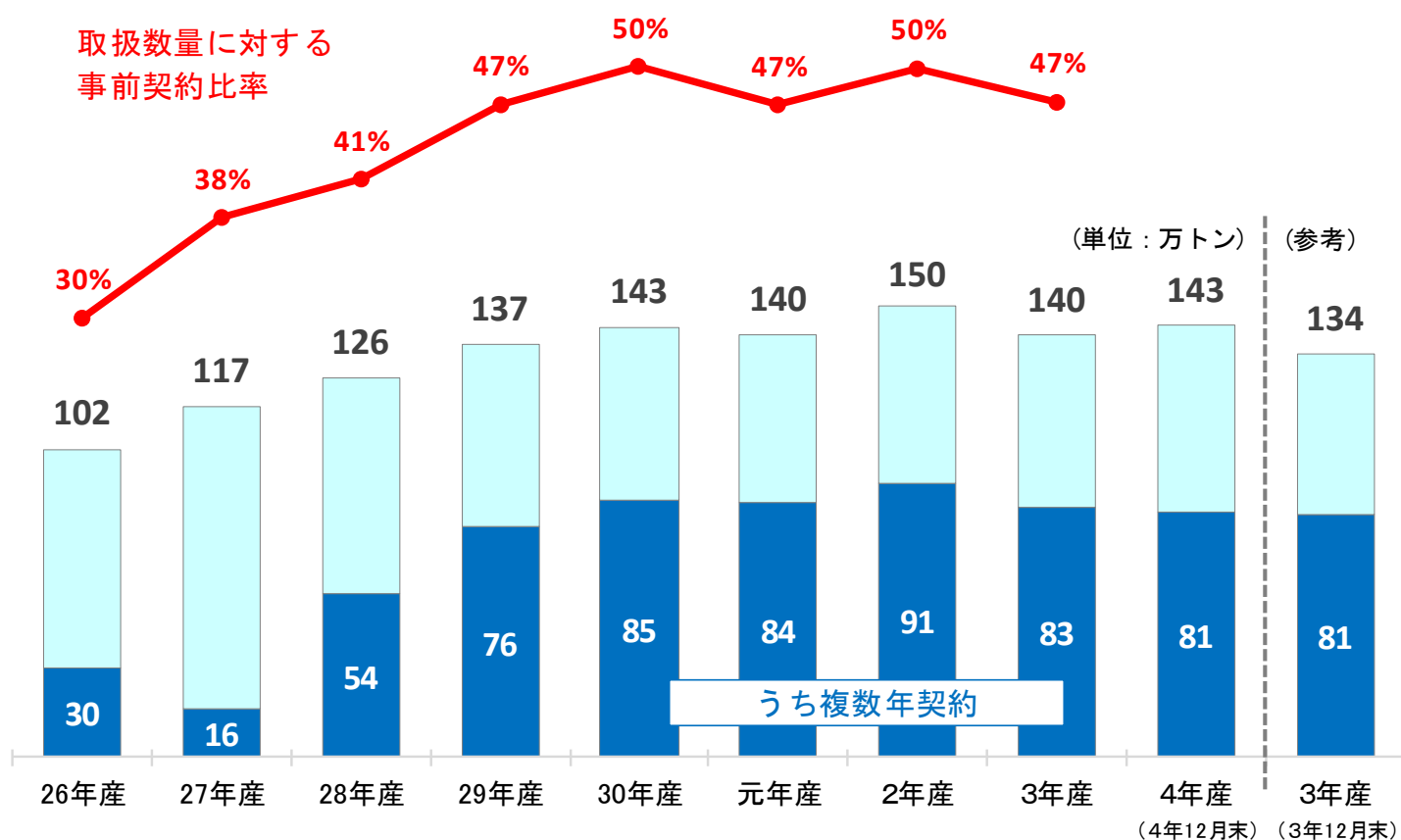
3 事前契約の取組状況

契約・販売状況の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」で御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

(1) 近年の事前契約数量の推移（平成26年産～令和4年産）

- 事前契約数量は、農水省が一定規模以上の集出荷業者を対象に、「収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量」について調査。
- 近年、主食用米の事前契約（複数年契約）の取組は年々増加していたが、平成30年産から令和3年産は、ほぼ横ばいで推移。

【近年の事前契約数量の推移】



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

注2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

注3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

注4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

注5：3年産以前は確定値、4年産は速報値。

(2) 令和3・4年産米の産地別事前契約の取組状況（令和4年12月末現在）（速報）

- 令和4年産の令和4年12月末現在の事前契約数量は対前年同期差+9.4万トンの143.3万トンとなっている。

	3年産（4年10月末）		4年産（4年12月末）			3年産（3年12月末）	
	事前契約数量	うち複数年契約	事前契約数量 ①	前年同月差 ①-②	うち複数年契約	事前契約数量 ②	うち複数年契約
北海道	196.6	178.7	169.0	▲ 27.6	167.2	196.6	178.7
青森	69.3	30.4	62.8	▲ 1.8	29.7	64.6	30.4
岩手	51.0	43.4	70.4	▲ 19.4	50.4	51.0	43.4
宮城	106.4	102.7	114.2	▲ 12.1	93.6	102.1	94.2
秋田	195.4	142.2	180.7	▲ 14.8	127.2	195.5	141.7
山形	76.9	49.8	88.1	▲ 11.3	66.4	76.8	49.8
福島	56.0	41.8	54.3	▲ 2.2	50.1	52.1	37.9
茨城	17.6	-	26.2	▲ 8.6	1.0	17.6	-
栃木	66.7	66.7	63.4	▲ 0.1	63.1	63.5	63.5
群馬	3.7	1.1	5.5	▲ 1.8	1.0	3.7	1.1
埼玉	6.3	0.9	9.5	▲ 3.2	0.9	6.3	0.9
千葉	3.9	3.9	7.1	▲ 3.2	7.1	3.9	3.9
東京	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	-	-	-	-	-	-	-
山梨	-	-	-	-	-	-	-
長野	33.3	31.4	38.2	▲ 7.5	34.2	30.7	28.8
静岡	1.7	-	1.7	▲ 0.0	-	1.7	-
新潟	184.9	95.0	191.1	▲ 23.2	84.3	167.9	92.5
富山	17.5	3.7	40.6	▲ 21.9	1.5	18.7	1.5
石川	15.8	1.7	16.1	▲ 4.1	-	12.0	0.7
福井	8.2	8.2	7.7	▲ 0.5	7.7	8.2	8.2
岐阜	8.6	2.4	12.2	▲ 3.6	4.6	8.6	2.4
愛知	15.6	2.3	15.6	▲ 0.0	2.3	15.6	2.3
三重	18.6	-	19.7	▲ 1.3	-	21.0	-
滋賀	36.8	15.5	36.9	▲ 1.1	8.4	35.8	16.0
京都	7.8	1.0	9.2	▲ 1.4	1.0	7.8	1.0
大阪	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	14.2	-	13.3	▲ 0.9	-	14.2	-
奈良	-	-	-	-	-	-	-
和歌山	-	-	-	-	-	-	-
鳥取	15.4	-	16.9	▲ 10.5	-	6.4	-
島根	28.4	0.2	24.7	▲ 3.0	-	27.7	0.2
岡山	-	-	-	-	-	-	-
広島	17.9	-	24.7	▲ 0.0	-	24.7	-
山口	18.5	-	18.3	▲ 0.3	-	18.0	-
徳島	2.2	-	2.2	▲ 0.0	-	2.2	-
香川	21.0	7.0	14.3	▲ 1.2	9.3	15.5	7.0
愛媛	5.0	-	5.3	▲ 0.3	-	5.0	-
高知	1.6	-	1.4	▲ 0.2	-	1.6	-
福岡	33.0	-	29.6	▲ 6.1	-	35.7	-
佐賀	28.8	-	26.2	▲ 11.6	-	14.6	-
長崎	7.3	-	7.2	▲ 0.1	-	7.3	-
熊本	-	-	-	-	-	-	-
大分	4.0	-	5.1	▲ 1.1	0.9	4.0	-
宮崎	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	-	-	-	-	-	-	-
沖縄	-	-	-	-	-	-	-
全 国	1,400	830	1,433	▲ 94	812	1,339	806

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」「米の農産物検査結果」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

6：全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

4 令和4年産米の産地別契約・販売状況

(累計、うるち米、令和4年12月末現在) (速報)

集荷・契約・販売数量(北海道から静岡まで)

(単位:千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	販売数量 ③	参考:前年同月比 (3年産の同時期との比較)		
					集荷数量	契約数量	販売数量
北海道	106	287.8	208.2	83.0	85%	89%	100%
ななつぼし		134.5	110.8	42.8	81%	93%	101%
ゆめびりか		90.8	51.3	19.6	102%	84%	105%
きらら397		20.9	15.8	2.4	63%	85%	75%
青森	99	101.2	73.3	15.0	87%	96%	79%
まっしぐら		76.0	53.8	7.5	83%	93%	68%
つがるロマン		12.4	8.9	2.8	87%	89%	72%
岩手	99	115.7	81.4	13.3	87%	110%	98%
ひとめぼれ		88.0	61.9	9.2	85%	101%	92%
あきたこまち		11.7	7.4	1.2	82%	207%	171%
銀河のしずく		8.9	7.3	1.7	124%	148%	105%
宮城	100	125.9	123.6	16.8	87%	110%	92%
ひとめぼれ		93.8	95.6	10.4	87%	109%	86%
つや姫		12.5	12.0	2.7	94%	111%	112%
ササニシキ		8.7	8.6	1.4	93%	132%	100%
秋田	95	227.6	200.8	46.8	87%	96%	106%
あきたこまち		191.1	169.1	40.5	89%	95%	104%
めんこいな		6.3	5.9	0.7	58%	79%	91%
ひとめぼれ		17.7	16.7	1.8	83%	110%	153%
山形	99	171.3	108.2	28.5	92%	108%	98%
はえぬき		92.1	52.7	10.0	88%	117%	101%
つや姫		38.0	27.6	10.1	104%	100%	95%
雪若丸		20.2	13.2	3.2	104%	107%	103%
福島	100	111.7	87.5	12.8	90%	119%	73%
コシヒカリ中通り		35.5	27.4	4.0	93%	152%	62%
コシヒカリ会津		29.0	27.6	2.0	96%	101%	81%
コシヒカリ浜通り		4.5	3.9	0.3	89%	99%	91%
ひとめぼれ		20.8	14.1	3.1	89%	121%	85%
天のつぶ		10.9	9.3	1.2	65%	112%	45%
茨城	101	63.8	59.6	14.8	86%	127%	83%
コシヒカリ		47.0	40.8	9.3	87%	136%	90%
あきたこまち		7.4	9.0	4.1	76%	103%	75%
ふくまる		2.4	2.5	0.2
栃木	97	102.5	69.2	6.7	80%	98%	92%
コシヒカリ		82.4	55.9	5.0	88%	99%	91%
とちぎの星		9.6	7.3	0.6	51%	111%	117%
あさひの夢		3.7	2.8	0.2	53%	92%	52%
群馬	101	15.9	6.0	0.2	106%	143%	50%
あさひの夢		11.0	5.2	0.1	108%	137%	98%
ゆめまつり		2.3	0.7	0.0	95%	477%	37%
埼玉	101	18.5	11.6	2.7	88%	164%	109%
彩のかがやき		6.5	4.6	0.8	93%	139%	88%
彩のきずな		5.8	4.5	1.3	86%	213%	147%
コシヒカリ		3.8	2.3	0.6	77%	169%	102%
千葉	100	45.1	37.1	24.1	87%	101%	88%
コシヒカリ		23.5	19.0	10.7	90%	109%	86%
ふさこがね		7.3	5.8	3.9	70%	69%	58%
ふさおとめ		9.2	8.0	6.7	87%	133%	114%
東京	102	0.0	0.0	0.0	100%	100%	100%
神奈川	101	2.7	0.6	0.6	121%	87%	87%
山梨	97	5.4	1.0	1.0	106%	101%	101%
コシヒカリ		4.7	0.8	0.8	106%	98%	98%
長野	98	64.0	45.4	8.9	99%	132%	93%
コシヒカリ		51.1	36.8	6.3	99%	139%	88%
あきたこまち		6.7	4.7	1.0	104%	108%	93%
静岡	98	8.8	1.7	1.4	102%	96%	76%
コシヒカリ		4.6	1.4	1.1	89%	99%	78%
きぬむすめ		1.7	0.1	0.0	112%	64%	33%
あいちのかおり		1.0	0.1	0.1	110%	97%	97%

注: 本表の注意点は次々頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(新潟から広島まで)

(単位:千玄米ト)

	作況 指数	集荷数量	契約数量	販売数量	参考:前年同月比 (3年産の同時期との比較)		
					①	②	③
新潟	99	261.7	219.0	59.3	103%	112%	96%
コシヒカリ一般		135.0	114.7	25.3	109%	121%	98%
コシヒカリ魚沼		29.0	21.0	8.5	101%	96%	79%
コシヒカリ佐渡		14.5	13.0	3.4	105%	104%	90%
コシヒカリ岩船		10.3	9.9	2.5	94%	100%	84%
こしいぶき		35.3	29.1	8.0	92%	100%	94%
富山	101	82.9	61.8	16.5	98%	127%	90%
コシヒカリ		59.8	45.5	12.6	100%	123%	94%
てんたかく		7.5	5.9	1.7	92%	133%	78%
石川	101	32.1	21.5	4.6	90%	88%	91%
コシヒカリ		16.6	13.4	2.3	95%	111%	136%
ゆめみづほ		4.5	2.8	0.6	58%	51%	37%
福井	99	51.6	36.9	15.4	94%	153%	113%
コシヒカリ		20.7	13.7	5.2	102%	181%	99%
ハナエチゼン		14.5	10.4	6.3	86%	128%	154%
あきさかり		5.2	2.3	0.9	103%	120%	107%
岐阜	100	18.2	17.3	3.7	104%	140%	101%
ハツシモ		8.7	8.4	1.2	104%	120%	126%
コシヒカリ		5.0	3.7	1.2	102%	118%	93%
ほしじるし		1.0	2.2	0.0
愛知	100	35.0	35.2	8.2	97%	98%	92%
あいちのかおり		17.9	18.1	3.0	90%	91%	86%
コシヒカリ		10.6	10.6	3.1	100%	100%	95%
大地の風		1.3	1.3	0.2	103%	103%	80%
三重	102	25.5	23.8	7.7	100%	108%	107%
コシヒカリ一般		12.6	13.8	4.4	102%	114%	117%
コシヒカリ伊賀		6.3	5.3	1.8	98%	106%	106%
キヌヒカリ		1.6	1.3	0.2	80%	103%	93%
滋賀	101	47.9	45.6	12.9	97%	103%	94%
コシヒカリ		15.2	17.6	4.5	94%	113%	84%
キヌヒカリ		8.9	7.4	2.0	96%	84%	118%
みずかがみ		10.6	9.2	4.1	101%	108%	111%
京都	101	8.2	9.8	2.2	107%	117%	105%
コシヒカリ		4.8	5.6	1.4	100%	105%	89%
キヌヒカリ		1.5	1.5	0.3	95%	89%	117%
ヒノヒカリ		0.7	1.2	0.2	143%	118%	195%
大阪	102	-	-	-
兵庫	102	45.4	29.9	11.8	118%	102%	104%
コシヒカリ		16.2	9.7	4.4	137%	112%	121%
ヒノヒカリ		5.5	2.8	0.6	124%	100%	94%
キヌヒカリ		5.2	2.2	1.0	151%	102%	88%
奈良	102	10.8	1.3	1.3	120%	114%	114%
ヒノヒカリ		9.1	1.0	1.0	119%	118%	118%
和歌山	105	1.8	1.8	1.8	218%	218%	500%
鳥取	100	20.3	17.4	3.8	93%	93%	98%
きぬむすめ		6.6	4.9	0.4	88%	83%	122%
コシヒカリ		6.0	5.3	1.2	100%	105%	89%
ひとめぼれ		3.1	3.5	1.2	88%	94%	132%
島根	101	31.7	24.9	6.0	97%	88%	88%
きぬむすめ		13.2	9.7	1.7	97%	84%	83%
コシヒカリ		11.8	10.0	3.0	98%	90%	93%
つや姫		5.1	3.7	0.7	108%	95%	77%
岡山	99	39.5	12.5	6.1	101%	75%	97%
アケボノ		5.9	1.5	0.4	83%	53%	136%
きぬむすめ		7.7	1.8	0.6	109%	72%	94%
コシヒカリ		7.3	2.6	2.1	114%	71%	86%
広島	101	33.1	31.4	6.0	106%	105%	90%
コシヒカリ		13.1	14.8	2.6	105%	101%	92%
あきさかり		7.1	8.6	0.9	99%	114%	62%
あきろまん		3.0	2.3	0.4	102%	105%	121%

注:本表の注意点は次頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(山口から沖縄まで、全国計)

(単位:千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	販売数量 ③	参考:前年同月比 (3年産の同時期との比較)		
					集荷数量	契約数量	販売数量
山口	105	39.9	25.2	9.7	110%	116%	149%
コシヒカリ		10.3	7.7	2.9	116%	119%	132%
ひとめぼれ		9.8	5.5	2.3	125%	122%	239%
ヒノヒカリ		6.0	3.7	1.2	100%	127%	243%
徳島	102	5.7	3.5	1.7	98%	93%	86%
コシヒカリ		2.3	1.5	1.0	103%	93%	86%
あきさかり		2.8	1.6	0.5	94%	100%	78%
香川	103	19.5	14.3	3.0	101%	92%	104%
コシヒカリ		5.8	5.9	1.4	95%	101%	99%
ヒノヒカリ		5.6	4.5	0.7	105%	87%	88%
おいでまい		3.4	3.0	0.6	94%	115%	104%
愛媛	104	12.3	8.1	2.7	119%	99%	92%
コシヒカリ		4.2	3.4	1.2	116%	99%	88%
ヒノヒカリ		2.1	1.2	0.3	110%	94%	82%
あきたこまち		1.4	0.8	0.3	126%	109%	100%
高知	100	9.5	5.0	5.0	95%	60%	60%
コシヒカリ		6.5	3.8	3.8	96%	56%	56%
ヒノヒカリ		1.3	0.5	0.5	91%	91%	91%
福岡	100	46.7	35.1	8.3	99%	83%	91%
夢つくし		16.4	11.3	3.1	114%	83%	81%
ヒノヒカリ		10.7	9.8	1.7	84%	84%	111%
元気つくし		15.3	10.4	2.5	105%	83%	95%
佐賀	98	27.9	29.3	5.5	90%	171%	87%
さがびより		9.5	12.3	1.2	104%	268%	83%
夢しずく		10.1	10.4	1.9	97%	158%	83%
ヒノヒカリ		5.1	4.8	0.7	66%	122%	85%
長崎	95	7.4	7.4	1.6	85%	100%	98%
にこまる		2.8	3.2	0.5	87%	97%	132%
ヒノヒカリ		1.2	1.1	0.2	73%	63%	87%
なつほのか		1.8	1.9	0.2
熊本	96	27.0	5.2	5.2	95%	91%	91%
ヒノヒカリ		12.1	1.2	1.2	100%	69%	69%
森のくまさん		2.3	0.7	0.7	74%	123%	123%
コシヒカリ		5.3	2.1	2.1	84%	94%	94%
大分	99	12.7	7.8	1.9	87%	90%	86%
ヒノヒカリ		6.9	3.7	0.7	82%	80%	97%
ひとめぼれ		0.8	0.5	0.1	38%	31%	25%
つや姫		2.0	1.9	0.6	97%	122%	103%
宮崎	98	12.4	8.5	8.3	115%	116%	112%
コシヒカリ		5.6	5.6	5.6	96%	96%	96%
ヒノヒカリ		5.0	1.2	1.2	121%	131%	131%
鹿児島	98	8.3	8.3	7.1	97%	97%	93%
ヒノヒカリ		2.3	2.3	1.3	110%	110%	92%
あきほなみ		0.6	0.6	0.4	106%	106%	126%
コシヒカリ		2.8	2.8	2.8	84%	84%	84%
沖縄	101	1.2	1.2	1.1	91%	91%	94%
全国①	100	2,499	1,914	555	93%	105%	97%
参考	前年同月(3年産)②	2,418	1,699	406			
	前年同月差(①-②)	▲ 197	+ 45	▲ 16			

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注: 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。

2 報告対象米穀は、水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。

9 「参考:前年同月比」で、令和4年産又は令和3年産の同時期に数量がなかった場合は、「…」としている。

4 消費の動向

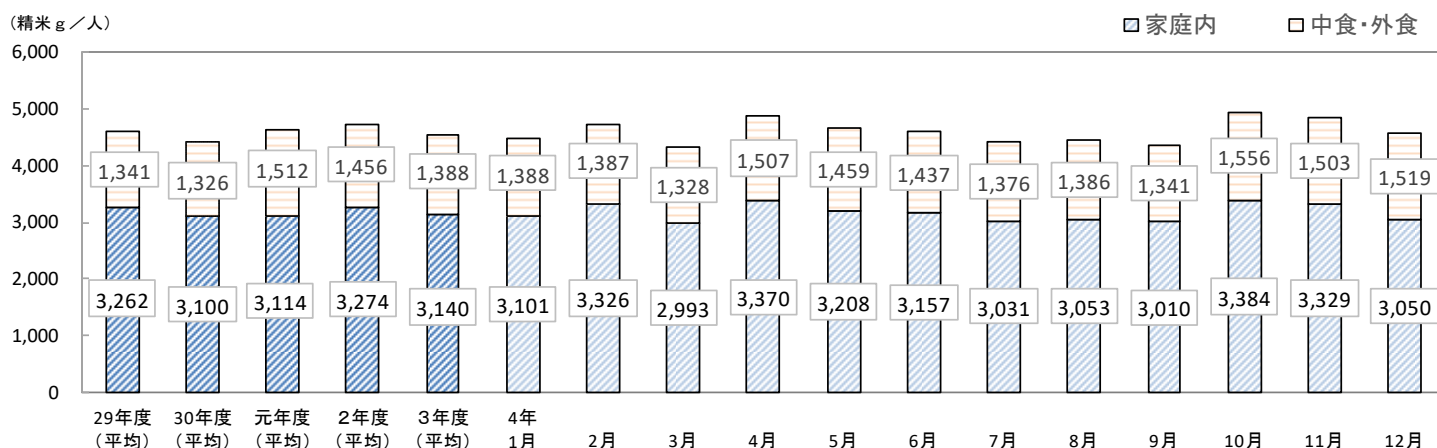
1 米の消費動向（米穀機構による調査）

調査結果の概要につきましては、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。
【 <https://www.komenet.jp/> 】

○ 本調査は、調査実施機関（株）マクロミルのモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

- 米穀機構が公表している「米の消費動向調査」（令和4年12月分）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、対前年同月比+1.9%。
- このうち、家庭内での消費量は対前年同月比+0.2%、中食・外食では+5.4%。

(1) 1人1ヵ月当たり精米消費量



	精米消費量(g)					内訳比率(%)					前年同月比(%)				
	合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食	
		中食	外食	中食	外食		中食	外食	中食	外食		中食	外食		
平成29年度	4,603	3,262	1,341	777	564	100.0	70.9	29.1	16.9	12.3	▲1.3	1.6	▲7.6	▲8.8	▲5.8
30年度	4,426	3,100	1,326	782	544	100.0	70.0	30.0	17.7	12.3	▲3.8	▲5.0	▲1.1	0.6	▲3.5
令和元年度	4,626	3,114	1,512	885	627	100.0	67.3	32.7	19.1	13.6	4.5	0.5	14.0	13.1	15.3
2年度	4,730	3,274	1,456	954	502	100.0	69.2	30.8	20.2	10.6	2.2	5.1	▲3.7	7.8	▲19.9
3年度	4,529	3,140	1,388	906	482	100.0	69.3	30.6	20.0	10.6	▲4.2	▲4.1	▲4.7	▲5.0	▲4.0
令和4年 1月	4,489	3,101	1,388	910	478	100.0	69.1	30.9	19.7	11.2	▲3.0	▲3.3	▲2.3	▲4.3	1.7
2月	4,713	3,326	1,387	880	507	100.0	70.6	29.4	18.7	10.8	0.1	▲0.6	1.7	▲0.2	5.2
3月	4,321	2,993	1,328	832	497	100.0	69.3	30.7	19.3	11.5	▲3.0	▲2.8	▲3.3	▲4.9	▲0.4
4月	4,877	3,370	1,507	962	545	100.0	69.1	30.9	19.7	11.2	0.7	▲1.0	4.8	▲0.8	16.5
5月	4,667	3,208	1,459	931	528	100.0	68.7	31.3	19.9	11.3	3.0	1.7	6.0	0.4	17.6
6月	4,594	3,157	1,437	911	526	100.0	68.7	31.3	19.8	11.4	0.8	▲0.8	4.7	0.9	12.2
7月	4,407	3,031	1,376	892	484	100.0	68.8	31.2	20.2	11.0	4.2	5.5	1.4	1.7	0.8
8月	4,439	3,053	1,386	874	512	100.0	68.8	31.2	19.7	11.5	2.8	2.4	3.7	▲3.9	19.9
9月	4,351	3,010	1,341	828	513	100.0	69.2	30.8	19.0	11.8	0.7	0.6	0.8	▲7.7	18.5
10月	4,940	3,384	1,556	1,010	547	100.0	68.5	31.5	20.4	11.1	3.9	3.0	6.1	7.3	4.0
11月	4,832	3,329	1,503	949	554	100.0	68.9	31.1	19.6	11.5	1.0	▲0.5	4.6	3.3	6.9
12月	4,568	3,050	1,519	946	572	100.0	66.8	33.3	20.7	12.5	1.9	0.2	5.4	4.0	7.7

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注1：令和4年12月分の有効調査世帯数は1,855世帯。

注2：平成29～令和3年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

注3：調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。

注4：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

注5：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成29～令和3年度はH27国勢調査、令和4年度はR2国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

注6：四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

- ・ 精米購入時の動向について、入手経路は「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「家族・知人などから無償で入手」、「インターネットショップ」の順となっている。
- ・ 精米購入経路別の購入単価は、「コンビニエンスストア」が最も高く、次いで、「デパート」、「米穀専門店」の順となっている※。
※購入割合が有効調査世帯数の1%に満たない精米購入経路を除いた順である。
- ・ 令和4年12月の家庭内の月末在庫数量は、7.0kgとなっている。

(2) 精米購入時の動向

(ア) 入手経路(複数回答)

(%)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他	有効調査世帯数
平成29年度	1.4	49.4	4.3	3.1	0.3	6.9	1.6	2.8	2.0	7.1	10.0	16.2	2.5	-
平成30年度	1.4	52.7	4.8	2.8	0.2	6.5	1.2	2.7	2.2	6.0	9.8	14.8	2.3	-
令和元年度	1.0	50.1	5.9	3.2	0.2	5.9	1.3	2.4	1.0	5.9	8.1	17.8	3.4	-
令和2年度	1.5	49.8	5.7	3.9	0.3	7.0	1.1	2.4	1.1	5.0	9.7	15.2	4.1	-
令和3年度	1.6	50.5	6.6	3.9	0.2	6.3	0.8	2.3	1.2	5.5	8.6	15.0	4.3	-
令和4年1月	2.0	51.8	6.5	2.6	0.3	5.5	0.7	2.1	1.4	5.3	7.1	16.3	4.7	1,125
2月	1.7	50.4	7.6	3.0	0.2	5.8	1.2	2.1	1.0	7.3	8.3	13.4	5.1	1,027
3月	1.3	50.7	5.9	5.1	0.3	5.4	0.9	2.0	1.0	5.7	9.9	12.3	4.3	1,043
4月	1.3	51.2	5.3	4.4	0.4	4.6	0.9	2.4	1.1	5.3	9.1	14.5	4.9	1,147
5月	1.5	52.5	6.5	3.7	0.2	6.0	1.3	1.8	1.0	4.4	8.8	14.7	3.1	1,097
6月	1.2	52.2	5.6	3.7	0.3	6.0	1.4	2.2	0.7	4.2	10.1	13.7	4.6	1,043
7月	1.7	49.8	6.8	4.6	0.4	5.9	1.0	1.8	1.3	4.6	8.2	14.3	5.2	1,063
8月	1.4	52.0	5.7	4.1	0.1	6.3	1.2	2.1	1.0	4.5	8.9	12.8	4.9	1,022
9月	1.2	51.0	4.3	4.7	0.1	5.8	0.6	1.9	2.1	3.7	7.6	18.1	3.3	998
10月	0.8	48.0	4.7	5.2	0.5	6.6	1.0	2.6	1.9	5.5	8.2	18.2	4.5	1,226
11月	1.1	47.6	4.5	4.9	0.5	5.8	0.7	2.2	2.0	5.1	9.6	18.4	5.4	1,217
12月	1.4	51.1	4.6	4.9	1.1	5.7	0.6	2.4	1.3	4.2	9.1	15.6	5.2	1,132

注：平成29～令和3年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

(イ) 精米購入経路別の購入単価(複数回答)

(円/kg)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数
令和元年度	618	399	355	323	※545	424	477	473	434	373	494	-
令和2年度	533	400	375	347	※547	434	397	477	415	358	492	-
令和3年度	541	373	357	315	※612	412	※417	485	451	358	471	-
令和4年1月	455	363	321	304	※428	455	※332	505	435	343	441	1,761
2月	443	369	347	274	※791	400	387	443	371	366	454	1,697
3月	609	384	333	275	※427	390	※520	400	391	331	407	1,630
4月	355	353	322	373	※424	458	※346	427	717	309	453	2,097
5月	579	375	338	275	※406	381	386	535	452	389	386	1,952
6月	607	365	345	310	※451	375	373	486	※383	388	420	1,842
7月	375	356	315	298	※374	380	402	447	394	345	481	1,752
8月	395	345	327	276	※403	359	415	397	336	387	398	1,688
9月	561	368	337	286	※310	421	※344	447	433	306	386	1,626
10月	※401	373	321	300	※428	429	482	470	471	322	448	2,110
11月	416	385	322	301	※515	372	※333	438	383	337	475	1,968
12月	684	373	332	371	793	370	※356	491	418	328	455	1,855

- 注：1 デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。
2 購入単価は消費税を除く本体価格である。
3 表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の1%に満たないため参考値とする。
4 令和元～3年度は4月から翌年3月までの平均値である。

(ウ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
平成 29年度	月末在庫数量	6.1	6.2	5.9	6.0	6.0	6.1	6.7	6.8	7.0	6.9	6.4	6.4	6.4	▲4.5
	平均世帯人員	2.33	2.32	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
30年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.0	5.8	6.1	6.5	6.6	6.9	7.2	6.6	6.4	6.4	6.4	0.0
	平均世帯人員	2.32	2.32	2.32	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
令和 元年度	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0	6.2	6.2	6.5	6.6	6.3	6.3	6.5	6.2	▲3.1
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
2年度	月末在庫数量	7.1	6.5	6.6	6.2	6.0	6.3	6.4	6.8	6.7	6.6	6.5	6.4	6.5	4.8
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	-
3年度	月末在庫数量	6.2	6.1	5.8	5.8	5.7	6.2	6.9	7.1	6.9	6.8	6.8	6.7	6.4	▲1.5
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
4年度	月末在庫数量	6.6	6.6	6.4	6.5	6.4	6.3	6.6	6.8	7.0				6.6	3.1
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22	2.22	2.22				2.21	-

注：1 地域ごとの世帯人員構成比が平成29～令和3年度はH27国勢調査、令和4年度はR2国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。

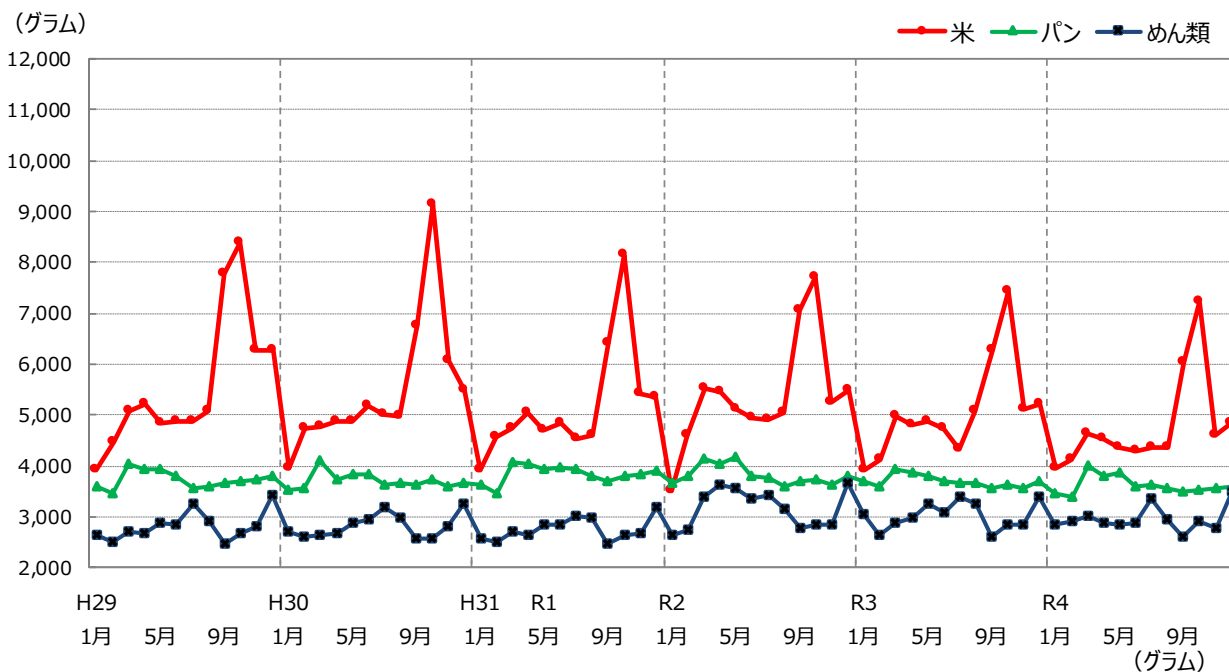
注：2 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

2 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

家計調査、消費者物価指数、小売物価統計の累年データについては、総務省統計局HPから御覧いただけます。【 <https://www.stat.go.jp/data/index.html> 】

- 総務省が公表している家計調査によると、令和4年12月の米の購入数量は、対前年同月比▲7.1%の4.9kg、パンは▲2.9%の3.6kg、めん類は+2.7%の3.5kg。

1世帯当たり1か月間の購入数量の推移

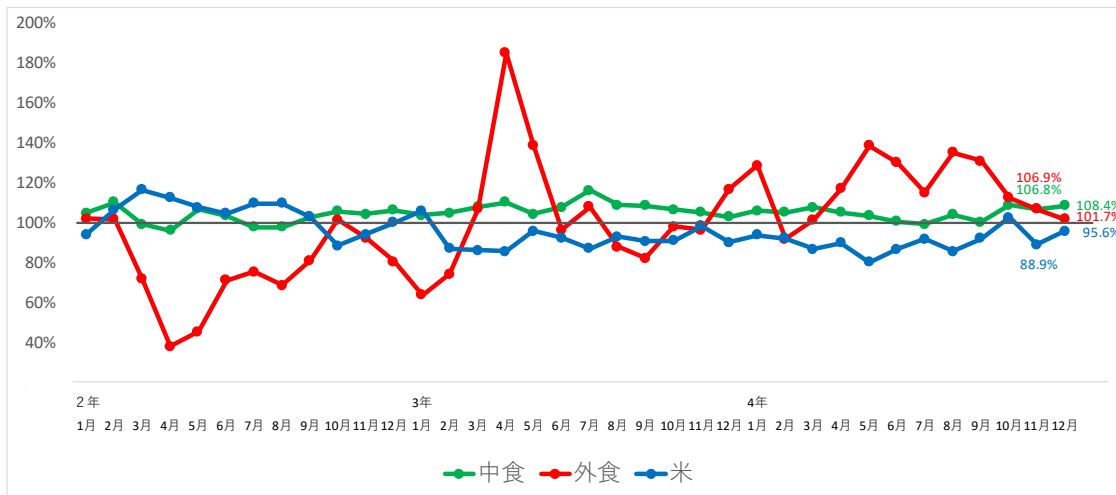


	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
平成29年	67,270	97.9%	44,840	99.4%	33,934	99.2%
30年	65,750	97.7%	44,526	99.3%	33,867	99.8%
令和元年	62,200	94.6%	46,011	103.3%	33,169	97.9%
2年	64,530	103.7%	45,857	99.7%	38,021	114.6%
3年	60,800	94.2%	44,345	96.7%	36,208	95.2%
令和4年 1月	3,950	100.8%	3,478	93.9%	2,851	93.5%
2月	4,140	100.5%	3,409	95.0%	2,924	111.1%
3月	4,650	93.2%	4,005	101.3%	3,012	104.0%
4月	4,540	94.4%	3,794	97.7%	2,871	95.8%
5月	4,380	89.8%	3,880	102.4%	2,860	88.2%
6月	4,280	90.5%	3,615	97.8%	2,889	93.9%
7月	4,350	100.7%	3,635	99.5%	3,375	99.7%
8月	4,350	85.5%	3,568	97.3%	2,967	91.3%
9月	6,030	96.3%	3,482	98.1%	2,610	100.3%
10月	7,240	97.6%	3,537	97.7%	2,902	102.1%
11月	4,590	89.6%	3,576	100.1%	2,797	97.8%
12月	4,850	92.9%	3,590	97.1%	3,498	102.7%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯
注1：米は精米ベースである。

- 総務省が公表している家計調査によると、1世帯当たり1か月間の令和4年12月の中食の支出金額は、対前年同月比+8.4%、外食は+1.7%。

1世帯当たり1か月間の支出金額の推移（前年同月比）



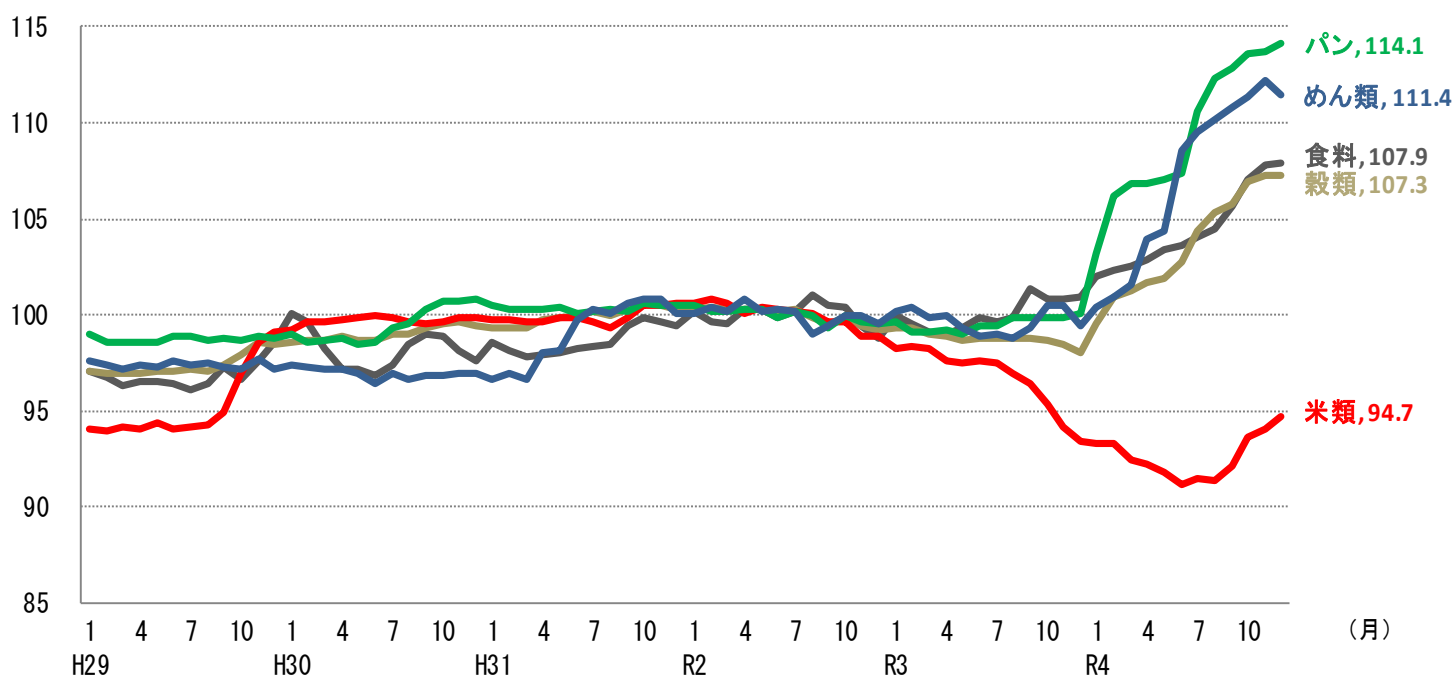
	穀類				中食	中食					
	米	パン	麺類	他の穀類		弁当	すし(弁当)	おにぎり・その他	調理パン	他の主食的調理食品	
2年1月	98.8%	94.1%	99.3%	102.9%	100.2%	104.9%	102.0%	105.9%	116.7%	102.6%	104.2%
2年2月	107.0%	106.5%	102.9%	114.1%	113.8%	110.1%	113.0%	106.8%	112.4%	107.3%	111.7%
2年3月	110.6%	116.3%	96.5%	127.6%	124.8%	99.1%	90.1%	100.8%	87.7%	94.4%	113.9%
2年4月	111.5%	112.4%	93.7%	138.0%	143.4%	96.0%	94.2%	93.7%	76.3%	83.7%	112.5%
2年5月	110.4%	107.6%	98.9%	127.9%	140.8%	106.9%	116.5%	106.4%	82.0%	94.3%	111.2%
2年6月	104.2%	104.4%	96.1%	116.3%	110.4%	103.4%	104.1%	106.6%	90.4%	96.7%	107.1%
2年7月	103.9%	109.6%	96.4%	110.0%	104.1%	97.7%	97.6%	101.4%	86.6%	93.7%	100.4%
2年8月	104.5%	109.6%	95.1%	111.5%	119.2%	97.6%	99.4%	96.2%	89.2%	95.3%	101.1%
2年9月	104.0%	102.9%	98.7%	115.9%	103.0%	102.9%	98.5%	106.4%	95.5%	101.3%	107.9%
2年10月	96.3%	88.5%	99.4%	104.9%	102.3%	105.8%	110.5%	103.9%	102.2%	111.8%	105.2%
2年11月	100.2%	93.9%	97.9%	111.8%	107.0%	104.3%	106.9%	103.9%	95.4%	100.2%	106.3%
2年12月	104.5%	100.0%	99.4%	115.6%	107.2%	106.1%	105.1%	104.6%	88.9%	102.4%	114.3%
3年1月	107.3%	105.8%	101.2%	116.5%	119.3%	103.7%	109.3%	99.1%	86.0%	98.6%	110.2%
3年2月	94.3%	86.9%	96.6%	98.9%	95.5%	104.8%	107.8%	109.3%	90.6%	100.7%	102.5%
3年3月	90.7%	86.1%	99.5%	84.0%	85.1%	107.8%	120.1%	105.2%	105.0%	113.2%	97.5%
3年4月	90.7%	85.4%	104.1%	83.3%	70.7%	110.2%	111.4%	108.3%	123.3%	128.3%	101.5%
3年5月	95.5%	95.7%	100.5%	91.1%	83.4%	104.2%	97.5%	105.3%	114.5%	117.5%	103.2%
3年6月	97.5%	92.4%	100.9%	96.9%	102.4%	107.6%	106.4%	105.9%	110.4%	110.3%	108.5%
3年7月	96.2%	87.0%	98.9%	101.2%	99.4%	116.1%	120.0%	111.7%	116.3%	117.9%	114.8%
3年8月	97.2%	92.9%	100.7%	96.6%	98.5%	108.7%	108.4%	106.9%	100.7%	110.3%	113.0%
3年9月	96.9%	90.7%	101.0%	98.2%	104.8%	108.4%	114.3%	105.0%	99.5%	111.0%	107.0%
3年10月	95.2%	90.9%	97.7%	97.9%	96.3%	106.6%	105.7%	106.0%	104.1%	106.5%	108.8%
3年11月	97.9%	98.4%	97.6%	96.7%	101.2%	105.1%	103.5%	104.4%	103.8%	107.4%	107.0%
3年12月	93.8%	90.0%	97.5%	93.1%	93.1%	102.7%	105.5%	100.4%	110.6%	108.0%	99.3%
4年1月	97.5%	93.7%	99.6%	98.7%	94.3%	106.0%	102.9%	104.3%	112.1%	114.2%	106.4%
4年2月	101.1%	92.1%	102.3%	107.6%	104.7%	105.1%	101.6%	104.6%	105.5%	107.5%	108.1%
4年3月	98.8%	86.6%	103.2%	104.0%	104.5%	107.6%	104.8%	105.1%	107.0%	108.0%	112.9%
4年4月	97.6%	89.8%	100.8%	99.6%	101.3%	105.0%	104.3%	105.8%	109.9%	99.6%	105.7%
4年5月	93.9%	80.1%	102.2%	95.7%	92.1%	103.3%	98.8%	102.1%	111.9%	96.9%	109.8%
4年6月	95.9%	86.6%	103.7%	94.8%	91.6%	100.5%	98.5%	95.1%	105.9%	103.7%	104.6%
4年7月	100.2%	91.9%	104.1%	101.1%	104.8%	99.2%	90.8%	97.9%	105.1%	98.9%	108.6%
4年8月	98.6%	85.6%	105.0%	102.6%	98.2%	104.0%	103.6%	101.0%	107.1%	102.7%	106.7%
4年9月	99.2%	91.9%	103.1%	101.9%	104.6%	100.1%	100.1%	92.3%	105.5%	96.7%	106.5%
4年10月	105.8%	102.4%	107.5%	107.3%	109.1%	108.7%	107.7%	106.8%	112.7%	108.1%	110.2%
4年11月	101.5%	88.9%	107.7%	105.1%	105.6%	106.8%	106.7%	101.2%	112.6%	105.5%	109.7%
4年12月	103.0%	95.6%	104.9%	109.4%	100.2%	108.4%	105.3%	107.7%	112.1%	104.6%	111.8%

	外食										
	日本そば・うどん	中華そば	他の種類外食	すし(外食)	和食	中華食	洋食	焼肉	ハンバーガー	他の主食的外食	
2年1月	101.9%	112.3%	99.5%	88.1%	96.7%	100.6%	99.8%	93.2%	111.4%	102.3%	105.5%
2年2月	101.6%	107.3%	103.3%	104.6%	103.0%	102.1%	103.1%	104.1%	121.1%	110.8%	96.2%
2年3月	71.9%	74.6%	77.0%	68.7%	79.3%	75.0%	66.5%	62.1%	77.3%	97.5%	67.8%
2年4月	37.8%	29.4%	38.5%	26.3%	41.4%	37.3%	43.0%	26.3%	24.0%	121.0%	35.9%
2年5月	45.4%	34.0%	48.8%	36.2%	60.6%	45.8%	60.2%	37.3%	35.8%	141.4%	38.2%
2年6月	71.0%	68.9%	75.2%	60.7%	85.5%	72.8%	85.9%	67.7%	89.4%	97.5%	62.1%
2年7月	75.4%	79.0%	80.6%	59.4%	79.8%	83.7%	69.8%	65.0%	85.4%	101.3%	70.0%
2年8月	68.5%	64.9%	71.7%	56.7%	76.3%	71.6%	79.3%	66.8%	72.3%	111.2%	61.1%
2年9月	80.9%	79.4%	84.0%	73.2%	90.4%	92.2%	105.5%	75.5%	97.4%	108.9%	68.6%
2年10月	101.4%	92.0%	98.9%	85.8%	114.7%	105.3%	110.2%	114.2%	138.8%	117.1%	90.9%
2年11月	92.2%	93.8%	76.3%	88.4%	113.0%	93.5%	80.2%	92.7%	111.5%	117.6%	85.1%
2年12月	80.3%	78.9%	79.7%	64.3%	100.5%	88.3%	84.1%	69.0%	73.0%	116.0%	72.4%
3年1月	63.8%	58.4%	64.4%	69.9%	80.4%	63.2%	58.7%	55.1%	54.9%	122.7%	57.1%
3年2月	74.1%	71.5%	73.8%	71.6%	97.1%	78.9%	88.1%	65.9%	61.2%	106.5%	66.5%
3年3月	106.8%	95.8%	98.8%	104.1%	123.7%	111.6%	109.4%	116.5%	137.4%	105.1%	96.5%
3年4月	184.9%	237.6%	205.7%	259.3%	201.5%	203.6%	161.4%	259.2%	359.7%	97.9%	161.0%
3年5月	138.8%	193.3%	154.3%	174.1%	145.5%	139.0%	128.5%	141.3%	144.4%	100.6%	136.0%
3年6月	96.2%	102.8%	101.4%	121.3%	102.9%	96.7%	85.5%	102.7%	71.0%	117.4%	92.6%
3年7月	108.0%	115.3%	104.8%	112.2%	116.7%	106.8%	116.2%	105.1%	124.1%	122.7%	101.3%
3年8月	87.8%	94.2%	90.6%	79.5%	97.5%	86.2%	84.5%	80.7%	78.8%	109.7%	84.6%
3年9月	82.0%	86.4%	85.9%	89.9%	80.2%	75.9%	72.8%	76.0%	54.0%	115.7%	86.7%
3年10月	97.9%	108.2%	93.0%	112.4%	94.9%	91.6%	96.0%	85.6%	127.0%	111.9%	98.5%
3年11月	96.2%	96.3%	116.1%	101.1%	83.0%	93.1%	98.2%	85.0%	91.3%	99.8%	102.4%
3年12月	116.6%	113.2%	122.0%	147.9%	100.7%	120.3%	98.7%	122.4%	124.1%	96.4%	121.7%
4年1月	128.6%	128.6%	122.5%	119.3%	119.3%	142.6%	131.5%	129.8%	162.6%	97.1%	128.6%
4年2月	91.8%	99.1%	98.2%	89.3%	82.6%	90.5%	90.5%	94.0%	69.1%	112.2%	93.7%
4年3月	101.3%	107.4%	102.5%	124.2%	98.8%	99.9%	98.2%	100.1%	92.1%	105.9%	102.6%
4年4月	117.1%	126.8%	98.3%	120.7%	103.5%	116.5%	116.7%	114.5%	111.0%	109.3%	127.1%
4年5月	138.4%	134.8%	121.2%	140.5%	112.6%	138.1%	129.3%	164.5%	220.4%	91.4%	146.7%
4年6月	130.1%	126.8%	115.7%	121.6%	111.9%	132.0%	117.0%	129.8%	133.9%	95.8%	145.7%
4年7月	115.1%	108.5%	106.6%	128.8%	108.6%	110.4%	103.8%	130.7%	101.6%	103.6%	123.3%
4年8月	135.1%	136.5%	134.0%	165.6%	118.9%	133.5%	121.9%	145.9%	145.8%	100.6%	144.9%
4年9月	130.8%	125.3%	125.5%	120.4%	118.0%	133.1%	107.2%	140.0%	179.4%	90.2%	139.4%
4年10月	112.3%	116.2%	129.9%	116.3%	107.5%	122.4%	112.7%	106.8%	105.9%	104.6%	109.6%
4年11月	106.9%	110.2%	106.8%	106.3%	104.1%	104.2%	113.0%	117.2%	102.5%	110.0%	106.1%
4年12月	101.7%	107.8%	112.6%	93.1%	102.8%	101.9%	103.6%	100.9%	98.3%	117.2%	98.3%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯
注1：米は精米ベースである。

3 消費者物価指数の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数（令和2年基準）によると、令和4年12月の米類の指数は対前年同月比 +1.4%の94.7ポイント。



(令和2年=100、指数)

	食料		穀類		米類		うるち米	パン		めん類		
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比		対前年 (同月)比	対前年 (同月)比			
平成29年(平均)	96.8	0.6%	97.4	1.5%	95.2	4.7%	96.0	3.2%	98.8	0.4%	97.4	▲0.6%
30年(平均)	98.2	1.4%	99.0	1.6%	99.7	4.7%	99.2	3.3%	99.5	0.7%	96.9	▲0.5%
令和元年(平均)	98.7	0.5%	99.9	0.9%	99.9	0.2%	100.1	0.9%	100.3	0.8%	99.1	2.3%
2年(平均)	100.0	1.3%	100.0	0.1%	100.0	0.1%	100.0	▲0.1%	100.0	▲0.3%	100.0	0.9%
3年(平均)	100.0	0.0%	98.8	▲1.2%	96.8	▲3.2%	96.7	▲3.3%	99.5	▲0.5%	99.7	▲0.3%
令和4年 1月	102.0	2.0%	99.5	0.2%	93.3	▲5.0%	93.8	▲4.4%	103.2	3.6%	100.4	0.2%
2月	102.3	2.8%	100.9	1.6%	93.3	▲5.1%	93.5	▲4.8%	106.2	7.2%	100.9	0.5%
3月	102.5	3.4%	101.2	2.2%	92.4	▲5.9%	93.9	▲4.8%	106.8	7.8%	101.6	1.8%
4月	102.9	3.9%	101.7	2.8%	92.2	▲5.5%	93.1	▲4.8%	106.8	7.7%	103.9	3.9%
5月	103.4	4.1%	101.9	3.2%	91.8	▲5.8%	92.5	▲5.3%	107.1	8.2%	104.4	5.1%
6月	103.6	3.7%	102.7	3.9%	91.1	▲6.7%	92.4	▲5.3%	107.4	8.0%	108.5	9.7%
7月	104.0	4.4%	104.4	5.7%	91.5	▲6.2%	92.2	▲5.2%	110.6	11.3%	109.5	10.6%
8月	104.5	4.6%	105.3	6.6%	91.4	▲5.7%	92.4	▲4.0%	112.3	12.4%	110.2	11.5%
9月	105.6	4.1%	105.8	7.1%	92.1	▲4.5%	93.2	▲2.8%	112.9	13.0%	110.8	11.6%
10月	107.1	6.3%	106.9	8.3%	93.6	▲1.8%	93.2	▲1.8%	113.6	13.7%	111.3	10.7%
11月	107.8	6.9%	107.3	8.9%	94.1	▲0.1%	94.5	0.1%	113.7	13.8%	112.2	11.6%
12月	107.9	6.9%	107.3	9.5%	94.7	1.4%	95.0	1.5%	114.1	14.0%	111.4	12.1%

資料：総務省「消費者物価指数」2020年基準、品目別価格指数（全国）

注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。

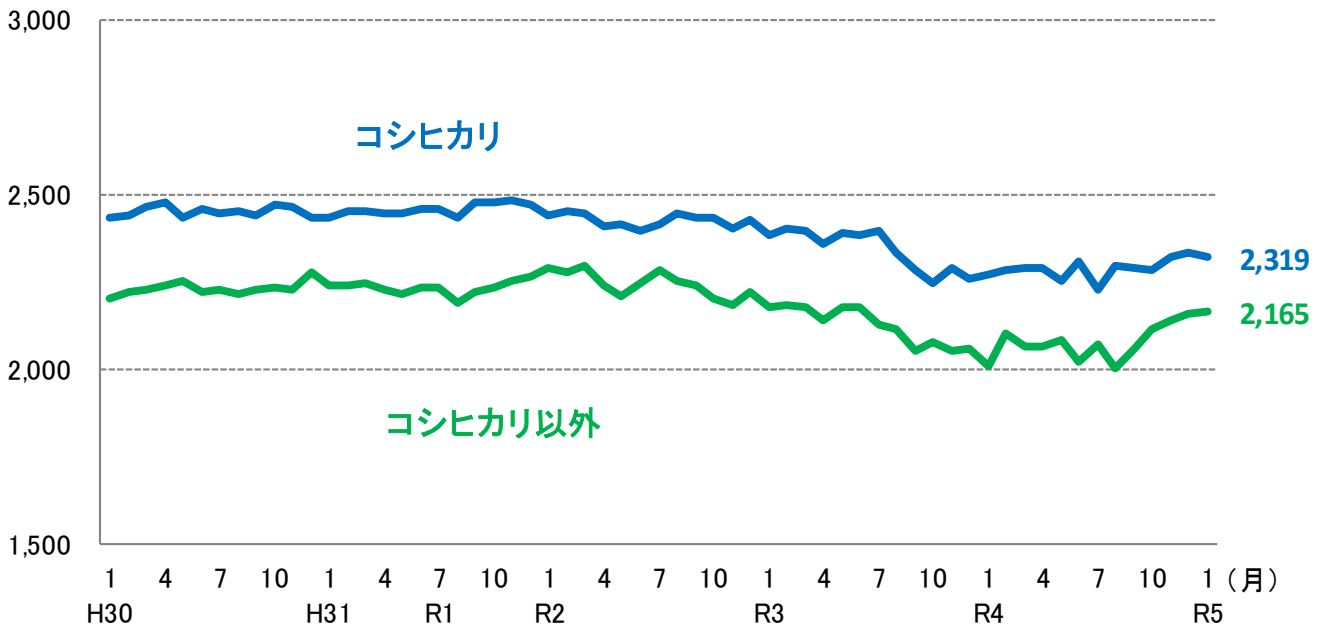
2：穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。

3：平成27年～令和3年のデータは年平均、4年は月次データである。

4 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、令和5年1月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、コシヒカリで対前年同月比+2.1%の2,319円。
- コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比+7.7%の2,165円。

（円/5kg、包装・消費税込み）



（円/5kg、包装・消費税込み）

年平均	H30	R1	R2	R3	R4
コシヒカリ	2,451	2,457	2,426	2,344	2,288
前年比	2.6%	0.2%	▲1.3%	▲3.4%	▲2.4%
コシヒカリ以外	2,232	2,234	2,246	2,127	2,076
前年比	4.7%	0.1%	0.5%	▲5.3%	▲2.4%

月次(令和3年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,382	2,405	2,397	2,358	2,391	2,385	2,398	2,335	2,287	2,248	2,288	2,257
前年同月比	▲2.3%	▲2.0%	▲1.9%	▲2.0%	▲1.0%	▲0.4%	▲0.8%	▲4.6%	▲5.9%	▲7.6%	▲4.9%	▲7.0%
コシヒカリ以外	2,181	2,182	2,176	2,142	2,179	2,175	2,131	2,115	2,055	2,077	2,053	2,059
前年同月比	▲4.7%	▲4.3%	▲5.2%	▲4.4%	▲1.4%	▲3.3%	▲6.7%	▲6.2%	▲8.3%	▲5.8%	▲6.0%	▲7.4%

月次(令和4年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,272	2,287	2,290	2,292	2,253	2,308	2,227	2,294	2,292	2,284	2,323	2,336
前年同月比	▲4.6%	▲4.9%	▲4.5%	▲2.8%	▲5.8%	▲3.2%	▲7.1%	▲1.8%	0.2%	1.6%	1.5%	3.5%
コシヒカリ以外	2,010	2,103	2,068	2,067	2,086	2,020	2,072	2,004	2,061	2,114	2,143	2,161
前年同月比	▲7.8%	▲3.6%	▲5.0%	▲3.5%	▲4.3%	▲7.1%	▲2.8%	▲5.2%	0.3%	1.8%	4.4%	5.0%

月次(令和5年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,319											
前年同月比	2.1%											
コシヒカリ以外	2,165											
前年同月比	7.7%											

資料：総務省「小売物価統計」動向編

注：東京都区部における精米価格である（特売分を除く）。

5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向

- 米穀販売事業者における令和4年12月の販売数量は、対前年同月比で小売事業者向けが102%、中食・外食事業者等向けが100%で、全体としては101%となっている。
- なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じているが、令和元年12月の販売数量と比較すると100%となる。
- 前年同月を基準にした令和4年12月の販売価格の値動きは、小売事業者向け101.4、中食・外食事業者等向け96.4。

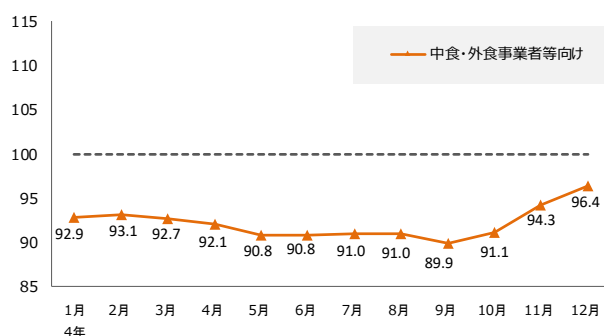
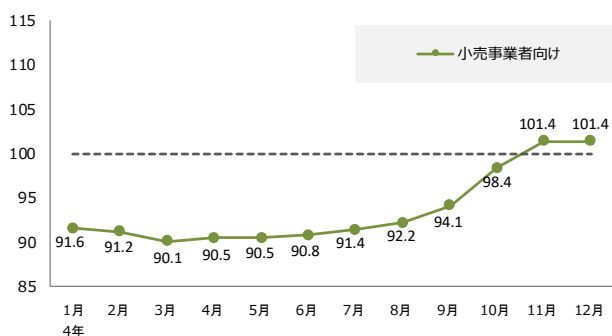
1 販売数量の動向（前年同月比）

	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年1月 ～12月計
小売事業者向け	107%	96%	84%	92%	108%	99%	99%	101%	99%	96%	98%	95%	97%
(※令和元年との比較)	(108%)	(107%)	(104%)	(101%)	(103%)	(102%)	(102%)	(106%)	(101%)	(99%)	(99%)	(102%)	(103%)
中食・外食事業者等向け	87%	88%	103%	121%	115%	104%	106%	100%	102%	100%	103%	103%	102%
(※令和元年との比較)	(86%)	(87%)	(91%)	(91%)	(87%)	(92%)	(91%)	(85%)	(90%)	(92%)	(94%)	(95%)	(90%)
販売数量計	97%	92%	91%	102%	111%	101%	102%	101%	100%	98%	100%	98%	99%
(※令和元年との比較)	(97%)	(98%)	(98%)	(96%)	(96%)	(98%)	(97%)	(96%)	(96%)	(95%)	(97%)	(99%)	(97%)

	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年1月 ～12月計
小売事業者向け	97%	95%	99%	99%	97%	100%	96%	98%	97%	98%	100%	102%	98%
(※令和元年との比較)	(105%)	(102%)	(103%)	(100%)	(101%)	(102%)	(98%)	(104%)	(98%)	(97%)	(99%)	(104%)	(101%)
中食・外食事業者等向け	105%	101%	101%	103%	106%	104%	101%	109%	109%	104%	100%	100%	104%
(※令和元年との比較)	(90%)	(88%)	(92%)	(94%)	(93%)	(96%)	(92%)	(93%)	(98%)	(95%)	(94%)	(96%)	(94%)
販売数量計	101%	98%	100%	101%	101%	102%	98%	103%	102%	101%	100%	101%	101%
(※令和元年との比較)	(97%)	(95%)	(98%)	(97%)	(97%)	(99%)	(95%)	(98%)	(98%)	(96%)	(97%)	(100%)	(98%)

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（5月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

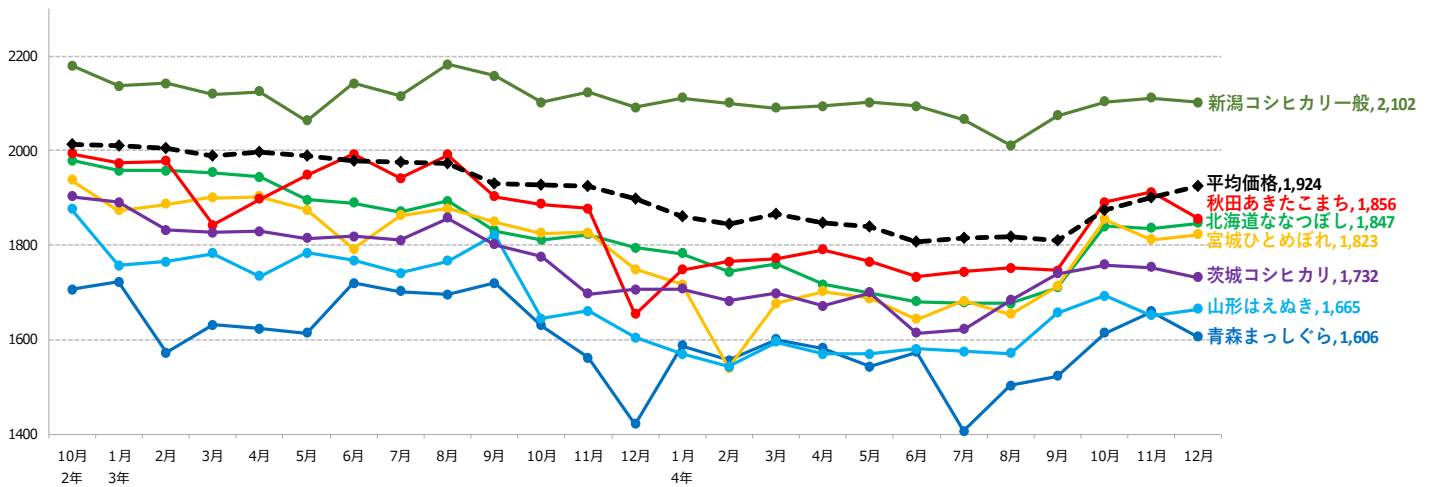
注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000ト以上の販売事業者である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

- 令和4年12月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月差+23円(+1.2%)、対前年同月差+27円(+1.4%)の1,924円。

円/5kg袋販売時換算(税込)



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

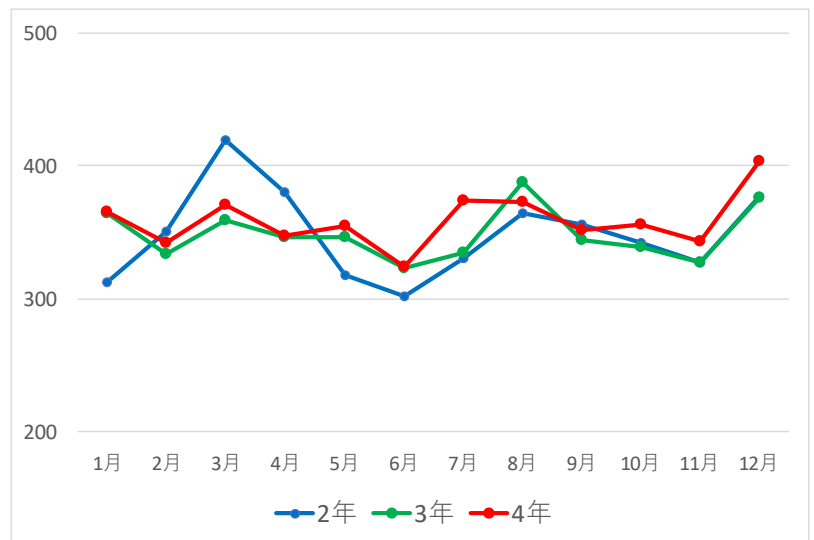
- 注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
 注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
 注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
 注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。
 注5：価格に含む消費税は8%である。

【パックご飯の販売数量】

(単位:精米トン、%)

	2年	3年 ①	4年 ②	対前年 同月比 ②/①
1月	313	365	366	100%
2月	351	334	342	102%
3月	420	359	371	103%
4月	380	347	348	100%
5月	318	346	355	103%
6月	302	323	324	100%
7月	331	335	374	112%
8月	365	388	373	96%
9月	356	344	352	102%
10月	342	339	356	105%
11月	327	327	343	105%
12月	377	376	404	107%

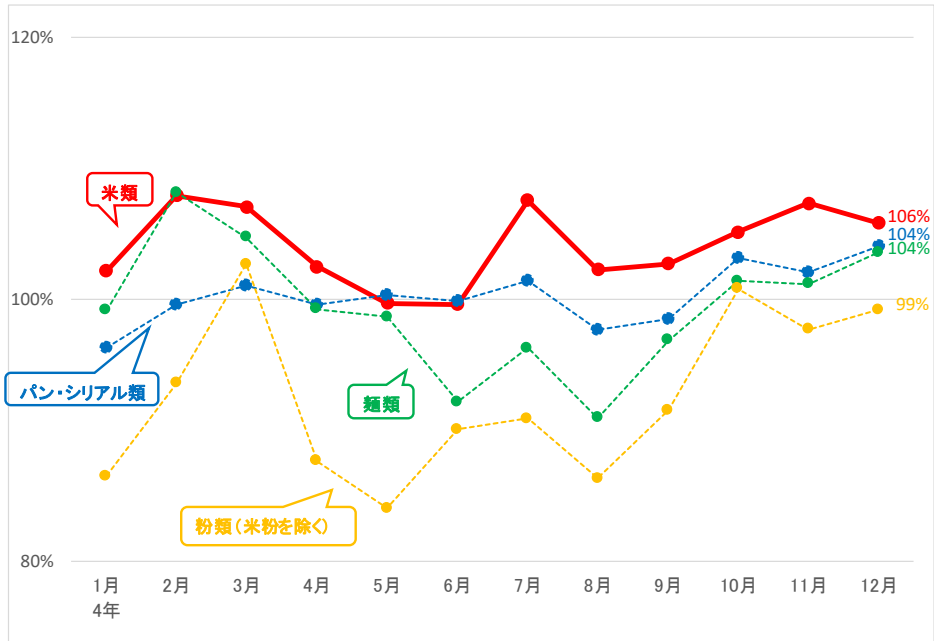
(単位:精米トン)



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

- 注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
 注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
 注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

【 POSデータ 分類別販売個数 対前年同期比 】



分類コード	分類名	主な分類基準	4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
米類	米	精米、玄米、もち米	100%	103%	101%	99%	95%	94%	98%	93%	98%	105%	105%	104%
	包装餅	切り餅、板餅	101%	117%	103%	100%	99%	111%	103%	99%	98%	112%	104%	103%
	米飯加工品		103%	107%	115%	111%	111%	109%	122%	118%	112%	112%	118%	125%
	かゆ・雑炊	主にレトルトパウチ等で販売されるおかゆ、雑炊、リゾット	109%	126%	128%	128%	120%	112%	141%	146%	124%	118%	138%	150%
	無菌パック米飯	無菌パック(お米を加熱調理後に無菌包装したもの)で販売される白飯、赤飯、玄米、麦ごはん	102%	100%	111%	104%	105%	104%	113%	104%	109%	111%	111%	118%
	レトルト米飯	レトルト米飯(お米を容器に入れてから炊飯したもの)で販売される白飯、赤飯、玄米、麦ごはん	98%	107%	114%	115%	119%	117%	126%	122%	109%	107%	115%	115%
	冷凍米飯加工品		101%	109%	116%	108%	106%	108%	109%	106%	105%	105%	110%	112%
	冷凍ピラフ、炒飯	炒飯、焼めし、ピラフ、チキンライス、ドライカレー などの米飯群	102%	111%	117%	107%	105%	108%	108%	104%	103%	103%	108%	108%
	冷凍おにぎり	おにぎり、焼きおにぎり	91%	93%	102%	99%	94%	95%	100%	104%	103%	101%	107%	111%
	その他冷凍米飯	白飯、赤飯、おこわ、炊き込みご飯、オムライス、カレーライス	108%	111%	130%	123%	131%	127%	130%	121%	116%	108%	112%	115%
	惣菜		101%	106%	115%	117%	121%	126%	128%	129%	137%	140%	152%	150%
	おにぎり	おにぎり、おにぎりセット、おにぎりとおかずがセットになった弁当	100%	103%	115%	113%	117%	119%	125%	127%	138%	142%	151%	151%
	寿司	にぎり、いなり、ちらし、助六寿司、細巻き、太巻き、恵方巻き	99%	113%	105%	114%	124%	132%	140%	138%	150%	140%	145%	139%
弁当	幕の内、唐揚げ弁当、のり弁当、駅弁、オムライス、炒飯	101%	100%	120%	129%	126%	140%	125%	128%	121%	134%	162%	149%	
パン・シリアル類		96%	100%	101%	100%	100%	100%	101%	98%	99%	103%	102%	104%	
食パン	食パン、クロワッサン、フランスパン	95%	99%	100%	98%	99%	101%	103%	97%	100%	106%	106%	107%	
菓子パン	果物、チョコレート、クリーム・ジャムを使用したパン	95%	100%	102%	100%	101%	102%	101%	98%	100%	104%	101%	103%	
調理パン	サンドウィッチ、カレーパン、ホットドック	100%	100%	98%	100%	101%	94%	100%	97%	93%	98%	99%	102%	
シリアル類	グラノーラ、コーンフレーク	108%	108%	102%	97%	92%	82%	94%	92%	90%	95%	94%	94%	
種類		99%	108%	105%	99%	99%	92%	96%	91%	97%	101%	101%	104%	
インスタント袋麺	袋入りのインスタントラーメン、そば、うどん	94%	111%	106%	102%	98%	88%	92%	91%	98%	104%	103%	106%	
カップ麺	ラーメン、そば、うどん等の即席麺	102%	109%	105%	99%	101%	88%	92%	89%	98%	99%	99%	102%	
生麺・ゆで麺	生麺、ゆでうどん、中華そば・焼きそば	97%	106%	104%	100%	98%	95%	98%	91%	93%	102%	101%	103%	
スパゲッティ	乾スパゲッティ、ゆでスパゲッティ	89%	103%	102%	91%	91%	96%	103%	93%	94%	99%	104%	108%	
冷凍麺	冷凍パスタ、そば、うどんなどの麺類	102%	108%	106%	97%	95%	99%	103%	98%	101%	105%	105%	107%	
粉類(米粉を除く)		86%	94%	103%	88%	84%	90%	91%	86%	92%	101%	98%	99%	
小麦粉	強力粉、薄力粉、中力粉	91%	97%	118%	94%	86%	90%	88%	90%	88%	91%	93%	92%	
パン粉	パン粉、生パン粉	90%	92%	97%	89%	89%	90%	91%	87%	92%	97%	98%	99%	
プレミックス	加糖ミックス(ホットケーキなどの素)、お好み焼き粉、たこ焼き粉	82%	92%	97%	83%	80%	90%	91%	85%	93%	111%	101%	104%	
(参考)	味噌	ルータイプの味噌、出し入り味噌	93%	98%	96%	96%	95%	95%	98%	94%	95%	99%	97%	101%
	米粉	白玉粉、上新粉、だんご粉	91%	99%	102%	101%	93%	110%	108%	103%	101%	109%	105%	102%
	米菓	煎餅、あられ、おかき	93%	102%	95%	88%	84%	89%	86%	92%	103%	106%	112%	
	清酒		95%	98%	100%	97%	94%	98%	98%	98%	99%	101%	97%	101%
	焼酎乙類		95%	98%	100%	98%	95%	98%	101%	98%	103%	98%	96%	100%

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：POSデータの販売個数は、商品容量にかかわらず販売された商品の個数を単純にカウントしたものであることに留意が必要である。

5 輸出入の動向

1 コメ・コメ加工品の輸出実績

(1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移

2022年のコメ・コメ加工品の輸出額は613億円（対前年比17%増）となった。
うちコメの輸出実績は対前年比+24%の74億円、米菓は-2%の55億円、日本酒は+18%の475億円、パックご飯は+33%の8億円、米粉及び米粉製品は+76%の1.0億円。

品 目 名		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		(参考) 主な輸出先国
						対前年比		
コメ・コメ加工品	数量 (原料米換算)	32,226トン	35,531トン	36,569トン	45,959トン	53,931トン	+17%	中国 アメリカ 香港 台湾 シンガポール
	金額	309億円	329億円	347億円	524億円	613億円	+17%	
コメ (援助米を除く)	数量	13,794トン	17,381トン	19,781トン	22,833トン	28,928トン	+27%	香港 シンガポール アメリカ 台湾 オーストラリア
	金額	38億円	46億円	53億円	59億円	74億円	+24%	
米菓 (あられ・せんべい)	数量	4,053トン	4,033トン	4,222トン	5,141トン	4,523トン	-12%	アメリカ 台湾 香港 サウジアラビア シンガポール
	原料米換算	3,445トン	3,428トン	3,589トン	4,370トン	3,845トン	-12%	
	金額	44億円	43億円	45億円	56億円	55億円	-2%	
日本酒 (清酒)	数量 キロリットル	25,747	24,928	21,761	32,052	35,895	+12%	中国 アメリカ 香港 韓国 シンガポール
	原料米換算	14,502トン	14,041トン	12,257トン	18,054トン	20,218トン	+12%	
	金額	222億円	234億円	241億円	402億円	475億円	+18%	
パックご飯等	数量	923トン	1,018トン	1,205トン	1,129トン	1,384トン	+23%	アメリカ 香港 台湾 韓国 ベトナム
	原料米換算	485トン	535トン	634トン	594トン	727トン	+22%	
	金額	5億円	5億円	7億円	6億円	8億円	+33%	
米粉及び米粉製品 (米粉麺等)	数量		118トン	249トン	88トン	173トン	+97%	アメリカ ドイツ タイ 台湾 フランス
	原料米換算		146トン	308トン	108トン	213トン	+97%	
	金額		0.3億円	0.7億円	0.6億円	1.0億円	+76%	
コメ・パックご飯・米粉及 び米粉製品	数量 (原料米換算)	14,279トン	18,062トン	20,723トン	23,535トン	29,868トン	+27%	香港 アメリカ シンガポール 台湾 オーストラリア
	金額	42億円	52億円	60億円	66億円	83億円	+26%	

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。パックご飯等は2017年より、米粉は2019年より、米粉麺等は2020年より貿易統計にて輸出実績を集計・公表。

注2：米粉及び米粉製品のうち米粉製品の原料米換算は米粉100%として推計。

(2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

2022年の商業用の米の輸出は、輸出数量が28,928トン（対前年同期比+27%）、輸出金額が74億円（対前年同期比+24%）と、数量及び金額ともに前年より増加。

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	11,841 (+19%)	3,198 (+18%)	13,794 (+16%)	3,756 (+17%)	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	19,781 (+14%)	5,315 (+15%)	22,833 (+15%)	5,933 (+12%)	28,928 (+27%)	7,382 (+24%)
香港	4,128	1,016	4,690	1,160	5,436	1,372	6,978	1,796	8,938	2,118	9,880 (+11%)	2,344 (+11%)
シンガポール	2,861	642	3,161	694	3,879	802	3,696	785	4,972	1,025	5,742 (+15%)	1,201 (+17%)
アメリカ	986	320	1,282	404	1,980	543	1,989	565	2,244	625	4,459 (+99%)	1,169 (+87%)
台湾	943	350	1,173	394	1,262	411	2,004	622	1,907	575	2,532 (+33%)	716 (+25%)
オーストラリア	476	145	635	197	770	233	1,074	334	893	283	1,245 (+39%)	390 (+38%)
中国	298	97	524	211	1,007	363	1,002	321	575	219	764 (+33%)	262 (+19%)
タイ	192	51	320	81	578	145	555	145	625	162	1,045 (+67%)	256 (+58%)
イギリス	695	191	422	121	450	131	451	131	332	104	526 (+58%)	162 (+56%)
ロシア	78	31	120	43	174	64	199	72	227	79	151 (-33%)	58 (-26%)
フランス	61	27	78	32	93	40	112	49	173	72	237 (+37%)	93 (+29%)
インドネシア	72	26	1	2	90	25	4	3	247	72	39 (-84%)	14 (-81%)
カナダ	92	28	138	43	158	51	205	62	210	69	382 (+82%)	104 (+51%)
ドイツ	62	26	92	36	140	52	144	58	185	68	239 (+29%)	81 (+18%)
フィンランド	2	1	47	11	183	40	188	44	216	57	190 (-12%)	45 (-20%)
ベトナム	101	33	118	37	213	65	159	46	167	48	219 (+31%)	54 (+13%)
マカオ	38	18	65	27	62	26	43	21	118	48	69 (-42%)	33 (-30%)
アラブ首長国連邦	18	9	37	17	55	23	58	25	96	45	130 (+35%)	49 (+9%)
マレーシア	259	62	221	51	234	59	185	46	146	43	227 (+55%)	64 (+50%)
オランダ	105	24	112	30	102	30	110	40	92	33	93 (+1%)	31 (-8%)
モンゴル	203	32	336	56	315	53	347	58	115	25	248 (+116%)	44 (+77%)
その他	171	70	222	110	200	91	278	94	355	164	511	212

(参考)EU ※	943	283	800	253	1,050	326	629	219	757	272	957 (+26%)	317 (+17%)
----------	-----	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	---------------	---------------

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：（ ）内は対前年同期増減率である。

注2：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

注3：数量1トン未満で輸出実績がある場合は「0」と表記されている。

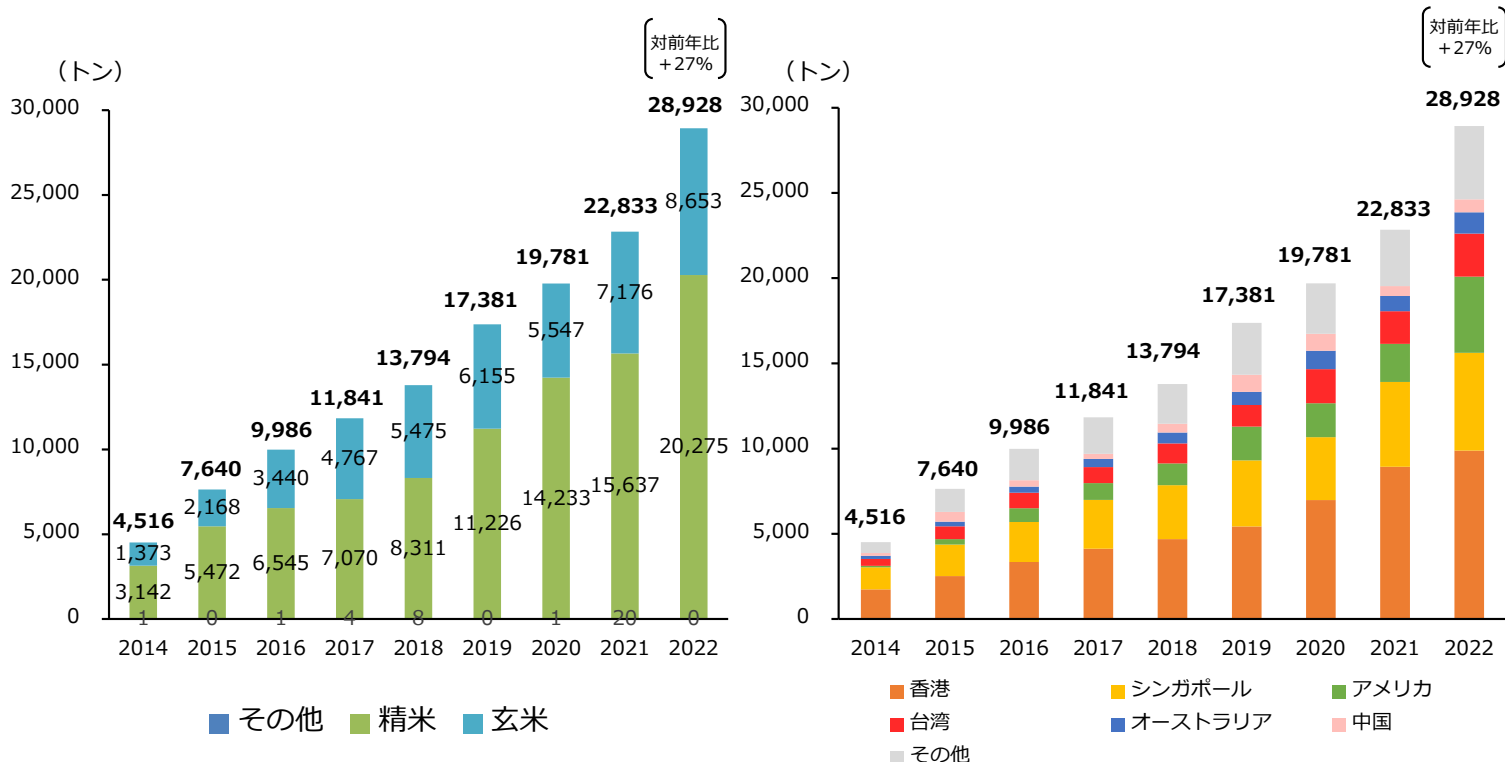
※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(3) コメの輸出数量の2022年の主な増加要因

- 2022年のコメ（精米・玄米・粳・碎米）の輸出数量は28,928トン（前年比+27%）、輸出額は74億円（前年比+24%）に増加。
- 特にアメリカにおいて、干ばつ等によるカリフォルニア産米の価格高騰等により、日本産米のオーダーが増加したことから輸出が増加した。

① 商業用の米の玄米・精米別輸出量の推移

② 商業用の米の主な国別輸出量の推移



香港 📈 9,880トン（前年比+11%） 2,344百万円（前年比+11%）

- 日本食レストラン等の店舗拡大に伴い、業務用需要が増加したことなどにより輸出が増加した。

シンガポール 📈 5,742トン（前年比+15%） 1,201百万円（前年比+17%）

- 日本食レストラン等の店舗拡大に伴い、業務用需要が増加したことなどにより輸出が増加した。

アメリカ 📈 4,459トン（前年比+99%） 1,169百万円（前年比+87%）

- 干ばつ等によるカリフォルニア産米の価格高騰等により、日本産米へのオーダーが増加したことから輸出が増加した。

(4) 米菓の輸出数量及び金額の推移

2022年の米菓の輸出は、輸出数量が4,523トン（対前年同期比-12%）、輸出金額が55億円（対前年同期比-2%）と、数量及び金額ともに前年より減少。

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	3,849 (+8%)	4,186 (+10%)	4,053 (+5%)	4,425 (+6%)	4,033 (-0%)	4,306 (-3%)	4,222 (+5%)	4,531 (+5%)	5,141 (+22%)	5,637 (+24%)	4,523 (-12%)	5,503 (-2%)
アメリカ	1,067	1,062	1,112	1,134	1,100	1,122	1,134	1,145	1,411	1,459	1,274 (-10%)	1,538 (+5%)
台湾	731	758	830	878	854	894	989	1,057	1,123	1,248	945 (-16%)	1,150 (-8%)
香港	520	660	629	744	603	724	629	749	718	863	548 (-24%)	718 (-17%)
中国	62	84	61	123	87	160	76	139	220	315	112 (-49%)	186 (-41%)
シンガポール	200	269	208	268	209	243	227	267	233	281	193 (-17%)	283 (+1%)
サウジアラビア	170	98	279	176	258	161	335	215	380	252	462 (+21%)	360 (+43%)
ベトナム	42	76	55	112	75	155	90	195	93	210	95 (+3%)	218 (+4%)
タイ	40	57	44	60	62	83	80	104	96	121	95 (-2%)	127 (+5%)
韓国	326	489	229	338	119	156	65	77	95	118	141 (+48%)	192 (+63%)
オーストラリア	173	144	121	106	127	111	108	96	135	118	160 (+19%)	132 (+12%)
オランダ	127	111	81	87	58	61	68	73	93	114	65 (-30%)	94 (-17%)
マレーシア	25	31	25	29	39	41	53	56	89	101	66 (-26%)	76 (-25%)
カナダ	31	37	31	37	35	42	35	41	40	52	38 (-5%)	51 (-2%)
北マリアナ諸島	22	28	20	25	19	25	18	25	25	37	19 (-22%)	32 (-14%)
グアム	16	21	19	23	19	24	21	27	22	34	19 (-16%)	30 (-11%)
フィリピン	19	19	23	22	27	27	26	27	33	33	20 (-39%)	26 (-22%)
ブルガリア	98	27	103	31	149	40	102	25	144	33	76 (-47%)	22 (-32%)
インドネシア	8	10	11	14	10	14	15	19	23	31	15 (-36%)	20 (-34%)
ブラジル	43	41	37	38	40	41	26	27	24	24	28 (+20%)	30 (+23%)
スイス	9	14	11	17	12	19	14	21	13	20	10 (-23%)	19 (-7%)
その他	118	151	126	163	131	164	112	148	131	172	142	199

(参考)EU ※	277	206	240	189	267	183	209	148	271	199	174 (-36%)	175 (-12%)
----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---------------	---------------

資料：財務省「貿易統計」

注1：()内は対前年同期増減率である。

注2：数量1kg未満、金額20万円未満は計上されていない。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(5) 日本酒（清酒）の輸出数量及び金額の推移

2022年の日本酒の輸出は、輸出数量が35,895キロリットル（対前年同期比+12%）、輸出金額が475億円（対前年同期比+18%）と、数量及び金額ともに増加。

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円
輸出合計	23,482 (+19%)	18,679 (+20%)	25,747 (+10%)	22,232 (+19%)	24,928 (-3%)	23,412 (+5%)	21,761 (-13%)	24,141 (+3%)	32,052 (+47%)	40,178 (+66%)	35,895 (+12%)	47,492 (+18%)
中国	3,341	2,660	4,146	3,587	5,145	5,001	4,772	5,792	7,268	10,279	7,388 (+2%)	14,164 (+38%)
アメリカ	5,780	6,039	5,952	6,313	6,452	6,757	5,270	5,070	8,826	9,591	9,084 (+3%)	10,930 (+14%)
香港	1,807	2,799	2,097	3,774	1,926	3,943	2,629	6,178	3,243	9,308	2,717 (-16%)	7,116 (-24%)
シンガポール	530	691	610	837	609	857	688	1,113	919	1,802	917 (-0%)	2,326 (+29%)
台湾	1,985	948	2,238	1,351	2,246	1,359	2,273	1,430	2,648	1,726	3,076 (+16%)	2,222 (+29%)
韓国	4,798	1,864	5,351	2,212	2,912	1,360	1,535	979	2,418	1,503	4,054 (+68%)	2,523 (+68%)
オーストラリア	444	396	502	446	483	439	525	491	747	730	806 (+8%)	932 (+28%)
カナダ	711	486	684	529	715	548	549	429	750	676	1,005 (+34%)	1,163 (+72%)
マカオ	34	150	52	207	39	156	44	179	111	563	93 (-16%)	318 (-43%)
フランス	266	267	274	276	270	285	222	213	438	490	427 (-3%)	524 (+7%)
イギリス	388	348	298	324	352	373	220	215	397	444	484 (+22%)	607 (+37%)
マレーシア	289	265	283	244	253	242	309	278	334	334	582 (+74%)	626 (+87%)
ドイツ	368	167	367	203	477	242	402	207	623	318	664 (+7%)	358 (+12%)
ベトナム	376	267	462	440	437	376	342	279	328	298	693 (+111%)	706 (+137%)
オランダ	276	144	223	161	247	142	288	178	460	273	484 (+5%)	341 (+25%)
タイ	472	252	604	300	627	276	498	225	457	212	681 (+49%)	427 (+102%)
アラブ首長国連邦	46	46	54	59	52	55	41	38	107	175	158 (+47%)	257 (+47%)
イタリア	386	139	312	130	339	129	242	89	391	163	494 (+26%)	198 (+21%)
スペイン	154	110	153	98	130	75	81	49	195	154	263 (+35%)	163 (+6%)
ブラジル	219	109	207	93	248	119	146	76	272	152	344 (+27%)	178 (+17%)
その他	812	530	877	647	966	680	684	633	1,119	987	1,478	1,415
(参考)EU ※	2,009	1,311	1,809	1,334	2,023	1,421	1,447	915	2,330	1,592	2,712 (+16%)	1,944 (+22%)

資料：財務省「貿易統計」

注1：（ ）内は対前年同期増減率である。

注2：数量1リットル未満、金額20万円未満は計上されていない。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(6) 包装米飯（パックご飯）等の輸出数量及び金額の推移

2022年の包装米飯等の輸出は、輸出数量が1,384トン（対前年同期比+23%）、輸出金額が8億円（対前年同期比+33%）と、数量及び金額ともに増加。

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	658	344	923 (+40%)	473 (+38%)	1,018 (+10%)	513 (+8%)	1,205 (+18%)	658 (+28%)	1,129 (-6%)	593 (-10%)	1,384 (+23%)	790 (+33%)
アメリカ	338	132	407	159	442	167	447	169	454	177	545 (+20%)	255 (+44%)
香港	35	25	79	51	130	77	261	170	215	126	312 (+45%)	178 (+42%)
台湾	33	28	58	36	105	56	145	88	123	99	127 (+4%)	115 (+16%)
タイ	29	14	40	17	63	27	75	34	83	39	57 (-31%)	26 (-32%)
ベトナム	69	54	92	73	82	79	66	69	47	36	49 (+5%)	43 (+18%)
中国	8	6	20	14	96	42	68	43	44	27	55 (+24%)	29 (+10%)
シンガポール	21	19	31	24	21	17	43	24	48	26	61 (+27%)	36 (+36%)
韓国	67	33	149	72	31	17	20	11	52	25	106 (+104%)	48 (+94%)
インドネシア	6	4	4	3	5	4	10	6	12	7	9 (-20%)	6 (-14%)
メキシコ	6	3	5	3	5	3	7	5	7	4	2 (-77%)	1 (-76%)
イギリス	8	4	10	4	9	4	10	5	8	4	5 (-28%)	4 (-7%)
カナダ	1	0	5	4	6	3	5	2	7	3	10 (+39%)	6 (+101%)
ドイツ	0	1	—	—	0	1	0	1	2	3	4 (+165%)	3 (+18%)
マレーシア	—	—	—	—	1	1	8	5	4	3	5 (+35%)	3 (+1%)
フランス	1	1	3	2	3	2	5	2	7	3	10 (+53%)	2 (-9%)
マカオ	0	0	0	0	3	3	2	2	4	2	2 (-47%)	2 (-12%)
オーストラリア	19	12	1	1	3	2	20	9	4	2	5 (+28%)	3 (+38%)
フィリピン	1	0	1	0	4	4	3	3	2	2	5 (+187%)	7 (+215%)
オランダ	2	1	5	3	4	3	4	5	1	2	4 (+494%)	7 (+349%)
カンボジア	4	3	1	1	2	1	0	0	1	1	3 (+103%)	2 (+72%)
その他	12	4	12	5	2	2	7	7	6	3	7	13
(参考)EU ※	11	7	18	9	17	11	14	9	13	8	21 (+64%)	15 (+85%)

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く）

注1：（ ）内は対前年同期増減率である。

注2：数量1kg未満、金額20万円未満は計上されていない。

注3：数量0.5トン未満で、輸出実績がある場合は「0」と表記されている。

注4：金額0.5百万円未満で、輸出実績がある場合は「0」と表記されている。

注5：包装米飯、その他加工米飯のほか、加熱またはその他の調製をした調製食料品のうち米のものを集計。
（2017年1月から単独のコードとして独立。）

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(7) 米粉の輸出数量及び金額の推移

2022年の米粉の輸出は、輸出数量が144トン（対前年同期比+100%）、輸出金額が68百万円（対前年同期比+85%）と、数量及び金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	118	32.8	226 (+92%)	48.4 (+48%)	72 (-68%)	36.8 (-24%)	144 (+100%)	67.9 (+85%)
タイ	24	9.5	28	10.6	41	15.9	40 (-2%)	16.6 (+4%)
オランダ	11	3.1	6	2.3	18	6.4	8 (-56%)	0.9 (-85%)
台湾	1	2.2	0	1.8	2	4.4	5 (+150%)	8.2 (+86%)
ドイツ	11	3.4	-	-	6	2.7	42 (+600%)	15.9 (+497%)
アメリカ	68	11.5	184	29.4	0	2.3	34 (注5)	13.0 (+470%)
ロシア	0	0.6	8	3.3	2	1.6	2 (+0%)	1.0 (-34%)
シンガポール	1	0.6	0	0.3	0	1.4	2 (注5)	3.9 (+183%)
香港	1	0.8	0	0.3	2	1.1	2 (+0%)	1.7 (+49%)
フランス	-	-	0	0.4	0	0.8	1 (注5)	4.9 (+511%)
アラブ首長国連邦	-	-	-	-	1	0.2	0 (-100%)	0.3 (+24%)
ベトナム	0	0.3	-	-	-	-	- (注4)	- (注4)
スペイン	1	0.7	-	-	-	-	- (注4)	- (注4)
スウェーデン	-	-	-	-	-	-	8 (注4)	1.2 (注4)
カナダ	-	-	-	-	-	-	0 (注4)	0.2 (注4)
オーストラリア	-	-	-	-	-	-	0 (注4)	0.2 (注4)
(参考)EU ※	23	7.2	6	2.7	24	9.9	59 (+146%)	22.9 (+131%)

資料：財務省「貿易統計」

注1：（ ）内は対前年同期増減率である。

注2：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

注3：数量1トン未満で、輸出実績がある場合は「0」と表記されている。

注4：対前年同期比を記載していないのは、2021年の輸出実績が計上されていないため。

注5：対前年同期比を記載していないのは、2021年の数量が1トン未満であるため。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(8) 米粉麵等の輸出数量及び金額の推移

2022年の米粉麵等の輸出は、輸出数量が29トン（対前年同期比+83%）、輸出金額が30百万円（対前年同期比+58%）と、数量及び金額ともに増加。

	2020年		2021年		2022年	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	23.2	24.1	15.8 (-32%)	19.2 (-20%)	28.9 (+83%)	30.3 (+58%)
アメリカ	10.6	11.8	5.9	9.1	11.9 (+102%)	14.8 (+62%)
イタリア	2.4	2.2	2.7	2.5	3.2 (+18%)	2.9 (+18%)
オランダ	0.8	0.9	2.3	2.3	0.5 (-78%)	0.6 (-72%)
香港	5.6	5.3	2.0	2.0	0.7 (-68%)	0.6 (-69%)
スペイン	2.1	2.0	1.7	1.5	0.6 (-64%)	0.6 (-62%)
中国	—	—	0.3	0.6	0.7 (+107%)	1.2 (+110%)
オーストラリア	0.2	0.2	0.3	0.5	0.8 (+199%)	0.9 (+110%)
カナダ	0.3	0.3	0.2	0.3	1.0 (+418%)	1.3 (+311%)
タイ	—	—	0.2	0.2	— (-100%)	— (-100%)
台湾	—	—	0.3	0.2	0.2 (-24%)	0.3 (+28%)
サウジアラビア	0.7	0.9	—	—	— (注3)	— (注3)
シンガポール	0.6	0.5	—	—	— (注3)	— (注3)
ドイツ	—	—	—	—	8.4 (注3)	5.8 (注3)
スイス	—	—	—	—	0.2 (注3)	0.2 (注3)
イスラエル	—	—	—	—	0.5 (注3)	0.7 (注3)
ニュージーランド	—	—	—	—	0.2 (注3)	0.3 (注3)

資料：財務省「貿易統計」

注1：（ ）内は対前年同期増減率である。

注2：数量1kg未満、金額20万円未満は計上されていない。

注3：対前年同期比を記載していないのは、2021年の輸出実績が計上されていないため。

2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

(輸出拡大実行戦略のうちコメ・パックご飯・米粉及び米粉製品の輸出目標等)



1. 国別輸出額目標

国名	2019年実績	2025年目標	国別のニーズ・規制に対応するための課題・方策
合計	52億円	125億円	
香港	15億円	36億円	・大手米卸や輸出事業者が中食・外食を中心に需要を開拓しており、今後もレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る
アメリカ	7億円	30億円	・大手米卸や輸出事業者が日系小売店需要を開拓。今後は日本食レストラン等やEC等の小売需要を開拓。またパックご飯や米粉の最大の輸出先国であり、更なる市場開拓を図る
中国	4億円	19億円	・大手米卸等がECやギフトボックス等の贈答用を中心に需要を伸ばしており、更なる開拓を図る ・コスト縮減のためには指定精米工場等の活用に加えて工場等の追加や輸入規制の緩和が不可欠
シンガポール	8億円	16億円	・輸出事業者やJA系統等が中食・外食を中心に需要を開拓。更にレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る
その他	18億円	22億円	・UAEや欧州等のコメを主食としない地域では、寿司等の日本食需要拡大に合わせて日本産米の需要開拓を図る ・EUを中心に拡大するグルテンフリー需要の取り込みを通じた米粉・米粉製品の需要開拓を図る

2. 輸出産地の育成・展開

<輸出産地数>

- ・ 30～40産地（先進的なJA等をモデル産地として、千トン超の輸出用米の生産に取り組む産地を育成する）

<今後育成すべき国内産地>

- ・ 国際競争力を有するコメの生産と農家手取り収入の確保の両立を図ることで、大ロットで輸出用米を生産・供給する産地

<生産基盤の強化やロットの拡大、産地間連携の実現に向けた方策>

- ・ 輸出事業者と産地が連携して取り組む、多収米の導入や作期分散等の生産・流通コスト低減の取組の支援により、輸出用米の生産拡大（主食用米からの作付転換）を推進

3. 加工・流通施設の整備

- ・ パックご飯メーカーや米粉・米粉製品メーカーが輸出に取り組んでいるが、輸出先国の規制等への対応が必要になるケースがあることから、当該規制等対応のための取組や輸出向け生産に必要な機械・設備の導入等を支援

4. 品目別団体を中心とした販路開拓

- ・ 現在、（一社）全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）が品目別のプロモーションを実施。プロモーションの財源には、国庫補助金のほか会費収入も一部活用。
- ・ 今後全米輸は、新興市場（輸出事業者の進出が不十分な国・地域あるいは分野。UAE・北欧や、アメリカのEC市場等を想定）でのプロモーション等を通じた市場開拓を予定。実施に際してはJETRO・JFOODOとも連携

3 MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html> 】

(単位:千玄米トン)

	米 国	タイ	中 国	オーストラリア	その他	合 計	うち	
							一般輸入	SBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	-	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	-	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	-	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	14	8	767	701	59
令和元年度	360	306	83	0	17	767	681	77
令和2年度	360	322	70	-	15	767	699	60
令和3年度	345	314	69	27	12	767	743	21
令和4年度 (1月末現在)	148	303	54	40	4	549	536	9

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は千実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

(参考) MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1~0.2千トン程度

4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果（令和4年度）

（単位：実トン）

令和4年度(うるち)		参考:令和3年度(うるち)	
令和4年4～6月分（長期契約）	14,233	令和3年4～6月分（長期契約）	18,874
4月分（月別契約）	244	4月分（月別契約）	424
5月分（月別契約）	743	5月分（月別契約）	134
6月分（月別契約）	375	6月分（月別契約）	286
令和4年4～6月小計	15,595	令和3年4～6月小計	19,718
7～9月分（長期契約）	16,305	7～9月分（長期契約）	18,108
7月分（月別契約）	239	7月分（月別契約）	346
8月分（月別契約）	436	8月分（月別契約）	305
9月分（月別契約）	478	9月分（月別契約）	626
令和4年7～9月小計	17,458	令和3年7～9月小計	19,385
10～12月分（長期契約）	14,136	10～12月分（長期契約）	20,798
10月分（月別契約）	363	10月分（月別契約）	294
11月分（月別契約）	285	11月分（月別契約）	153
12月分（月別契約）	381	12月分（月別契約）	356
令和4年10～12月小計	15,165	令和3年10～12月小計	21,601
令和5年1～3月分（長期契約）		令和4年1～3月分（長期契約）	19,429
1月分（月別契約）		1月分（月別契約）	215
2月分（月別契約）		2月分（月別契約）	146
3月分（月別契約）		3月分（月別契約）	553
令和5年1～3月小計		令和4年1～3月小計	20,343
令和4年度うるち合計	48,218	令和3年度うるち合計	81,047

令和4年度(もち)		参考:令和3年度(もち)	
令和4年4～7月分	2,223	令和3年4～7月分	2,291
8～11月分	2,435	8～11月分	2,154
令和4年12～令和5年3月分		令和3年12～令和4年3月分	2,320
令和4年度もち合計	4,658	令和3年度もち合計	6,765

（※）令和3年8～11月のもち見積合せ結果2,154トンのうち40トンは見積合せ後、契約辞退あり
資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合せ結果の概要について」

5 SBS輸入米の見積合せ結果（令和4年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 （令和4年9月30日）	一般米		40	207								247
	砕精米	200		200								400
	計	200	40	407								647
第2回 （令和4年10月21日）	一般米			316						206		522
	砕精米	300		200						400		900
	計	300		516						606		1,422
第3回 （令和4年11月16日）	一般米									494		1,061
	砕精米									200		200
	計			567						694		1,261
第4回 （令和4年12月14日）	一般米			620						232		852
	砕精米	308		200						200		708
	計	308		820						432		1,560
第5回 （令和4年1月11日）	一般米		140	597	144					376		1,257
	砕精米		100		100					200		400
	計		140	597	244					576		1,657
第6回 （令和4年1月30日）	一般米	54	360	514						1,152		2,080
	砕精米		100	140	108	100						448
	計	54	460	614	108	100				1,152		
令和4年度計	一般米	54	540	2,821	144	0	0	0	0	2,460	0	6,019
	砕精米	808	200	740	208	100	0	0	0	1,000	0	3,056
	計	862	740	3,561	352	100	0	0	0	3,460	0	9,075
令和3年度計 （参考）	一般米	1,094	2,492	4,132	222	670	0	0	0	5,202	0	13,812
	砕精米	4,534	300	1,700	0	440	0	0	0	600	0	7,574
	計	5,628	2,792	5,832	222	1,110	0	0	0	5,802	0	21,386
令和2年度計 （参考）	一般米	25,727	1,732	4,384	180	1,620	0	0	0	8,678	0	42,321
	砕精米	14,342	300	2,310	0	500	0	0	0	500	0	17,952
	計	40,069	2,032	6,694	180	2,120	0	0	0	9,178	0	60,273
令和元年度計 （参考）	一般米	32,937	2,596	4,435	126	1,540	0	260	0	10,359	0	52,253
	砕精米	19,210	600	2,360	600	520	0	0	0	1,000	0	24,290
	計	52,147	3,196	6,795	726	2,060	0	260	0	11,359	0	76,543
平成30年度計 （参考）	一般米	16,364	2,392	4,624	90	594	0	13,203	0	2,477	0	39,744
	砕精米	14,240	940	1,700	1,200	620	0	0	0	100	0	18,800
	計	30,604	3,332	6,324	1,290	1,214	0	13,203	0	2,577	0	58,544
平成29年度計 （参考）	一般米	45,841	2,976	3,506	90	1,580	0	27,863	0	2,007	0	83,863
	砕精米	8,966	1,000	2,012	360	660	0	2,839	0	300	0	16,137
	計	54,807	3,976	5,518	450	2,240	0	30,702	0	2,307	0	100,000

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果（令和4年度）

（単位：実トン）

		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 （令和4年5月24日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第2回 （令和4年7月26日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第3回 （令和4年9月27日・28日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第4回 （令和4年11月29日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第5回 （令和5年1月24日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
令和4年度計	一般米	0	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	0	0
令和3年度計 （参考）	一般米	620	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	620	0
令和2年度計 （参考）	一般米	595	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	595	0
令和元年度計 （参考）	一般米	3,319	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	140	0
	計	3,459	0
平成30年度計 （参考）	一般米	1,000	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	120	0
	計	1,120	0

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

6 主食用米以外の情報

1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

(1) 加工用米の生産量

(単位:トン)

			合計	(参考)	
	うるち米	もち米		全国流通	地域流通
平成17年産	123,996	4,738	128,734	127,160	1,574
18年産	140,596	7,996	148,592	146,529	2,064
19年産	152,145	10,659	162,804	160,670	2,134
20年産	138,895	10,154	149,048	142,803	6,246
21年産	134,389	6,779	141,168	122,771	18,397
22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165,185
令和元年産	203,740	49,186	252,926	100,798	155,741
2年産	194,452	48,736	243,188	97,543	150,309
3年産	195,333	66,867	262,200	98,608	163,792
4年産	204,104	71,551	275,654	101,576	174,078

資料：農林水産省「加工用米生産量」

注：1 「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。ただし、4年産は計画数量。

注：2 参考の全国流通は、取組主体が全国生産出荷団体であるもの。地域流通は、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計。

注：3 参考の27年産以降は、認定計画ベースの値。このため、合計（実績値）と一致しない。

注：4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

(単位:トン、ha)

	新規需要米															
	合計		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)	新市場開拓用米 (輸出用米等)		酒造用米		バイオエタノール用米		その他 (わら専用稲・青刈り用稲)		
	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	
20年産	12,314	12,386	108	566	1,410	8,020	9,089	74	391	-	-	303	2,426	1,330	982	
21年産	18,142	40,654	2,401	13,041	4,123	23,264	10,203	164	926	-	-	295	2,314	956	1,108	
22年産	37,072	97,632	4,957	24,639	14,883	68,011	15,939	388	1,959	-	-	397	2,488	508	535	
23年産	65,569	202,572	7,324	36,842	33,955	160,900	23,086	287	1,514	-	-	415	2,553	501	763	
24年産	68,091	205,150	6,437	32,617	34,525	166,537	25,672	454	2,423	-	-	450	2,783	553	790	
25年産	53,744	134,865	3,965	20,444	21,802	108,576	26,600	507	2,665	-	-	414	2,566	457	614	
26年産	71,073	218,712	3,401	18,352	33,881	186,564	30,929	1,092	6,003	859	4,255	384	2,458	527	1,080	
27年産	125,454	478,562	4,245	22,975	79,766	440,066	38,226	1,547	8,289	1,387	6,857	-	-	283	375	
28年産	139,028	540,344	3,428	19,014	91,169	505,998	41,366	1,437	7,903	1,420	7,027	-	-	207	402	
29年産	142,738	542,308	5,307	28,408	91,510	499,499	42,893	1,328	7,159	1,448	7,213	-	-	252	30	
30年産	131,048	473,359	5,295	27,695	79,535	426,521	42,545	3,578	19,143	-	-	-	-	96	-	
元年産	124,477	439,544	5,306	27,964	72,509	389,264	42,450	4,097	22,316	-	-	-	-	114	-	
2年産	126,205	446,901	6,346	33,391	70,883	380,502	42,791	6,089	33,008	-	-	-	-	96	-	
3年産	174,497	741,209	7,632	41,615	115,744	662,724	44,248	6,748	36,869	-	-	-	-	124	-	
4年産	206,203	846,500	8,403	44,605	142,055	761,429	48,404	7,248	40,466	-	-	-	-	92	-	

資料：農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移（平成20年産～令和4年産）」

注1：平成20・21年産の生産量は取組計画認定ベース。

注2：令和4年産の面積・生産量は、農業者等が提出する取組計画のうち農林水産省が認定したものであり、作柄等が反映された実績ベースではない。

注3：「WCS用稲」及び「その他」のうち、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。

注4：「酒造用米」は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（以下「要領」）に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。

注5：平成30年産以降の「バイオエタノール用米」は、要領の改正により「新市場開拓用米」に含まれている。

注6：「-」は、事実がない又は認定及び取りまとめを行っていないことを表す。また、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 令和4年産 都道府県別の生産状況

(単位:トン)

産地	加工用米			新規需要米			政府備蓄米	合計	
	うるち米	もち米		飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米			
全国	275,654	204,104	71,551	846,500	761,429	40,466	44,605	207,000	1,329,155
北海道	37,491	25,703	11,788	46,350	38,180	7,657	513	2,162	86,003
青森	5,842	5,461	381	56,212	54,418	1,755	39	27,259	89,313
岩手	7,486	6,109	1,376	33,780	31,443	1,906	431	3,488	44,754
宮城	3,586	2,600	987	61,461	56,541	4,088	833	11,600	76,647
秋田	51,370	28,840	22,530	34,571	29,910	2,210	2,451	21,572	107,513
山形	28,272	25,056	3,216	34,390	31,408	2,262	720	21,291	83,953
福島	2,170	1,697	473	68,404	67,863	475	66	27,050	97,624
茨城	5,235	4,862	373	78,378	75,666	2,400	313	1,103	84,717
栃木	10,010	9,940	70	91,711	84,199	240	7,272	7,602	109,323
群馬	7,249	7,249		9,647	7,805	1	1,842	555	17,451
埼玉	836	833	3	22,942	18,461	226	4,255	463	24,240
千葉	8,040	3,311	4,729	60,177	59,379	68	730	3,985	72,202
東京									
神奈川				56	56				56
新潟	42,560	25,160	17,400	45,991	24,916	8,311	12,764	25,149	113,700
富山	6,325	4,840	1,486	15,190	11,785	2,034	1,371	12,197	33,712
石川	2,435	1,817	618	11,491	9,205	226	2,061	7,849	21,775
福井	1,435	1,016	419	12,520	10,767	738	1,014	4,076	18,031
山梨	374	374		254	105		149		628
長野	3,853	3,566	287	4,517	3,261	1,102	154	1,446	9,816
岐阜	2,331	2,326	5	17,936	17,568	90	278	435	20,702
静岡	415	415		6,169	6,134	4	32	20	6,605
愛知	2,292	2,115	176	12,949	12,349	337	263	846	16,087
三重	852	787	64	13,094	12,454	170	471	270	14,216
滋賀	3,548	3,134	414	12,166	10,770	1,107	289	1,342	17,056
京都	2,861	2,851	11	855	700	107	48		3,716
大阪	1	1		57	32		25		58
兵庫	3,574	3,302	273	4,985	3,868	943	175		8,559
奈良	71	71	1	561	329		233		633
和歌山				17	14		4		17
鳥取	115	115		4,443	4,339	102	3	400	4,958
島根	1,542	1,442	100	4,532	4,491	12	28	130	6,204
岡山	1,690	1,572	118	12,130	10,588	874	668	977	14,797
広島	1,860	1,785	75	3,603	2,780	134	690	20	5,484
山口	5,053	4,998	55	6,099	5,568	337	194		11,152
徳島	97	95	2	5,014	4,771	190	53	1,182	6,294
香川	232	232		876	811	26	39		1,108
愛媛	142	142		1,490	1,460		30		1,631
高知	385	385		4,851	4,726	22	103	10	5,246
福岡	1,143	791	352	13,959	12,250	45	1,664	71	15,173
佐賀	2,164	222	1,942	4,473	4,260	30	184	220	6,857
長崎	35	35		637	587	23	27		672
熊本	3,543	1,939	1,605	10,716	8,719	100	1,896	247	14,506
大分	558	558		9,236	9,157		79	94	9,888
宮崎	9,571	9,571		3,542	3,348	111	83		13,113
鹿児島	6,954	6,731	223	4,063	3,985	7	71		11,018
沖縄	54	54		5	1		3		59

資料： 農林水産省「令和4年産加工用米の都道府県別の取組計画認定上位協（9月15日現在）」、
「令和4年産新規需要米の都道府県別の取組計画認定状況（9月15日現在）」、「令和4年産備蓄米の政府買入札の結果」
注：1 政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分21,889トンを含んでいる。
注：2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

2 米加工品の状況

(1) 主な米加工品の生産状況

(トン、㎏)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	対前年 同期比
	(1~11月)								
加工米飯	349,424	346,708	373,142	390,170	398,750	404,707	409,034	392,699	106%
レトルト米飯	30,685	27,856	27,807	28,163	27,474	27,245	27,885	29,564	117%
無菌包装米飯	136,886	145,326	161,068	170,218	182,797	197,185	206,179	195,135	104%
冷凍米飯	171,501	163,017	174,025	181,559	178,068	171,307	166,099	159,721	105%
チルド米飯	4,765	4,916	4,832	4,845	4,520	3,894	3,624	3,015	92%
缶詰米飯	1,094	543	526	553	526	422	422	429	117%
乾燥米飯	4,493	5,050	4,884	4,832	5,365	4,654	4,825	4,835	113%
米 菓	220,350	217,687	222,868	221,481	221,796	219,437	214,587	192,459	98%
あられ	94,995	92,310	92,200	93,504	92,259	93,506	93,836	84,740	99%
せんべい	125,355	125,377	130,668	127,977	129,537	125,931	120,751	107,719	97%
味 噌	461,652	476,057	482,045	478,068	481,574	474,700	462,083	420,547	101%
米みそ	393,554	408,695	413,492	408,093	412,038	404,717	394,187	358,763	101%
調合みそ	26,308	25,675	26,285	28,483	27,950	28,805	28,687	28,452	110%
(麦みそ)	18,060	18,574	17,399	16,166	15,555	16,466	15,653	12,071	85%
(豆みそ)	23,730	23,113	24,869	25,326	26,031	24,712	23,556	21,261	100%
米穀粉	94,651	92,693	94,860	93,956	91,179	91,076	84,964	83,810	108%
上新粉	46,260	46,377	47,257	45,643	43,345	40,559	35,918	39,008	120%
もち粉	11,583	10,755	9,592	9,663	9,406	8,280	8,812	8,782	108%
白玉粉	4,974	4,992	5,246	4,821	4,742	4,851	4,062	3,703	100%
寒梅粉	1,468	1,606	1,535	1,534	1,560	1,485	1,492	1,377	100%
らくがん粉・みじん粉	1,007	971	945	984	1,120	1,013	993	949	108%
だんご粉	962	1,543	1,166	1,310	1,159	1,114	1,016	959	101%
菓子種	2,448	1,756	2,419	2,506	2,508	2,528	2,183	1,668	87%
新規米粉	25,949	24,693	26,700	27,495	27,339	31,246	30,488	27,364	98%
包装もち	58,950	63,096	58,653	59,536	60,894	66,181	65,570	55,362	98%
日本酒	555,063	539,676	532,862	495,052	466,872	418,507	404,299	313,082	92%
特定名称酒	173,327	177,735	179,491	170,642	164,641	142,121	138,084	116,867	103%
吟醸酒	25,213	24,499	24,395	23,126	22,240	19,682	19,464	15,572	98%
純米吟醸酒	37,124	41,960	45,300	45,377	45,491	40,362	41,611	37,743	110%
純米酒	61,793	65,379	67,060	63,998	61,799	54,729	52,669	44,274	101%
本醸造酒	49,198	45,897	42,736	38,141	35,111	27,349	24,339	19,279	100%
一般酒	381,736	361,941	353,371	324,410	302,231	276,386	266,215	196,215	87%
単式蒸留焼酎	483,216	479,866	471,512	441,824	424,569	411,894	389,556	336,300	98%
いも焼酎	206,904	208,262	205,336	189,979	182,169	176,801	164,224	147,356	102%
米焼酎	41,804	40,560	38,549	36,362	34,531	31,507	29,551	26,501	102%
(麦焼酎)	188,896	186,998	183,903	176,608	171,222	168,352	162,420	144,526	100%

資料：加工米飯、米菓、味噌、米穀粉及び包装もちは、食品産業動態調査（農林水産省）。日本酒及び単式蒸留焼酎は、日本酒造組合中央会調べ。

注1：日本酒及び単式蒸留焼酎は、課税移出数量。令和4年は概算値。また、令和4年については、兵庫県データの9月以降未集計となっている。

注2：日本酒の一般酒は、日本酒全体から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

(2) 令和2米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 日本酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の令和2米穀年度における使用量は、日本酒の出荷量の減少等により、対前年▲3万トンの約92万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約72万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約76%。残りの約24%はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 米菓を中心に加工用米の使用量が減少し、特定米穀の使用量が増加。

<うるち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	9 (8)	8		3			21 (8)
米菓用	1	1		6	3	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	4	6					10
味噌用		1		3	5		10
焼酎用 (泡盛含む)		1		4	2		7
米穀粉用		1	3	1	2	1	9
その他用	1	2		1	1		4
合計	15	20	3	18	13	3	72

<もち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	4	3				1	8
米菓用	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	6	5		2	1	4	19

注1：日本酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

2：加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約10万トンを含んでいない。

3：焼酎は単式蒸留しょうちゆう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号）であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4：その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5：特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75~1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

6：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【推計根拠】

- 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
日本酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）
焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）
米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等
- 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計
加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告
新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）による利用量
MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）
輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）
特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

(3) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

<うるち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	28	13 (10)	9		3			25 (10)
	29	12 (10)	9		3			24 (10)
	30	11 (9)	9		4			24 (9)
	元	11 (9)	9		3			23 (9)
	2	9 (8)	8		3			21 (8)
米菓用	28	1	2		6	3	1	12
	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
	元	1	2		5	3	2	13
	2	1	1		6	3	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	28	5	5					10
	29	5	5					11
	30	5	6					11
	元	4	7					11
	2	4	6					10
味噌用	28		1		6	2		9
	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
	元		1		3	5		10
	2		1		3	5		10
焼酎用 (泡盛含む)	28		2		4	2		8
	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
	元		1		4	2		7
	2		1		4	2		7
米穀粉用	28		1	2	1	3	1	8
	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
	元		1	3	1	2	1	9
	2		1	3	1	2	1	9
その他用	28	1	1		2	1		4
	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
	元	1	1		1	1		4
	2	1	2		1	1		4
合計	28	20	21	2	21	11	1	77
	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77
	元	16	22	3	18	13	3	76
	2	15	20	3	18	13	3	72

<もち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	28	3	2				2	8
	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
	元	3	3				1	8
	2	4	3				1	8
米菓用	28	1	2		1	1	1	6
	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
	元	1	2		1	1	1	6
	2	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	28	1	1				1	3
	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
	元	1	1				1	3
	2	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	28	1						1
	29	1						1
	30	1						1
	元	1						1
	2	1						1
その他用	28						1	2
	29						1	2
	30						1	2
	元						1	2
	2						1	2
合計	28	6	5		1	2	5	19
	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19
	元	6	5		1	2	5	19
	2	6	5		2	1	4	19

注1: 日本酒用の()書きは、酒造好適米で内数。

2: 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。

3: 焼酎は単式蒸留しょうちゅう(穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの(酒税法第3条第10号))であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4: その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5: 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75~1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米(一般的に「くず米」と呼ばれているもの)の総称。

6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 酒造好適米の需給状況

(1) 日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万klを下回る水準まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。
- 令和2年以降については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により国内の日本酒出荷量が大幅に減少。

日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	
														(1~11月)
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	566	555	540	533	495	467	419	404	313	92%
特定名称酒	291	221	174	164	167	173	178	179	171	165	142	138	117	103%
吟醸酒	34	30	20	21	24	25	24	24	23	22	20	19	16	98%
純米吟醸酒	25	26	24	29	32	37	42	45	45	45	40	42	38	110%
純米酒	62	54	57	58	59	62	65	67	64	62	55	53	44	101%
本醸造酒	169	111	73	56	52	49	46	43	38	35	27	24	19	100%
一般酒	842	650	485	416	399	382	362	353	324	302	276	266	196	87%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。令和4年は概算値。また、令和4年については、兵庫県のデータが9月以降未集計となっている。

注1：清酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒、本醸造酒等に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

注2：国内出荷量には輸出货量は含まれていない。

日本酒の輸出货量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	
														(1~11月)
日本酒輸出货量	8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	22	32	33.2	115%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	4	5	5	6	6	6	5	9	8.6	108%
中華人民共和国	0	0	0	1	1	2	2	3	4	5	5	7	6.9	105%
香港	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2.5	85%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2.8	121%
大韓民国	0	0	2	4	3	3	4	5	5	3	2	2	3.6	171%
その他	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	5	8	8.9	128%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

(2) 日本酒原料米の使用状況

- 日本酒の原料米は、一般的に主食用としても流通している品種のほか、醸造用に適した品種である山田錦、五百万石などの「酒造好適米」が使用されている。
- 日本酒原料米の使用量は、近年、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒が増加していたため、24~25万トン程度で推移していたが、平成30年産以降は、特定名称酒も減少に転じたこと等から、令和2年産で約18万トン（対前年比▲12%）にまで減少。

日本酒原料米の使用状況

(千トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産	2年産	対前年比 2/元年
日本酒原料米	405	315	261	243	248	251	241	240	227	206	180	88%
酒造好適米	99	75	77	76	90	99	97	94	88	83	70	84%
加工用米	86	89	74	95	105	94	93	88	90	85	63	74%
その他	220	151	110	72	53	58	51	58	49	38	47	125%

資料：農林水産省による推計値。

(3) 酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、平成27年産は、作付面積の増加や作柄が良かったこと等から大幅に増加したため供給過剰となり、その後は、需要減少も伴って生産抑制が行われている。
- さらに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、国内の日本酒出荷量が急減しており、供給過剰が見込まれる状況。

酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

(トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産	2年産	3年産	対前年産比
	酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	90,185	108,797	106,618	102,400	95,856	96,454	85,179	
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	29,812	39,528	37,257	38,431	33,916	34,644	28,342	27,609	97.4%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	22,596	27,078	26,030	20,564	21,203	19,767	17,561	13,612	77.5%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	7,786	7,838	7,513	7,018	6,408	6,475	5,710	3,816	66.8%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,312	2,886	2,481	2,873	2,723	2,932	1,987	2,289	115.2%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	27,679	31,467	33,337	33,514	31,607	32,636	31,578	27,429	86.9%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）

(4) 酒造好適米の需要量

- 酒造好適米の需要量は、令和4年7月に実施した需要量調査の結果により推計したところ、令和4年産が76～77千トン程度、令和5年産が78～79千トン程度と見込まれる。

酒造好適米等の需要量調査結果

(トン)

	2年産	3年産	4年産		5年産		
			対2年産比	対2年産比		対2年産比	
酒造好適米の需要量調査結果(実数)	58,293	55,580	95.3%	63,577	109.1%	65,312	112.0%
山田錦	23,915	22,886	95.7%	27,084	113.3%	27,738	116.0%
五百万石	11,379	10,822	95.1%	12,329	108.4%	12,526	110.1%
美山錦	3,516	3,260	92.7%	3,449	98.1%	3,588	102.0%
雄町	1,136	1,266	111.5%	1,348	118.7%	1,367	120.3%
その他	18,347	17,346	94.5%	19,367	105.6%	20,093	109.5%
酒造好適米の全体需要量(推計)	69～71千トン	66～68千トン		76～77千トン		78～79千トン	

資料：「令和4年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）

注1：「酒造好適米の需要量調査結果（実数）」は、令和4年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。

2：「酒造好適米の全体需要量（推計）」は、令和4年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約82～84%と推計されるため、各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下URLの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。

URL：https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧ください。

－ 別冊「資料編」の目次 －

<p>1 米の需給 主食用米等の需給見通し(米の基本指針(令和4年10月20日))</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">需給-1</div>
<p>2 米の在庫情報 令和2・3年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">在庫-1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">Excel</div>
<p>3 米の価格情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格)(平成20年産～令和3年産) 2 スポット価格の状況(株式会社クリスタルライス) 3 米の現物市場の状況 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">価格-1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">Excel</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">価格-4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">価格-5</div>
<p>4 米の契約・販売情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 産地別事前契約数量(累計、うるち米、平成26年産～令和3年産) 2 令和3年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米)(速報) 3 政府備蓄米の買入入札の結果(落札実績)(平成23年産～令和4年産) 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">契約-1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">Excel</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">契約-5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">Excel</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">契約-11</div>
<p>5 支援事業等</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 水田活用の直接支払交付金等 (2) コメ新市場開拓等促進事業 (3) 畑作物産地形成促進事業 (4) 畑地化促進事業 (5) 小麦・大豆の国産化の推進 (6) 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策) (7) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策) (8) 収入保険 (9) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業 (10) コロナ影響緩和特別対策 (11) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">支援-1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">支援-3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">支援-4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">支援-5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">支援-6</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">支援-7</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">支援-10</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">支援-13</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">支援-15</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">支援-17</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">支援-18</div>
<p>6 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果 (2) 国産飼料用米の使用可能数量 (3) 麦・大豆の需要情報 <ol style="list-style-type: none"> ① 令和4年産麦の産地別銘柄別入札結果 ② 令和4年産大豆の産地品種銘柄別入札結果 (4) 野菜等の需給情報 (5) 令和4年産水稻の収穫量 (6) 年産・都道府県別の主食用米作付面積及び収穫量等の推移 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">その他-1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">その他-2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px; margin-top: 10px;">その他-5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">その他-7</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">その他-12</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">その他-16</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">その他-22</div>

農業者と農林水産省をつなぐ
新たなコミュニケーションツール

MAFFアプリ

農業に役立つ情報が直接届く。
現場の情報を直接届ける。





MAFF
Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries
農林水産省




Android
iOS